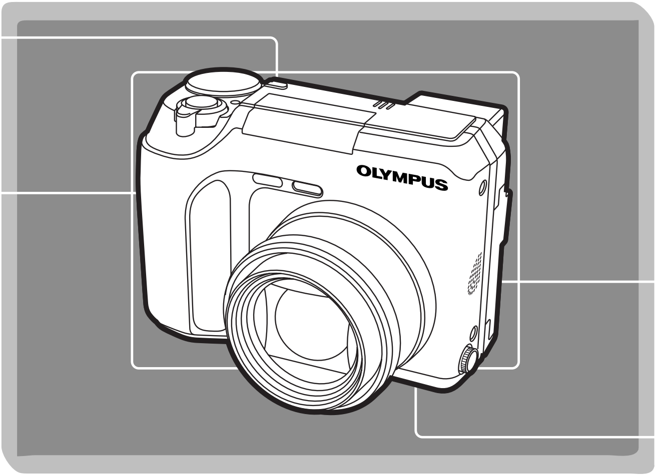
OLYMPUS

CAMEDIA デジタルカメラ C-730 Ultra Zoom



取扱説明書

■ご使用前にこの説明書をお読みください。

■大切なもの（海外旅行など）をお撮りになる前には、必ず試し撮りをして、カメラが正常に機能することをお確かめください。

■本書に記載されているカメラのイラストや画面表示は、製品とは多少異なる場合があります。

はじめに

このたびはオリンパス　デジタルカメラをお買上げいただき、ありがとうございます。この説明書をよくお読みのうえ、安全に正しくお使いください。また、お読みになったあとは、必ず保管してください。

- ●本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。商品名、型番等、最新の情報についてはカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- ●本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたらご連絡ください。
- ●本書の内容の一部または全部を無断で複写することは、個人としてご利用になる場合を除き、禁止されています。また、無断転載は固くお断りします。
- ●本製品の不適当な使用により、万一損害が生じたり、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- ●本製品の故障、オリンパス指定外の第三者による修理、その他の理由により生じた画像データの消失による、損害および逸失利益などに関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- ●本製品で撮影された画像の質は、通常のフィルム式カメラの写真の質とは異なります。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
飛行機内では、離発着時のご使用をお避けください。
本製品の接続の際、当製品指定のケーブルを使用しない場合、VCCI基準の限界値を超えることが考えられます。必ず、指定のケーブルをご使用ください。

商標について

Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。
MacintoshおよびAppleは米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
その他本説明書に記載されているすべてのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。

カメラファイルシステム規格について

カメラファイルシステム規格とは、電子情報技術産業協会（JEITA）で制定された規格「Design rule for Camera File system/DCF」です。

目　次

1 準備 24

2 使い方早わかりガイド 38

7 再生 125

安全にお使い頂くために

ご使用の前に、この「安全にお使い頂くために」の内容をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害と財産の損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容を示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

製品の取り扱いについてのご注意

⚠ 警告

☞ **可燃性ガス、爆発性ガス等がある場所では使用しない。**
これらのガスが、大気中に存在するおそれのある場所での本製品の使用はおやめください。引火・爆発の原因となります。

☞ **フラッシュを人（特に乳幼児）に向けて至近距離で使用しない。**
目に近づけて撮影すると、視力障害をきたすおそれがあります。特に乳幼児に対して、至近距離で撮影しないでください。

☞ **幼児、子供の手の届く場所に置かない。**
以下のような事故発生のおそれがあります。
- 誤ってストラップを首に巻き付け、窒息を起こす。
- 電池や小さな付属品を飲み込む。万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。
- 目の前でフラッシュが発光し、視力障害を起こす。
- カメラの動作部でけがをする。

☞ **カメラで日光や強い光を見ない。**
視力障害をきたすおそれがあります。

☞ **通電中の充電器、充電中の電池に長時間触れない。**
充電中の充電器や電池は温度が高くなります。また、別売のACアダプタをご使用時も長時間お使いになっていると、本体の温度が高くなります。長時間、皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

☞ **ほこりや湿気、油煙、湯気の多い場所で長時間使ったり、保管しない。**
火災や感電の原因となることがあります。

☞ **フラッシュの発光部分を手で覆ったまま発光しない。**
連続発光後も発光部分に手を触れないでください。やけどのおそれがあります。

☞ **分解や改造をしない。**
感電やけがをする原因となります。

☞ **内部に水や異物を入れない。**
万一、水に落としたり、内部に水が入ったりしたときは、火災や感電の原因になりますので、すぐに電源を切り電池を抜き、販売店または当社サービスステーションにご相談ください。

⚠ 注 意

☞ **異臭、異常音、煙が出たりするなどの異常が生じたときは使用をやめる。**
このようなときは、やけどに注意しながらすぐに電池を取り外し、販売店または当社サービスステーションにご連絡ください。火災や、やけどの原因となります。（電池を取り出す際は、素手で電池を触らないでください。また、可燃物のそばを避け、屋外で行ってください。）

☞ **濡れた手で操作しない。**
感電の危険があります。またACアダプタの抜き差しは、濡れた手では絶対にしないでください。

☞ **持ち運びのときは、ストラップが引っかからないよう注意する。**
カメラをストラップで下げているときは、他のものに引っかかったりしないように、注意してください。けがや事故の原因となることがあります。

☞ **カードを取り出す際は、飛ばさないように注意する。**
カードを押して取り出すときに、すぐに指をはなしたり、指ではじくように押し出すと、カードが勢いよく飛び出すことがあります。

☞ **温度の高い所へ放置しない。**
部品が劣化したり、火災の原因となります。

☞ **専用のＡＣアダプタ以外は使用しない。**
カメラ本体または電源が故障したり、思わぬ事故がおきる可能性があります。また別売のAC アダプタは日本国内用です。海外ではご使用になれません。専用以外のAC アダプタの使用により生じた傷害は保証しかねますので、あらかじめご了承ください。

☞ **ACアダプタのコードを傷つけない。**
AC アダプタのコードを引っ張ったり、継ぎ足したりは絶対にしないでください。必ず電源プラグを持って、抜き差しを行ってください。
以下の場合はただちに使用を中止し、販売店または当社サービスステーションに御相談ください。
- 電源プラグやコードが熱い、焦げ臭い、煙が出た場合。
- AC アダプタのコードに傷、断線、またはプラグに接触不良があった場合。

使用条件についてのご注意

- 本製品には精密な電子部品が組み込まれています。本製品を使用または保管する場合、以下のような場所で長時間使用したり放置すると動作不良や故障の原因となる可能性がありますので、避けてください。
  - ■高温多湿、または温度・湿度変化の激しい場所
    直射日光下や夏の海岸、窓を閉め切った自動車の中、冷暖房器、加湿器のそばなど
  - ■砂、ほこり、ちりの多い場所
  - ■火気のある場所
  - ■水に濡れやすい場所
  - ■激しい振動のある場所
- カメラを落としたりぶつけたりして、強い振動やショックを与えないでください。
- レンズを直射日光に向けて撮影または放置しないでください。CCDの褪色・焼きつきを起こすことがあります。
- 長期間使用しないと、カビがはえたり故障の原因になることがあります。使用前には動作点検をされることをおすすめします。
- 三脚に取り付ける際、カメラを回さず、三脚のネジを回してください。
- 本体の電気接点部には手を触れないでください。
- レンズに無理な力を加えないでください。

電池についてのご注意

液漏れ、発熱、発火、破裂、誤飲などによるやけどやけがを避けるため、下記の注意事項を必ずお守り下さい。

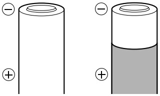
⚠ 危 険

- 充電式電池は、専用のオリンパス製電池と充電器をご使用ください。電池は指定の充電器以外で充電しないでください。ご使用になる際は、電池、充電器等の説明書をよく読んで、正しくお使いください。
- 火中への投下や、加熱をしないでください。
- ＋－を金属等で接続したり、金属製のネックレスやヘアピン等と一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
- 強い日なた、炎天下の車内やストーブの前面など、高温の場所で使用･放置しないでください。
- 直接ハンダ付けしたり、変形や改造・分解をしないでください。端子部安全弁の破壊や、アルカリ液の飛散が生じ危険です。
- 電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み等に、直接接続しないでください。
- 電池の液が目に入ると、失明の原因になります。こすらずに、すぐ水道水などのきれいな水で充分に洗い流し、直ちに医師の治療を受けてください。
- 電池を誤って飲まないよう、乳幼児の手の届かぬ場所で保管および使用してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

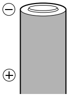
⚠ 警 告

- 電池を水や海水などにつけたり、端子部を濡らさないでください。
- 以下の内容を守らない場合、電池の液漏れ､発熱､発火､破裂により､火災やけがのおそれがあります。
  - ■ このカメラで指定されていない電池を使わないでください。
  - ■ 古い電池と新しい電池、充電した電池と放電した電池、また、容量、種類、銘柄の異なる電池を一緒に混ぜて使用しないでください。
  - ■ 充電できないアルカリ電池やリチウム電池、リチウム電池パック（CR-V3）を充電しないでください。
  - ■ ＋－を逆にして装着・使用しないでください。また、機器にうまく入らない場合は無理に接続しないでください。
  - ■ 外装シール（絶縁被覆）を一部またはすべて剥がしている電池や、破れがある電池をご使用になりますと、電池の液漏れ、発熱、破裂の原因になりますので、絶対にご使用にならないでください。
  - ■ 市販されている電池の中にも、外装シール（絶縁被覆）の一部またはすべてが剥がれている電池があります。このような電池も絶対にご使用にならないでください。

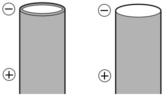
●このような形状の電池はご使用になれません



シール（絶縁被覆）をすべて剥がしているもの（裸電池）、または一部が剥がされているもの。



負極（マイナス面）の一部に膨らみがあるが、負極がシール（絶縁被覆）で覆われていないもの。



負極（マイナス面）が平らな電池。（負極の一部がシールに覆われていても、また覆われていなくても使用できません。）

- ● ニッケル水素電池の充電が、所定充電時間を越えても完了しない場合は、充電を中止してください。
- ● 液漏れや、変色、変形その他異常が発生した場合は使用を中止し、販売店または当社サービスステーションにご相談ください。火災や感電の原因となります。
- ● 電池の液が皮膚・衣類へ付着したときは、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。皮膚に傷害を起こす原因になります。
- ● カメラの電池室を変形させたり、異物を入れたりしないでください。
- ● 電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないでください。

⚠ 注 意

- ● 電池の＋－極が汗や油で汚れていると、接触不良をおこす原因になります。乾いた布でよく拭いてから使用してください。
- ● 当社製ニッケル水素電池はオリンパスデジタルカメラ「CAMEDIA（キャメディア)」専用です。他の機器に使用しないでください。
- ● 充電式電池をお買い上げ後初めてご使用になる場合、また長時間使用しなかった場合は、必ず充電してください。
- ● 充電式電池は必ず使用する電池を同時に（機種により4本または2本）充電してご使用ください。
- ● 電池を使ってカメラを長時間連続使用した後は、すぐに電池を取り出さないでください。やけどの原因となります。
- ● アルカリ電池は電池の銘柄、製造日からの保存期間、使用温度により内部抵抗・容量に差があるため、ニッケル水素電池やリチウム電池パック（CR-V3 ）などに比べて寿命が極端に短い場合があります。また、低温時は使えません。
- ● マンガン電池は使用できません。電池寿命が短いばかりでなく、電池の発熱等により本体に損害をもたらすおそれがあります。
- ● 電池は、一般に低温になるにしたがって一時的に性能が低下します。寒冷地で使用するときは、カメラを防寒具や衣服の内側に入れるなどして保温しながら使用してください。なお、低温のために性能の低下した電池は、常温に戻ると回復します。

● ニッケル水素電池ご使用推奨温度範囲
放電：0～40℃（機器使用時）
充電：0～40℃
保存：－20～30℃
上記温度範囲外での使用は性能・寿命の低下の原因となります。保管の際はカメラから電池を取り出してください。
● 長時間ご使用にならない場合は、カメラから電池を外しておいてください。電池の液漏れ・発熱により、火災やけがの原因となることがあります。
● 撮影条件、使用環境および電池により撮影枚数が減少する場合があります。
● 長期間の旅行などには、予備の新しい電池を用意することをおすすめします。特に海外では、地域によって入手困難なことがあります。
● 電池を捨てる際は、地域の規定に従って処分してください。

液晶モニタとバックライトについて

本製品は背面やファインダの表示には、液晶モニタを使用しています。これらは液晶モニタに関するご注意です。

● ビューファインダを太陽などの強い光線に向けると、内部を破損するおそれがあります。
● 液晶モニタは強く押さないでください。画面上ににじみが残り、画像が正しく再生されなくなったり、液晶モニタが割れたりするおそれがあります。万一破損した場合は中の液晶を口に入れないでください。液晶が手足や衣類に付着した場合は、ただちに石鹸で洗い落としてください。
● 液晶モニタの画面上下に光が帯状に見えることがありますが、故障ではありません。
● 被写体が斜めのとき、液晶モニタにギザギザが見えますが、故障ではありません。再生時には目立たなくなります。
● 一般に低温になるにしたがってバックライトは点灯に時間がかかったり、一時的に変色したりする場合があります。寒冷地で使用するときは、保温しながら使用してください。低温のために性能の低下したバックライトは、常温に戻ると回復します。
● 液晶モニタに使用されている液晶画面のバックライトおよびコントロールパネル*には寿命があります。画面が暗くなったり、ちらつき始めたら、当社サービスステーションにお問い合わせください。（保証期間外の修理は有料となります。）
● **本製品の液晶モニタは、精密度の高い技術でつくられていますが、一部に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがあります。これらの画素は、記録される画像に影響はありません。また、見る角度により、特性上、色や明るさにむらが生じることがありますが、液晶モニタの構造によるもので故障ではありません。ご了承ください。**

＊ 搭載していない機種もあります。

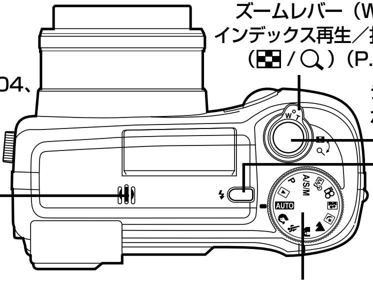
カメラ

ズームレバー（W/T）（P. 77）
インデックス再生／拡大再生レバー
（▦ / 🔍）（P. 136、137）

録音マイク
（P. 103、104、
144）

シャッター
ボタン（P. 64）

フラッシュ
スイッチ（ϟ）
（P. 82）



モードダイヤル（AUTO、ポートレート、スポーツ、夜景&人物、風景、夜景、セルフポートレート、動画、MY、
A/S/M、**P**、▶）（P. 54）

セルフタイマー／リモコンボタン
（🕓／リモコン）（P. 95、97）
消去ボタン（🗑）（P. 43、146）

マクロ／スポットボタン（🌷/⊡）
（P. 86、93）
プリント予約ボタン（凸）
（P. 182、184）

視度調節ダイヤル（P. 37）

フラッシュモードボタン（ϟ）
（P. 82）
プロテクトボタン（O¬）（P. 42、
145）

ビューファインダ

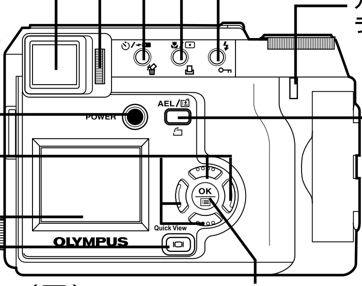
カードアクセス
ランプ（P. 64）

パワースイッチ
（POWER）
（P. 30）

AEロックボタン
（P. 90）
カスタムボタン
（**AEL/**）
（P. 154）
回転再生ボタン
（）（P. 151）

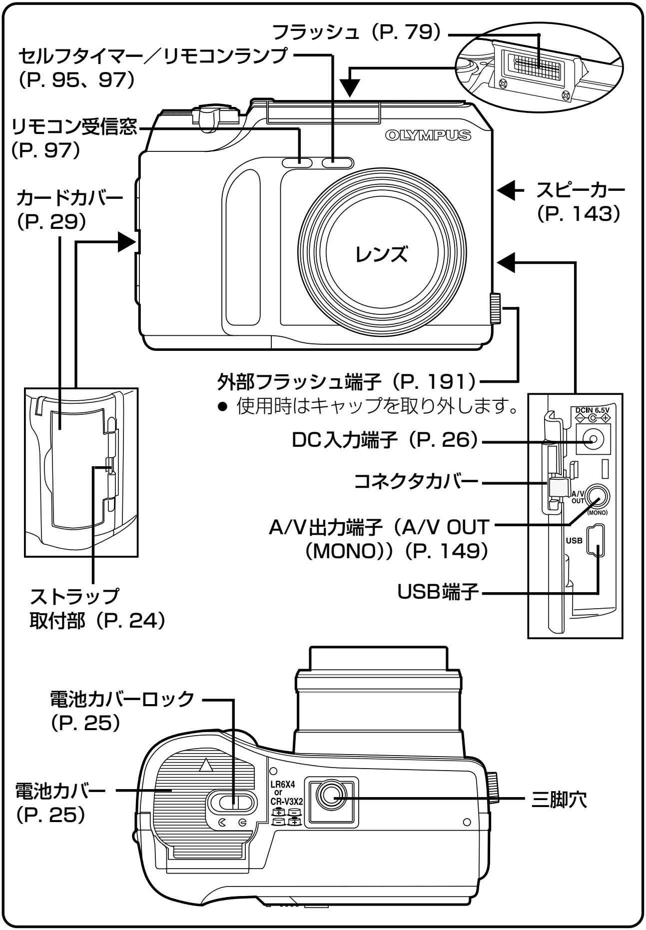
十字ボタン

液晶モニタ

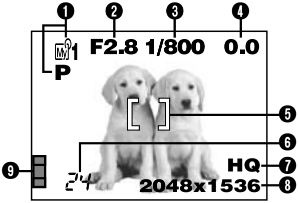


液晶モニタボタン（▭）
簡単再生ボタン（P. 126）

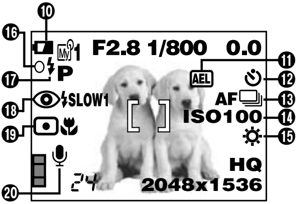
OK／メニューボタン（OK）
マニュアルフォーカスボタン（P. 70）


フラッシュ（P. 79）
セルフタイマー／リモコンランプ（P. 95、97）
リモコン受信窓（P. 97）
OLYMPUS
カードカバー（P. 29）
スピーカー（P. 143）
レンズ
外部フラッシュ端子（P. 191）
● 使用時はキャップを取り外します。
DC入力端子（P. 26）
DCIN 6.5V
コネクタカバー
A/V OUT
(MONO)
A/V出力端子（A/V OUT（MONO））（P. 149）
USB
USB端子
ストラップ取付部（P. 24）
電池カバーロック（P. 25）
電池カバー（P. 25）
LR6X4
or
CR-V3X2
三脚穴

撮影時の情報表示



情報表示オフ選択時



情報表示オン選択時

撮影情報	表示例	参照頁
❶ 撮影モード	AUTO、、、、、、、 、My1、My2、My3、My4、A、S、M、P	P. 54
❷ 絞り値	F2.8～F8	P. 60､62
❸ シャッター速度	16～1/1000	P. 61､62
❹ 露出補正 露出状態	－2.0～＋2.0 －3.0～＋3.0	P. 117 P. 63
❺ AFターゲットマーク	〚 〛	P. 69
❻ 撮影可能枚数 撮影可能秒数	24 24"	P. 72 P. 75
❼ 画質モード	TIFF、SHQ、HQ、SQ1、SQ2	P. 110
❽ 画像サイズ	2048x1536、1600x1200、 1280x960、1024x768、 640x480、3200x2400、 3:2 2048x1360	P. 111
❾ メモリゲージ	、、、	P. 22
❿ 電池残量	、	P. 22

撮影情報	表示例	参照頁
⑪ AEロック AEメモリ	AEL MEMO	P. 90 P. 87
⑫ セルフタイマー／リモコン	、	P. 95、97
⑬ ドライブモード	、、HI、AF、BKT	P. 99
⑭ ISO感度	ISO100、ISO200、ISO400	P. 115
⑮ ホワイトバランス	、、、、、	P. 118
⑯ 緑ランプ	○	P. 64
⑰ フラッシュ発光予告 手ぶれ警告 フラッシュ充電中	（点灯） （点滅） （点滅）	P. 72 P. 72 P. 84
⑱ フラッシュモード	、、、SLOW1、SLOW2、SLOW1	P. 79
⑲ スポット測光/マクロモード/スーパーマクロ	、、、	P. 86、93、94
⑳ 録音		P. 103、104

注 意

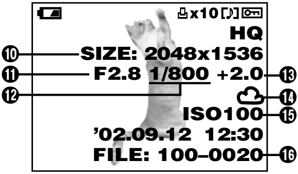
●液晶モニタの表示内容は撮影モードにより異なります。
●画面に表示される情報量は選択することができます。（P. 164）

再生時の情報表示

静止画再生情報

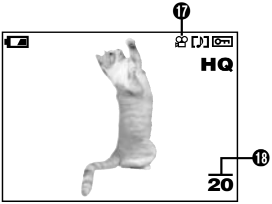


情報表示オフ選択時



情報表示オン選択時

ムービー（動画）再生情報



情報表示オフ選択時



情報表示オン選択時

再生情報	表示例	参照頁
❶ 電池残量		P. 22
❷ プリント予約マーク		P. 182、184
❸ プリント枚数	x2～x10	P. 182、184
❹ 録音マーク	【♪】	P. 125
❺ プロテクトマーク		P. 42、145
❻ 画質モード	TIFF、SHQ、HQ、SQ1、SQ2	P. 110
❼ 日付	'02.09.12	P. 32
❽ 時刻	12:30	P. 32
❾ コマ番号	20	—
❿ 画像サイズ	2048x1536、1600x1200、1280x960、その他	P. 111
⓫ 絞り値	F2.8～F8	P. 60、62
⓬ シャッター速度	16～1/1000	P. 61、62
⓭ 露出補正値	−2.0～＋2.0	P. 117
⓮ ホワイトバランス		P. 118
⓯ ISO感度	ISO100、ISO200、ISO400	P. 115
⓰ ファイル番号	100−0020	—
⓱ ムービーマーク		P. 128
⓲ コマ番号／ムービー記録時間	20 ムービー再生中では、記録時間が次のように表示されます。 再生している秒数 — 0" / 15" — 全体の秒数	—

重要！DPOFを使用せずにプリントサービスを利用される方へ

写真店などのプリントサービスをご利用になる場合は、プリントする画像は必ずファイル番号で指定してください。コマ番号で指定すると間違った画像がプリントされる場合があります。

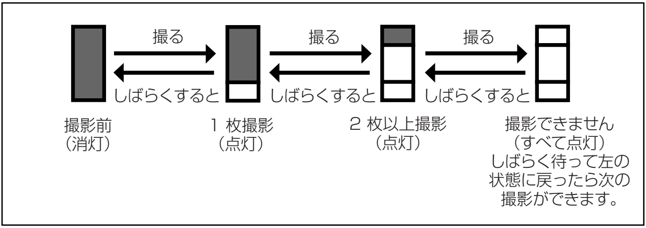
注 意

- ムービーの場合は、画像を表示したときと、ムービー再生中で表示内容が異なります。
- 液晶モニタの表示内容は撮影時の設定内容により異なります。
- 画面に表示される情報量は選択することができます。（P. 164）

メモリゲージと電池残量の見方

メモリゲージ

静止画を撮影すると、メモリゲージが点灯します。点灯中はカード（xDピクチャーカードあるいはスマートメディア）への記録を行っています。メモリゲージの表示は、撮影状態によって次のように変化します。メモリゲージがすべて点灯したときは、しばらく待って消えてから撮影を再開してください。



注 意

●ムービー撮影では、メモリゲージは表示されません。

電池残量

カメラの電源を入れたときや使用中に電池残量が少なくなると、電池残量表示が以下のように表示されます。



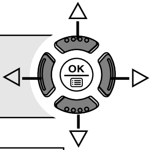
本書の見方

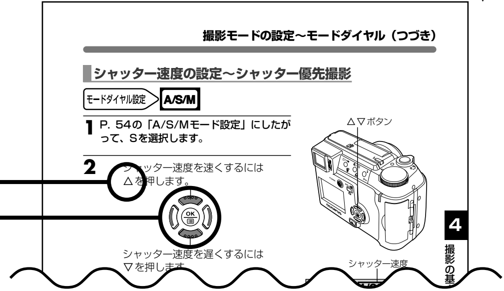
モードダイヤルをここに示されているいずれかのマークに設定します。



メニューは矢印の順に操作します。（P. 45）

十字ボタンのどの方向キーを押すかを△、▽、◁、▷マークで示しています。
（この例では十字ボタンの上方向キーを押します。）

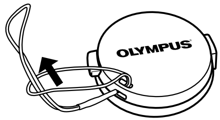




グレーに塗られているボタンを押します。（この例では上下キーを押します。）

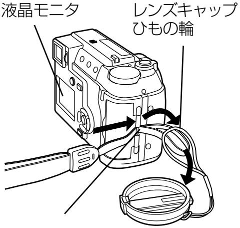
ストラップを取り付ける

1 レンズキャップにレンズキャップひもを取り付けます。

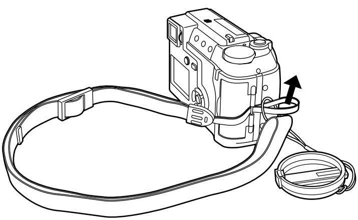


2 ストラップをカメラの液晶モニタ側からカメラのストラップ取付部の金具に通します。

3 ストラップをレンズキャップひもの輪に矢印の方向へくぐらせます。



4 レンズキャップひもを通した先のストラップに、ストラップのもう一方（首にかける側）をくぐらせて引っ張ります。カメラのストラップ取付部で、ストラップにゆるみがないように引っ張ります。



5 ストラップの長さを調節します。

注 意

- カメラを持ち運びの際には、専用ケースに入れてください。
- カメラをストラップで下げているときは、他のものに引っかかったりしないように、注意してください。けがや事故の原因となることがあります。
- 手順に従ってストラップを正しく取り付けてください。万一、誤った取り付けによりストラップが外れてカメラを落とすなどした場合、損害など一切の責任は当社では負いかねますのでご了承ください。

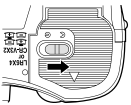
電池を入れる

電池はCR-V3リチウム電池パック（当社製LB-01）2個、あるいは単3ニッケル水素電池、ニッカド電池、アルカリ電池、リチウム電池4本を使用します。

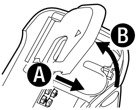
1 カメラの電源が入っていないことを確認します。

- 液晶モニタが消灯している。
- ビューファインダが消灯している。
- レンズが出ていない。

2 電池カバーロックを、⊘ の方向へスライドします。

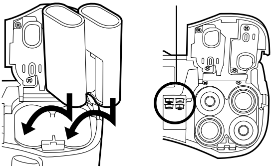


3 電池カバーを🅐の方向へスライドさせてから、🅑の方向に開けます。



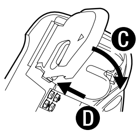
- カバーをスライドさせるときは指の腹を使ってあけてください。爪などを使うとけがをすることがあります。

4 電池の向きを間違わないように挿入してください。



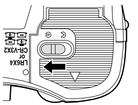
リチウム電池パックのとき　単3電池のとき

5 電池カバーを🅒の方向に下げて、▽マークをしっかり押しながら🅓の方向にスライドさせます。



- カバーの端を押すと、カバーが閉まりにくくなります。
- 正しく閉じられると、電池カバーは固定されます。

6 電池カバーロックを、⊖ の方向へスライドします。



注 意

- 電池を外した状態で約1時間放置すると、下記の機能を除く全ての設定は初期状態に戻ります。
  ー「マイモード登録内容」「画面登録」「スリープ時間」「言語の設定」「ビデオ出力」「ショートカット設定」「カスタムボタン設定」

別売の電池やACアダプタを上手に選ぶ

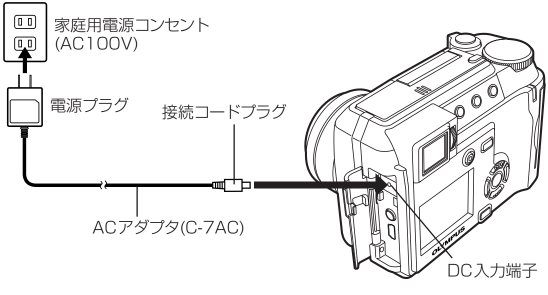
このカメラでは次の電池・ACアダプタを使用することができます。用途にあわせてお選びください。

■ リチウム電池パック（充電できません）
当社製リチウム電池パックCR-V3（LB-01）は、寿命が長く旅行などにも便利です。リチウム電池パックのラベルは、はがさないでください。端子部に絶縁シールが貼られている場合は、そのテープのみはがしてお使いください。

■ ニッケル水素電池（充電式電池）
当社製ニッケル水素電池（充電器セットBU-50SNH）は、繰り返し使用できるので経済的です。ただし、電池の容量を使いきらずに充電を繰り返すと1回の使用時間が次第に短くなります。

■ アルカリ電池
急に電池が必要になったときは、どこでも入手しやすい単3アルカリ電池も使用できます。ただし、銘柄や使用条件によって撮影可能枚数に大きな差が生じます。使用するときは、液晶モニタをこまめにお切りください。

■ ACアダプタ
家庭用コンセントを使う場合は専用のACアダプタ(C-7AC)が必要となります。専用のACアダプタ以外はご使用にならないでください。また、電源は必ず100Vでご使用ください。
パソコンに画像をダウンロードするなど、時間がかかる作業を行なうには、ACアダプタをおすすめします。



注 意

- マンガン電池は使用できません。
- 電池の寿命は、お使いの電池の種類、メーカー、カメラの使用条件などにより大きく異なります。
- 電池を使用してカメラをパソコンに長時間接続しているとき、途中で電池残量がなくなると画像データにトラブルが生じることがあります。ACアダプタのご使用をおすすめします。ただし、パソコンとの接続中にはACアダプタを抜き差ししないでください。
- 以下の条件では撮影をしなくても電力を消費するため、撮影可能枚数が減少することがあります。
  - 液晶モニタが点灯している。
  - シャッターボタンの半押しをして、オートフォーカス動作を繰り返す。
  - ズーム動作を繰り返す。
  - フルタイムAFをオンにしている。
  - パソコンとの通信時。
- カメラに電池が入っている場合も、ACアダプタから電力が供給されます。このときカメラ内の電池は充電されません。
- カメラの電源が入っているときに、電池やACアダプタを抜き差ししないでください。カメラに設定されている設定値や、機能にトラブルが生じる場合があります。
- 本書の「安全にお使い頂くために」を必ずお読みください。（P. 10）

カードについて

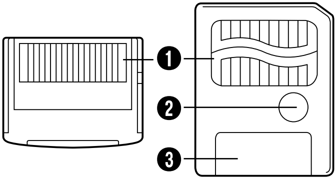
本書では、xDピクチャーカードとスマートメディアを「カード」と呼びます。カメラで撮影した画像はカードに記録されます。撮影の際には、あらかじめカードをカメラに入れておきます。

1

準備

カードとは？

撮影した画像を記録するためのフィルムにあたるものです。カードに記録された画像は削除したり上書きしたり、パソコンで加工することができます。



xDピクチャーカード　　スマートメディア

❶ コンタクトエリア（接触面）
カメラの信号読み取り接点が接触する部分です。

❷ ライトプロテクトエリア
書き込み禁止状態にしたいときは、ここに付属のライトプロテクトシールを貼ります。撮影に使用するときには、シールを貼らないでください。

❸ インデックスエリア
カードに保存されている内容がわかるようにここに付属のラベルを貼ります。

使用できるカード

- xDピクチャーカード（16～128MB）
- スマートメディア（4～128MB）

注 意

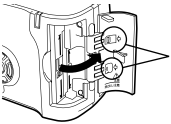
- 5Vのスマートメディアは使用できません。
- 当社製以外の市販のカード（3V（3.3V））や、パソコンなどの他の機器でフォーマットしたカードは、このカメラで認識できないことがあります。お使いになる前に、必ずこのカメラでフォーマットしてください。(P. 148)

カードを入れる/ 取り出す

1 カメラの電源が入っていないことを確認します。

- 液晶モニタが消灯している。
- ビューファインダが消灯している。
- レンズが出ていない。

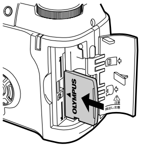
2 **カードカバーを開けます。**



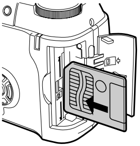
カード挿入方向マーク

3 **■カードを入れる**
カードの向きを正しく合わせて入れます。

- このカメラには、xDピクチャーカードあるいはスマートメディアのどちらか一方のカードが1枚しか入りません。
- カードが斜めに入らないようにまっすぐに奥までしっかり押し込みます。カードがロックされます。
- カードを表裏逆にしたり、入れる向きを逆にして押し込むと、抜けなくなることがあります。

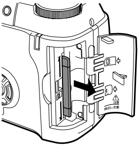


xDピクチャーカード



スマートメディア

■カードを取り出す
カードを一度奥に向かって押し、カードが飛び出さないよう、指で押さえながら取り出しやすい位置まで出てきたら、つまんで引き抜きます。



4 **カードカバーを閉めます。**

注 意

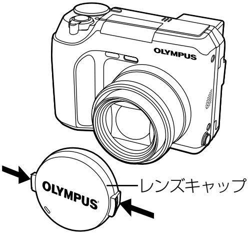
- カードを取り出す際に、カードを押した指をすぐにはなしたり、指ではじくように押し出すと、カードが勢いよく飛び出すことがあります。
- カメラの電源が入っているときは、絶対にカードカバーを開けたり、電池を取り出したり、ACアダプタを抜いたりしないでください。また、カードが確実に挿入されていない状態で使用すると接触が不安定なため、カードが使用できなかったり、撮影した画像が記録されなかったり、カード内のデータが破壊されることがあります。破壊されたデータの復旧はできません。
- カードが入っていなくても、カメラの設定はできますが、撮影や再生はできません。

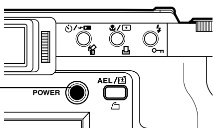
電源を入れる／切る

1 **レンズキャップのつまみを矢印のように押してカメラからレンズキャップを外します。**

2 **パワースイッチを押します。電源が入ります。**
- モードダイヤルを ▶ 以外に設定していると、レンズがせり出してきます。
- ビューファインダが点灯します。

3 **再度パワースイッチを押すと、電源が切れます。**





注 意

- 電源を入れたままで何も操作しないと、電池の消耗を防ぐため、スリープモード（待機状態）に入ります。ズームレバーやシャッターボタンを操作すると動きます。撮影モード（ AUTO 以外）では、スリープモードに入るまでの時間を設定できます。(P. 170)
- カメラのそばにクレジットカードや磁気定期券、フロッピーディスクなどの磁気の影響を受けやすいものを近づけないでください。データが壊れて使用できなくなることがあります。

液晶モニタ画面と音声

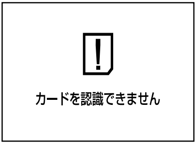
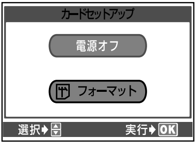
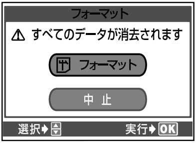
電源を入れたり切ったりしたとき、液晶モニタには画像が表示され、起動／終了音が出力されます。このときの画像を自分で登録したり、起動／終了音の選択ができます。(P. 172)

スタートアップ／
シャットダウン画面（初期設定）



カードチェック

電源を入れると、カードチェックが自動的に行われます。

表示	ヒント
	**カードがカメラに入っていない、またはカードが奥までしっかりと入っていません。** →カードを入れます。すでにカードが入っているときは、いったんカードを取り出して入れ直します。
	**カードに問題があります。** →新しいカードを使用します。
	**カードがこのカメラのシステムでは読めません。** →カードのフォーマットを行います。 ● フォーマットを行なうと、カード内のすべてのデータは消去されます。 ① **十字ボタンの▽を押して「フォーマット」を選択し、OK を押します。** ● 「フォーマット」画面が表示されます。 ② **△を押して「フォーマット」を選択し、OK を押します。** ● フォーマットが始まります。フォーマットが終わると、撮影できる状態になります。

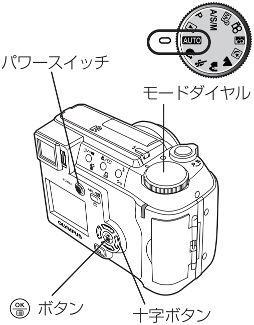
日時の設定

カメラの日時を設定します。日時は撮影した画像と一緒に保存されますので、撮影前に正しく設定されているかを再度ご確認ください。

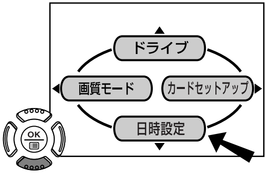
モードダイヤル設定 AUTO A/S/M P

1 モードダイヤルを AUTO にして、パワースイッチを押して電源を入れます。
- 電源を入れる前に、レンズキャップは必ず外しておきます。

2 OK を押します。
- 液晶モニタが自動的に点灯し、トップメニューが表示されます。

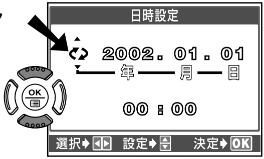


3 十字ボタンの▽を押して、「日時設定」を選択します。



4 **⟲ が選択されているときに、△▽を押して日付の順序を選択します。**

- 順序は
  日・月・年、
  月・日・年、
  年・月・日
  の中から選択します。
- この手順以降は、年・月・日に設定した場合の説明をします。



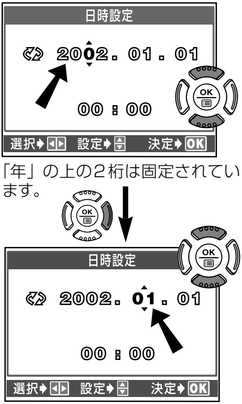
日時設定画面

5 **▷ を押して、年の設定に移動します。**



6 **△▽を押して、「年」を変更します。「年」が確定したら、▷ を押して「月」の設定に移動します。**

- 「分」までの設定を同様に繰り返します。
- ◁ を押すと、ひとつ前の設定位置に戻ります。



「年」の上の2桁は固定されています。

1
準備

7 (OK) **を押します。**

- 0秒の時報に合わせ (OK) を押すと、正確に時間を合わせられます。時計はこのとき動き始めます。



8 **電源を切るときは、パワースイッチを押します。**

- レンズが元の位置に戻ります。

注 意

- 電源を切っても、設定は変更するまで保存されます。
- 電池を抜いた状態で約1時間すると、設定した日付は解除されます(当社試験条件による)。この場合は再度日時の設定を行ってください。また、カメラに電池を入れていた時間が短い場合は、これよりも早く日付けが解除されます。

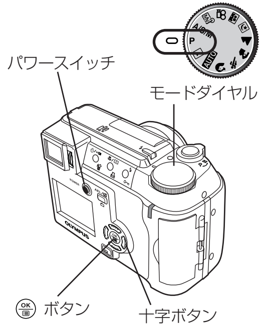
画面表示の言語の切替え

液晶モニタに表示する言語を選択できます。本書では、画面のイラストなど、日本語の表示で説明します。

モードダイヤル設定

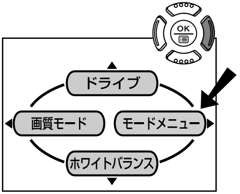


1 **モードダイヤルをPにして、パワースイッチを押して電源を入れます。**
- 電源を入れる前に、レンズキャップは必ず外しておきます。



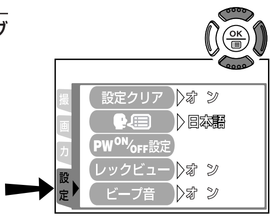
2 **を押します。**
- 液晶モニタが自動的に点灯し、トップメニューが表示されます。

3 **十字ボタンの▷を押して、「モードメニュー」を選択します。**



トップメニュー画面

4 **十字ボタンの△▽を押して、「設定」タブを選択し▷を押します。**
- 設定メニューが表示されます。



画面表示の言語の切替え （つづき）

5 十字ボタンの△▽を押して、「」を選択し▷を押します。



6 十字ボタンの△▽を押して、言語を選択し を押します。



画面表示	**言語**
日本語	日本語
ENGLISH	英語
FRANCAIS	フランス語
DEUTSCH	ドイツ語

- 設定メニューに戻ります。
- 再度 を押すとメニューが消えます。

7 電源を切るときは、パワースイッチを押します。

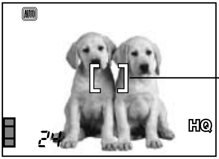
- レンズが元の位置に戻ります。

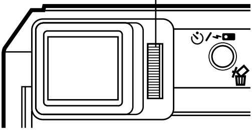
初期設定：日本語

視度調節〜ビューファインダを見やすくする

モードダイヤルを AUTO にして、パワースイッチを押し電源を入れます。視度調節ダイヤルをまわし、AFターゲットマークが鮮明に見える位置に合わせます。

ビューファインダ



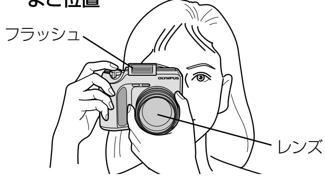


カメラの正しい構え方

両手でしっかりカメラを持ち、脇をしっかりしめます。
レンズ、フラッシュに指やストラップがかからないようにご注意ください。ズームを使用したときは、画像がぶれやすくなるので、特に注意してください。

正しい構え方

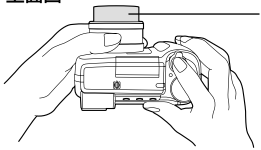
よこ位置



たて位置



上面図



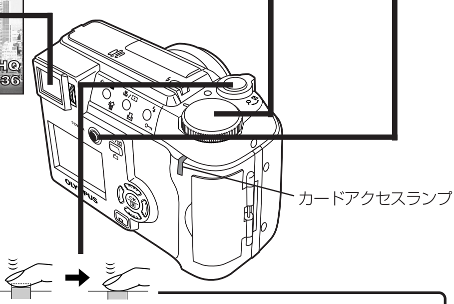
静止画を撮る AUTO

1 レンズキャップをはずします。モードダイヤルを AUTO にして、パワースイッチを押します。

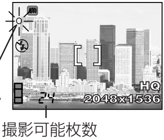


2 ビューファインダをのぞき、撮影したいもの（被写体）にカメラを向けます。





3 ピントを合わせるため、シャッターボタンを軽く押します。（半押し）
- ピントが合うと、緑ランプが点灯します。
- ピントの合った位置にAFターゲットマークが移動します。



4 撮影するには、シャッターボタンを半押しした状態から、さらにボタンを静かに押します。（全押し）
- フラッシュを起こしていると、フラッシュが必要な条件では自動的に発光します。(P. 79)
- カードアクセスランプが点滅し、カードに記録が始まります。

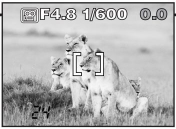
注 意

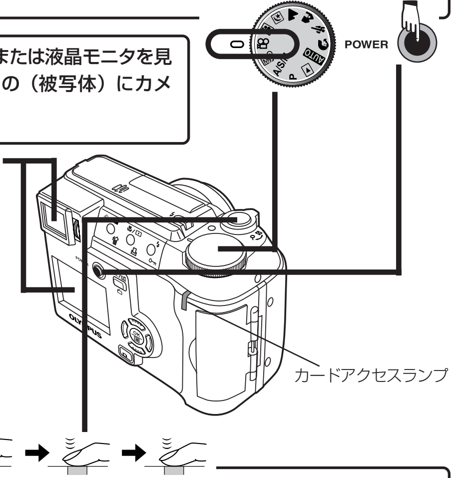
●カードアクセスランプの点滅中には、絶対にカードカバーを開けたり、電池を取り出したり、ACアダプタを抜いたりしないでください。撮影した画像が記録されないだけでなく、記録済みの画像が破壊されるおそれがあります。

ムービーを撮る 🎥

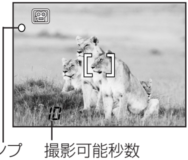
1 **レンズキャップをはずします。モードダイヤルを🎥にして、パワースイッチを押します。**

2 **ビューファインダまたは液晶モニタを見て、撮影したいもの（被写体）にカメラを向けます。**





3 **シャッターボタンを半押しします。**
- 緑ランプが点灯します。
- ピントの合った位置にAFターゲットマークが移動します。

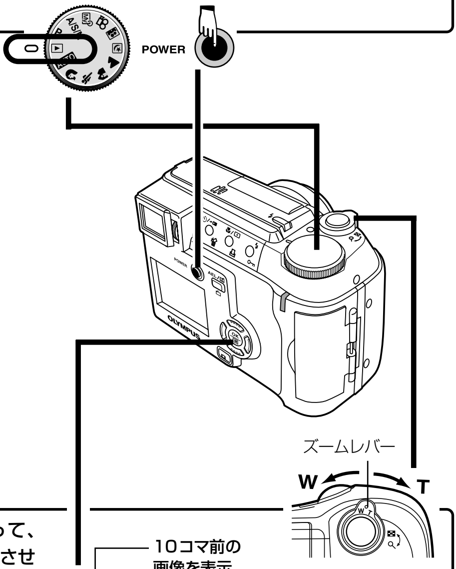


4 **シャッターボタンを全押しして、撮影を始めます。**
- カードアクセスランプが点滅して、カードへの記録が始まります。
- ムービー撮影中は、🎥マークが赤く点灯します。

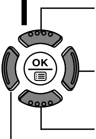
5 **撮影を終了するには、再度シャッターボタンを全押しします。**
- 表示されている撮影可能時間が0になると、自動的に撮影を終了し、カードへの記録を続けます。

静止画を見る ▶

1 モードダイヤルを ▶ にして、パワースイッチを押します。



2 十字ボタンを使って、見たい画像を表示させます。
- 🎥 のついた画像はムービー画像です。（P. 41）



ズームレバーを使うと、以下のようなことができます。

T：画像を拡大表示（P. 136）
W：複数の画像を一度に表示（P. 137）

注 意

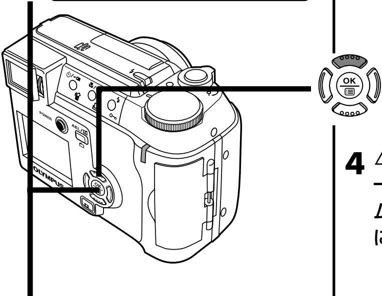
- 液晶モニタ点灯時は、3分以上何もカメラの操作をしないと、自動的に消灯します。再度、点灯させるには、 ▢ を押すか、いずれかのボタン操作をしてください。

ムービーを見る ▶

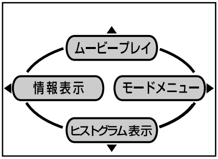
1 ムービー再生したいコマ（🎞 マークのついた画像）を表示します。（P. 40）



2 ㊎ を押します。
- トップメニューが表示されます。



3 十字ボタンの△を押して、「ムービープレイ」を選択します。



4 △または▽を押して、「ムービー再生」を選択します。ムービープレイ画面から抜けるには、◁を押します。





5 ㊎ を押して、再生を開始します。
- 再生が終わると、ムービーの最初に戻ります。
- 再生終了後に、再び ㊎ を押すと「ムービー再生」画面が表示されます。ムービー再生モードから抜けるには、△▽を押して「中止」を選択し、㊎ を押します。

注 意

- カードアクセスランプの点滅中は、絶対にカードカバーを開けたり、電池を取り出したり、ACアダプタを抜いたりしないでください。撮影した画像が記録されないだけでなく、記録済みの画像が破壊されるおそれがあります。

2 使い方早わかりガイド

画像をプロテクトする O┳

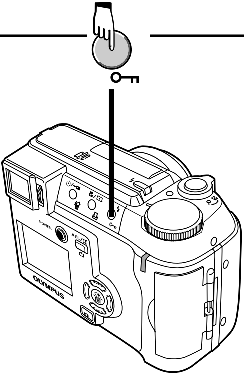
1 プロテクト（保護）をかけたい画像を表示します。（P. 40）

2 O┳ を押します。

- プロテクトを解除するには、再度 O┳ を押します。

画像にプロテクトがかかると表示されます。





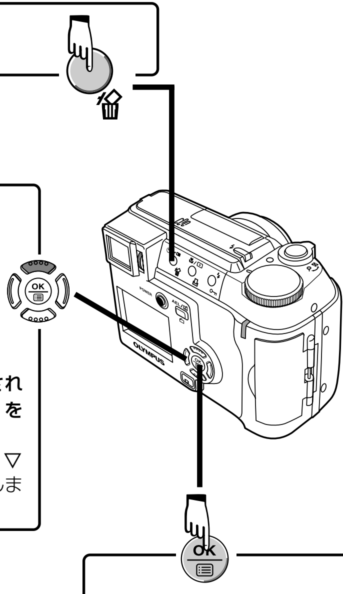
注 意

- プロテクトされた画像は、全コマ消去しても消されることはありませんが、フォーマットするとすべて消去されます。
- ライトプロテクトシールの貼ってあるカード（スマートメディア）には、プロテクト操作はできません。

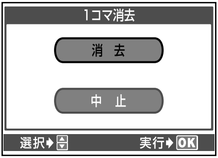
画像を消去する

1 消したい画像を表示します。（P. 40）

2 （消去）を押します。



3



「1 コマ消去」画面が表示されたら、△を押して「消去」を選択します。

- 消去をやめたいときは、▽を押して「中止」を選択します。

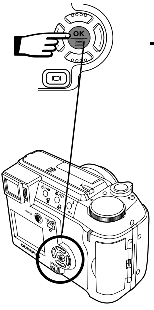
4 を押して、実行します。

注 意

- プロテクトをかけた画像は消去できません。
- ライトプロテクトシールがカード（スマートメディア）に貼られていたら、消去できません。
- 1 コマ消去のほかに、カード内の画像全てを消去する全コマ消去もあります。（P.146）

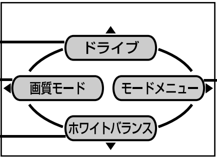
メニューについて

カメラの電源を入れて OK を押したとき、液晶モニタに表示される画面をトップメニューと呼びます。カメラの各設定はメニューで行います。ここではPモードの画面を使って、メニューのしくみについて説明します。トップメニューはモードによって異なります。(P. 47)



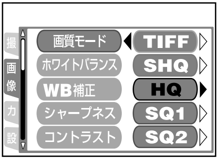
トップメニュー

- 十字ボタンでショートカットメニューまたはモードメニューへ進みます。



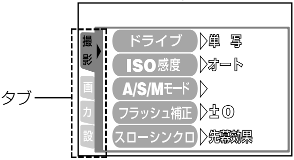
ショートカットメニュー

- 各機能の設定画面に直接すすみます。
- 操作可能なボタンが画面下に表示され、△▽で項目を選択します。
- AUTO 🎥 モード以外の撮影モードでは、ショートカットメニューが他の機能に置き換えることができます。(P. 157)



モードメニュー

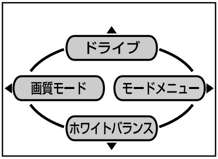
- ホワイトバランスなどいろいろな設定ができます。
- 設定項目が機能ごとに4つのタブで分類されています。
- △▽でタブを選択すると、「撮影」「画像」「カード」「設定」のそれぞれのメニュー項目が表示されます。



メニューの操作方法

1 (OK)を押してトップメニューを表示させます。▷を押します。

Pトップメニュー

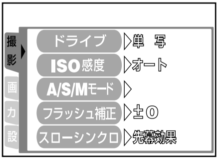


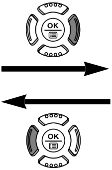




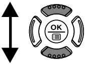
2 △▽を押してタブを選択し、▷を押します。

撮影タブ

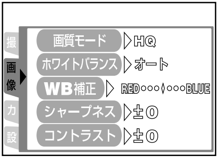


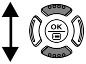


◁を押すとタブの選択に戻ります。



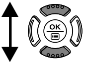
画像タブ





カードタブ





設定タブ



撮：撮影タブ
ドライブやISO感度など、撮影時に使う機能。

画：画像タブ
画質モードの設定やホワイトバランスの調整など、主に画像に関する機能。

カ：カードタブ
カードのフォーマットなど、使用するカードに関する機能。

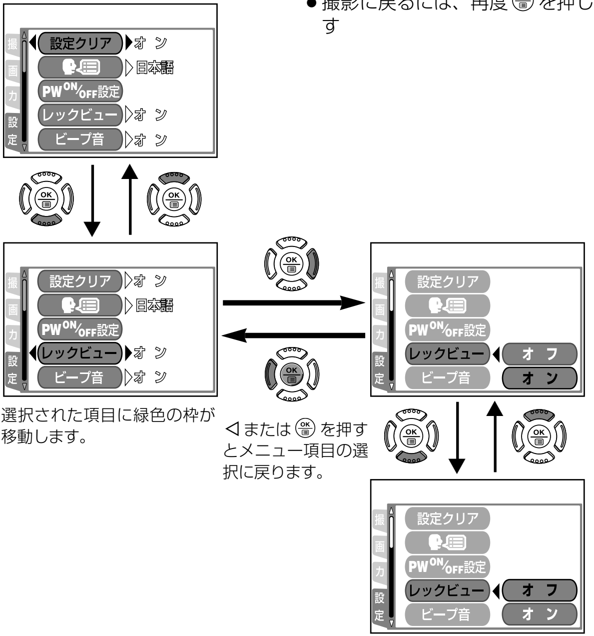
設：設定タブ
日時設定やショートカット設定など、主にカメラの設定に関する機能。

メニューの操作方法（つづき）

3 △▽を押して設定する項目を選択し、▷ を押します。

4 △▽を押して設定を変更します。OK を押すと設定が完了します。

- 撮影に戻るには、再度 OK を押します



選択された項目に緑色の枠が移動します。

◁または OK を押すとメニュー項目の選択に戻ります。

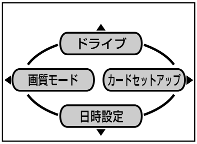
注 意

- カメラの状態や設定内容などにより、使用できない項目は選択できません。
- 撮影時にメニューを表示した状態でシャッターボタンを押すと、そのとき選択されている設定状態で撮影されます。
- 設定した機能を電源を切っても保持させておきたい場合は、「設定クリア」の機能を「オフ」に設定してください。(P. 152)

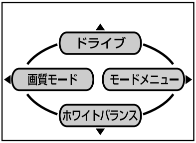
モード別ショートカットメニュー

モードダイヤルの設定によって、表示されるトップメニューは異なります。トップメニューに表示される機能の概要は次ページの一覧表をご覧ください。

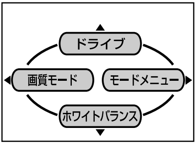
AUTO トップメニュー



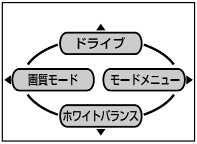
P トップメニュー



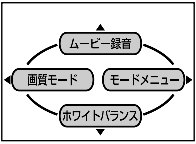
A/S/M トップメニュー



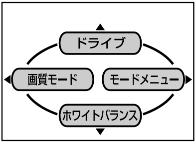
My トップメニュー



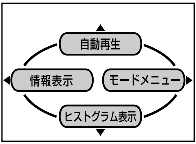
トップメニュー



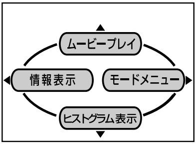
・・・・・ トップメニュー



トップメニュー（静止画）



トップメニュー（ムービー）



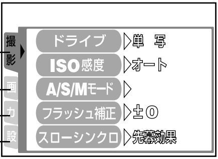
モード別ショートカットメニュー（つづき）

ショートカットメニュー	機能概要	参照ページ
ドライブ	単写、連写、高速連写、AF連写、BKT（ブラケット撮影）から選択します。	P. 99
情報表示	画像の情報をすべて表示するか、最小限にするかを選択します。	P. 164
ヒストグラム表示	撮影した画像のヒストグラム（輝度分布）を表示します。	P. 168
ムービー録音	ムービー撮影時に音声を録音します。	P. 104
画質モード	撮影する画像の画質を選択します。	P. 110
ホワイトバランス	光源に応じて、適切なホワイトバランスを設定できます。	P. 118
自動再生	カードに記録されている画像を、連続で再生します。	P. 127
ムービープレイ	撮影したムービーを再生します。またそのムービーの編集やインデックス作成をすることもできます。	P. 128
カードセットアップ	カードをフォーマットします。	P. 148
日時設定	日付と時刻を設定します。	P. 32

タブとモードメニュー機能一覧（撮影）

撮影モード（モードダイヤルが 、 、 、 、 、 、 、 、A/S/M、P）のとき、モードメニューは4つのタブに分けられています。△▽を押してタブを選択すると、それぞれの機能が表示されます。撮影モードが AUTO のときは、カメラが自動で設定しているため、モードメニューはありません。

「撮影」タブ
「画像」タブ
「カード」タブ
「設定」タブ



「撮影」タブ

ドライブ	単写、連写、高速連写、AF連写、BKT（ブラケット撮影）から選択します。	P. 99
ISO感度	ISO感度を、オート、または100/200/400の中から選択できます。	P. 115
A/S/Mモード	撮影モードをA（絞り優先撮影）、S（シャッター優先撮影）、M（マニュアル撮影）から選択します。	P. 54
My 1/2/3/4	撮影モードを My1 、 My2 、 My3 、 My4 から選択します。	P. 55
フラッシュ補正	被写体に合わせてフラッシュの発光量を増減できます。	P. 85
スローシンクロ	遅いシャッター速度でフラッシュを発光させます。	P. 80、82
ノイズリダクション	長時間露光時に、画像に発生するノイズを軽減します。	P. 124
マルチ測光	正確な露出を得にくい撮影条件（明暗の差が大きいときなど）でも、画面の明るさを最大8箇所まで測り、その平均値で適正露出を算出することができます。	P. 87
デジタルズーム	光学ズームの最大倍率からさらに高倍率（最大で約30倍まで）のズーム撮影が可能です。	P. 78
フルタイムAF	シャッターボタンを半押ししなくても、カメラを向けている被写体に常にピントを合わせます。	P. 68

「撮影」タブ（つづき）

AF方式	オートフォーカスの方式を、iESP方式またはスポット方式から選択できます。	P. 67
スチル録音	静止画撮影時に音声を録音します。	P. 103
スーパーマクロ	被写体に4cmまで近づいて撮影できます。	P. 94
パノラマ	カードのパノラマ機能を使って、パノラマ撮影ができます。	P. 105
合成ツーショット	連続して撮影した2枚の静止画を合成します。	P. 107
ファンクション撮影	モノクロやセピアカラーなどの画像撮影を楽しめます。	P. 109
AFターゲット選択	AFターゲットマークの位置を十字ボタンで自由に決められます。	P. 69
撮影情報表示	撮影した画像の情報をすべて表示するか、最小限にするかを選択します。	P. 164
ヒストグラム表示	画像のヒストグラム（輝度分布）を表示します。	P. 168

「画像」タブ

画質モード	撮影する画像の画質を選択します。	P. 110
ホワイトバランス	光源に応じて、適切なホワイトバランスを設定できます。	P. 118
WB補正	手動による微妙なホワイトバランス設定が可能です。	P. 120
シャープネス	画像の鮮鋭度を調節します。	P. 121
コントラスト	画像のコントラスト（明暗の差）を調節します。	P. 122
彩度	色あいを変化させずに、色の濃さを調節します。	P. 123

「カード」タブ

カードセットアップ	カードをフォーマットします。	P. 148

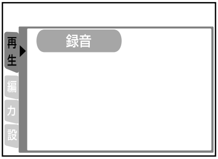
「設定」タブ

設定クリア	カメラの電源をオフにしたときに、設定内容を保持するかどうかを選択します。	P. 152
	画面の言語を切り替えます。	P. 35
PW ON/OFF設定	電源を入れたときや切ったときに液晶モニタに表示されるスタートアップ／シャットダウン画面の選択をします。	P. 172
レックビュー	撮影した画像の記録中にその画像を表示するかどうかを選択します。	P. 169
ビープ音	カメラの操作音や警告音をオフにしたり、またその大きさを設定できます。	P. 166
シャッタ音	音色と音量をそれぞれ2つの設定から選べます。	P. 167
スリープ時間	カメラがスリープモード（待機状態）に入るまでの時間を設定します。	P. 170
マイモード設定	モードで設定される機能をここで登録します。	P. 160
ファイル名メモリー	カメラ内に自動的に記録されるフォルダ名/ファイル名の付け方を選択します。	P. 175
ピクセルマッピング	CCDと画像処理用回路のチェックをします。	P. 177
モニタ調整	液晶モニタの明るさを調節します。	P. 165
日時設定	日付と時刻を設定します。	P. 32
m/ft設定	マニュアルフォーカス時に表示される長さの単位をメートル、またはフィートに切り替えます。	P. 179
ビデオ出力	再生に使うテレビの映像信号方式に合わせて、NTSCかPALを選択します。映像信号方式は、地域によって異なります。	P. 178
電池節約モード	電池の節約をしながら、カメラを動作させるモードです。	P. 171
ショートカット設定	使用頻度の高い機能をトップメニューに登録できます。	P. 157
カスタムボタン設定	カスタムボタンに機能を自由に設定できます。	P. 154

タブとモードメニュー機能一覧（再生）

再生モード（モードダイヤルが ▶ ）のとき、静止画の再生中とムービーの再生中では、モードメニューの項目が異なります。同様に、トップメニューの項目も異なります。

静止画再生時



ムービー再生時



「再生」タブ

録音	画像再生時に音声メモを追加録音すること（アフレコ）ができます。	P. 144

「編集」タブ

リサイズ	撮影した画像のサイズを変更して、別の画像として保存します。	P. 139
トリミング	撮影した画像の一部を拡大して、別の画像として保存します。	P. 140

「カード」タブ

カードセットアップ	カードをフォーマット、またはカード内の画像を全て消去します。	P. 148

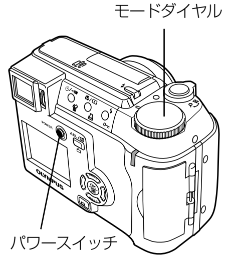
「設定」タブ

設定クリア	カメラの電源をオフにしたときに、設定内容を保持するかどうかを選択します。	P. 152
	画面の言語を切り替えます。	P. 35
PW ON/OFF設定	電源を入れたときや切ったときに液晶モニタに表示されるスタートアップ／シャットダウン画面の選択をします。	P. 172
画面登録	「PW ON/OFF設定」で設定する画面に、自分で撮影した画像を選択できるように登録します。	P. 174
再生音量	再生時の音量を調節することができます。	P. 143
ビープ音	カメラの操作音や警告音をオフにしたり、音量を調節したりできます。	P. 166
モニタ調整	液晶モニタの明るさを調節します。	P. 165
日時設定	日付と時刻を設定します。	P. 32
ビデオ出力	再生に使うテレビの映像信号に合わせて、NTSCかPALを選択します。	P. 178
インデックス表示	インデックス再生時、液晶モニタに一度に表示する画像の枚数を設定します。	P. 138

撮影モードの設定～モードダイヤル

モードダイヤルを以下のモードのいずれかに設定して、パワースイッチを押します。

- 電源が入り、レンズが前に出てくるので、レンズキャップをはずしておきます。



撮影モード： AUTO、、、、、、、、、A/S/M、P

A/S/Mモード設定

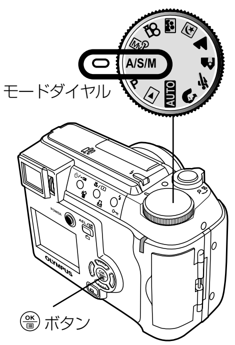
モードダイヤルをA/S/Mの位置にすると、次の中から撮影モードを選択できます。

撮影モード：

A 絞り優先撮影

S シャッター優先撮影

M マニュアル撮影



モードダイヤル設定 **A/S/M**

トップメニューから「モードメニュー」→「撮影」→「A/S/M」→「A」、「S」または「M」を選択し、OKを押します。再度、OKを押すとメニューが消えます。

初期設定： A

My モード設定

モードダイヤルをMyの位置にすると、次の中から撮影モードを選択できます。**My2**、**My3**、**My4**はマイモード設定（P.160）をしてからお使いください。

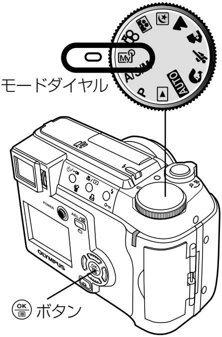
撮影モード：

My1　マイモード撮影1

My2　マイモード撮影2

My3　マイモード撮影3

My4　マイモード撮影4



モードダイヤル設定 ＞ My

トップメニューから「モードメニュー」→「撮影」→「My　1/2/3/4」→「My1」、「My2」、「My3」または「My4」を選択し、OKを押します。

再度、OKを押すとメニューが消えます。

初期設定：My1

撮影モードの種類

AUTO　フルオート撮影

静止画を撮影します。特別な機能や各種の設定は必要ありません。ピント合わせや明るさ調整などは、カメラが最適なものにします。一番簡単な撮影方法です。

ポートレート撮影

人物撮影をするのに最適です。背景をぼかし人物だけにピントが合うようにすることで、人物を背景から浮き出させる効果があります。カメラが自動的にポートレート撮影に適した条件を設定します。

スポーツ撮影

スポーツなどの動きのある被写体をとるときには最適です。すばやい動きのものでも、止まっているように撮れるので、人物の表情など、被写体の様子も逃しません。カメラが自動的に撮影に適した条件を設定します。

記念写真撮影

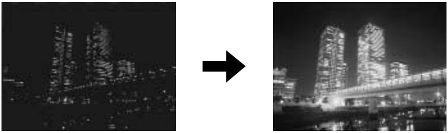
人物と背景を一緒に撮るのに最適です。近くの被写体と背景の両方にピントを合わせるように撮ります。カメラが自動的に記念写真に適した条件を設定します。

風景撮影

風景を撮るのに最適です。近景から遠景までピントが合うように写します。また、青や緑の色をよりきれいに再現するので、自然のなかでの撮影には効果的です。カメラが自動的に風景撮影に適した条件を設定します。

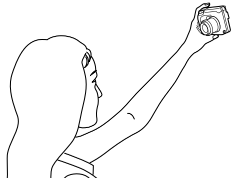
夜景撮影

夜の景色を撮るには最適です。通常の撮影よりも長いシャッター速度で撮影します。AUTO モードで街灯が輝く街の夜景を撮影すると、明るさが不足するので光っている点だけの画像になってしまいます。夜景撮影モードでは、街の様子も写し出します。カメラが自動的に夜景撮影に適した条件を設定します。シャッター速度が遅くなりますので、カメラを三脚などに固定して撮影してください。



セルフポートレート撮影

撮影者がカメラを持って、自分を撮るのに最適です。ピントは近くに合うようになっています。カメラが自動的にセルフポートレート撮影に適した条件を設定します。ズームはできません。



動画（ムービー）撮影

ムービーを撮影します。絞り値とシャッター速度は、カメラが自動的に決めます。

マイモード撮影

メニューの「設定」タブ内の「マイモード設定」で、各種の機能を自由に設定して登録しておくことができます。この撮影モードで電源を入れるたびにその設定で動作します。設定には、絞り値やズーム位置などがあります。露出モードは、、、、、、、A、S、M、Pから選択します。機能の設定は、メニュー画面での選択になります。
「マイモード設定」は4つのパターンまで登録できます。（P. 160）

A/S/M　絞り優先/シャッター優先/マニュアル 撮影

モードダイヤルをA/S/Mにしたときの撮影モードの設定は、「A/S/Mモード設定」（P. 54）をお読みください。

● A　絞り優先撮影

絞り値を自分で設定できます。シャッター速度は、カメラが自動的に設定します。絞り値（F値）を小さくすると、ピントの合う範囲が狭くなって、背景のぼけが強くなります。絞り値（F値）を大きくすると、ピントの合う範囲が前後に広くなって、背景にもピントが合いやすくなります。背景の描写に変化をつけたいときに、このモードをお使いください。（P. 60）



絞り値を（F値）を小さくする



絞り値を（F値）を大きくする

● **S　シャッター優先撮影**
シャッター速度を自分で設定できます。絞り値は、カメラが自動的に設定します。目的に応じて、シャッター速度を設定してください。（P. 61）



シャッター速度を速くすると、すばやい動きをとらえて、止まっているように撮影します。



シャッター速度を遅くすると、動いているものは、ぶれて撮影されます。このぶれが躍動感や動きのある仕上がりになります。

● **M　マニュアル撮影**
絞り値とシャッター速度を自分で設定します。適正露出かどうかは、露出レベル表示で確認できます。このモードは、適正露出にとらわれることなく、独自の撮影意図を反映することができます。（P. 62）

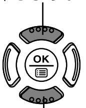
P　プログラム撮影
絞り値とシャッター速度はカメラが自動的に決めて、静止画を撮影します。フラッシュ発光モードやドライブモードなどのその他の機能は、自由に設定できます。

絞り値の設定～絞り優先撮影

モードダイヤル設定 A/S/M

1 P. 54の「A/S/Mモード設定」にしたがって、Aを選択します。

2 絞りを絞る（F値を大きくする）には△を押します。



絞りを開く（F値を小さくする）には▽を押します。

■ **絞り値が緑で表示される**
設定した絞り値で、適正露出が得られました。

■ **絞り値が赤く表示される**
設定した絞り値では、適正露出が得られません。

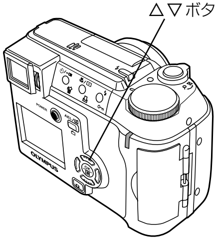
▼が表示される→▽を押して、絞り値を小さくします。

▲が表示される→△を押して、絞り値を大きくします。

ズーム位置	設定
広角（W側）	F2.8＊～F8
望遠（T側）	F3.5＊～F8

＊ズームの位置により、開放絞り値は変わります。

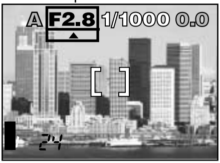
△▽ボタン



緑の表示：設定した絞り値で適正露出が得られる場合



赤の表示：設定した絞り値では適正露出が得られない場合



注 意

●フラッシュがオート発光に設定されている際、シャッター速度は、ズームでもっとも広角側（W端）で1/30秒、もっとも望遠側（T端）で1/320秒よりも低速にはなりません。

シャッター速度の設定〜シャッター優先撮影

モードダイヤル設定 > **A/S/M**

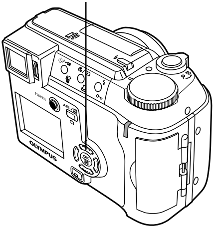
1 P. 54の「A/S/Mモード設定」にしたがって、Sを選択します。

2 シャッター速度を速くするには△を押します。



シャッター速度を遅くするには▽を押します。

△▽ボタン



シャッター速度



■ **シャッター速度が緑で表示される**
設定したシャッター速度で、適正露出が得られました。

■ **シャッター速度が赤く表示される**
設定したシャッター速度では、適正露出が得られません。

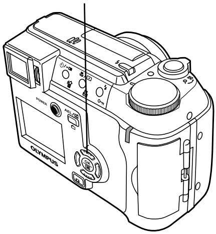
▼が表示される→▽を押して、シャッター速度を遅くします。

▲が表示される→△を押して、シャッター速度を速くします。

シャッター速度選択範囲： 1〜1/1000（秒）

絞り値とシャッター速度の設定〜マニュアル撮影

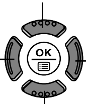
モードダイヤル設定 > **A/S/M**



1 **P. 54の「A/S/Mモード設定」にしたがって、Mを選択します。**

2 絞りを絞る（F値を大きくする）には◁を押します。

シャッター速度を速くするには△を押します。



シャッター速度を遅くするには▽を押します。

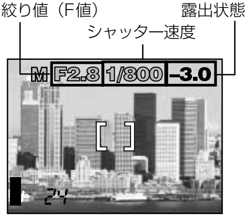
絞りを開く（F値を小さくする）には▷を押します。

絞り値： W側→F2.8＊〜F8
T側 →F3.5＊〜F8
シャッター速度： 16〜1/1000（秒）

＊ズームの位置により、開放絞り値は変わります。

■ **露出状態**

- 設定されている絞り値とシャッター速度から算出される露出と、カメラが算出する適正露出との露出差が−3.0〜＋3.0EVの範囲で、画面右上に表示されます。
- 露出差がー3.0EVよりも小さい、または+3.0EVより大きいときは、表示が赤くなります。



- AEL/凸 を押すと、露出状態を示すバーが表示されます。シャッターボタンを半押しすると、適正露出との差を表示します。



注 意

- シャッター速度を遅くする場合は、手ぶれを防ぐために三脚のご使用をおすすめします。

お好みの撮影モードに設定〜マイモード撮影

マイモードでは、メニューで選択した撮影モードで動作します。
選択した撮影モードや、機能の設定を記憶させておき、カメラをすぐにその状態に設定できます。また、現在使用している設定を、My モードで呼び出せるように登録させることができます。マイモードは4つのパターンまで登録できます。(P. 160)

モードダイヤル設定 ＞ My

「My モード設定」(P. 55)の操作で My1 、My2 、My3 、My4 のいずれかを選択します。

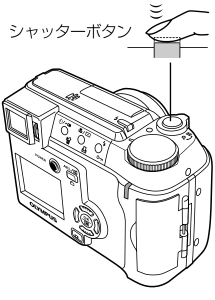
注 意

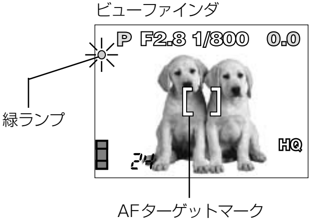
- 現在使用している設定を、そのまま登録することができますが、ズームの位置は登録時の設定とズレが生じる場合があります。

シャッターボタンの押し方

1 カメラを被写体に向けます。ビューファインダをのぞきながら、AFターゲットマークを被写体に合わせます。
シャッターボタンを静かに軽く押します。これを半押しといいます。

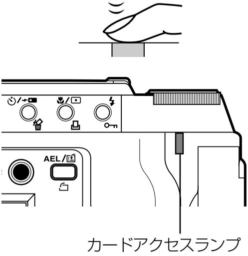
- ピントと露出（画像の明るさ）が固定されると、緑ランプが点灯します。
- ピントが合ったところにＡＦターゲットマークが移動します。
- 露出は常に中央に固定されます。





2 半押しした状態から、シャッターボタンをさらに押し込みます。これを全押しといいます。

- 撮影した画像はカードへ記録されます。カードへの記録中は、カードアクセスランプが点滅します。
- 🎥 モードの場合はムービー撮影が開始します。



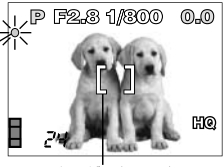
3 🎥 モード（ムービー撮影のみ）
撮影を終了するには、再度シャッターボタンを全押しします。

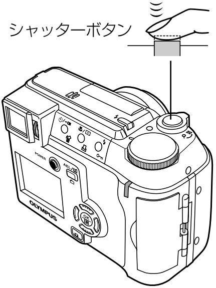
- カードアクセスランプが点滅して、撮影した画像の記録が始まります。カードアクセスランプの点滅中は、次の撮影はできません。

ピント

オートフォーカス

AFターゲットマークを被写体に合わせ、シャッターボタンを半押しすると、緑ランプが点灯します。これはピント合わせが自動的におこなわれたことを示しています。
もし、緑ランプが点滅したら、ピントは合っていません。その場合はマニュアルフォーカス(P. 70)、またはフォーカスロック(P. 66)をします。

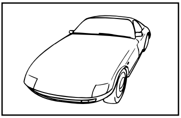




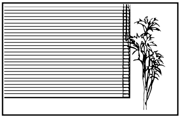
ピントの合いにくいもの〜オートフォーカスの苦手な被写体

ほとんどの被写体に対してオートフォーカスが可能ですが、以下❶〜❸のような条件ではピントが合わず、緑ランプが点滅することがあります。また、❹、❺のような被写体では、緑ランプが点灯し、シャッターは切れてもピントが合わないことがあります。その場合は以下の方法で撮影するか、マニュアルフォーカス(P. 70)を使用してください。

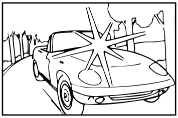
❶ 明暗の差がはっきりしない被写体
被写体と同距離にある明暗の差（コントラスト）がはっきりしたものでフォーカスロック(P. 66)した後、元の構図に戻して撮影してください。



❷ 縦線のない被写体
カメラを縦位置に構えてフォーカスロック(P. 66)した後、構図を横に戻して撮影してください。



❸ 画面中央に極端に明るいものがある被写体
被写体と同距離にあるコントラストのはっきりしたものでフォーカスロック(P. 66)した後、元の構図に戻して撮影してください。

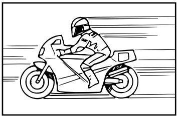


4
撮影の基本

❹ 遠いものと近いものが混在する被写体
緑ランプが点灯しても撮影したい被写体がぼけているときは、同じ距離にあるものでフォーカスロック(P. 66)してから元の構図に戻して撮影してください。

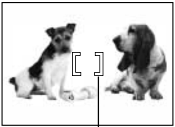


❺ 動きの速い被写体
あらかじめ撮影したい被写体と同じ距離にあるものでフォーカスロック(P. 66)してから、元の構図に戻して撮影してください。



フォーカスロック～中央以外の被写体にピントを合わせる

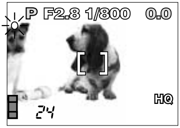
AFターゲットマークを被写体に合わせていない構図では、撮影したい被写体にうまくピントを合わせることができないことがあります。このような場合は次の手順で撮影を行ってください。

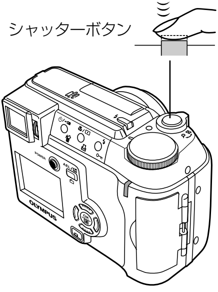


モードダイヤル設定 A/S/M P

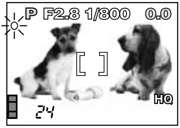
1 ピントを合わせたいものにAFターゲットマークを合わせ、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせます。

同時に露出（画像の明るさ）も固定され、緑ランプが点灯します。

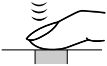




2 シャッターボタンを半押ししたまま、撮影したい構図に戻します。



3 シャッターボタンを全押しします。



ヒント

● **緑ランプが点滅する。**
→ピントと露出が固定されていません。いったん指をはなし、ピントを合わせる位置を少しずらして、緑ランプが点灯するまで、手順1を繰り返します。

● **ピント合わせをする構図と、露出を合わせたい構図が異なる。**
→AEロックを使います。(P. 90)

AF方式〜ピント合わせの範囲を変える

被写体の焦点を合わせるエリアを選択します。

iESP　：画面の範囲内から、ピントを合わせる被写体を判断します。被写体が中央になくても、ピントを合わせることができます。

スポット　：AFターゲットマークで狙ったものを中心に、ピントを合わせます。

iESP



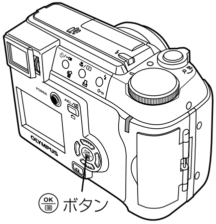
スポット



モードダイヤル設定 A/S/M P

トップメニューから「モードメニュー」→「撮影」→「AF方式」→「iESP」か「スポット」を選択し、OKを押します。再度、OKを押すとメニューが消えます。

初期設定： iESP

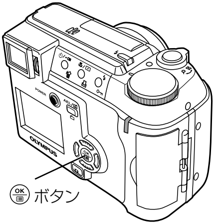


フルタイムAF～ピント合わせの時間を短くする

シャッターボタンを半押ししなくても、常にレンズの前のものにピントを合わせます。この機能により、シャッターを押したときのピント合わせの時間を短縮することができます。「オフ」設定時は、シャッターを半押しするまでピントは合いません。

モードダイヤル設定 A/S/M P

トップメニューから「モードメニュー」→「撮影」→「フルタイムAF」→「オン」を選択し、OKを押します。再度、OKを押すとメニューが消えます。



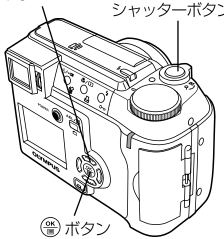
注 意

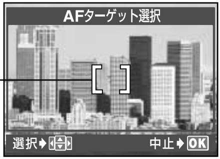
- フルタイムAFを設定しているときは、電池寿命が短くなります。
- 電池節約モードの設定がオンのときは、フルタイムAFは使えません。

AFターゲット選択～AFターゲットマークの位置を変える

ピントを合わせたいエリアを、AFターゲットマークの位置を変えることで選択できます。あらかじめAF方式を「スポット」に選択しておきます。（P. 67）







AFターゲットマーク

1 **トップメニューから「モードメニュー」→「撮影」→「AFターゲット選択」を選択します。▷ を押します。**

- AFターゲットマークの位置選択画面に変わります。

2 **十字ボタンを押して、ピントを合わせたいエリアへAFターゲットマークを移動させます。**

- AFターゲットマークは画面中央から十字方向に移動できます。

3 **シャッターボタンを押して撮影します。**

- AFターゲットマークの位置を解除するには、OK を押します。AFターゲットマークは中央に戻ります。
- 再度 OK を押すとAFターゲットマーク選択をやめます。

注 意

- デジタルズームがオンのときは、AFターゲット選択はできません。
- AFターゲットマークを移動した状態で記憶しておくことはできません。

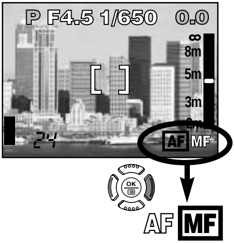
4
撮影の基本

マニュアルフォーカス～ピントを自分で合わせる

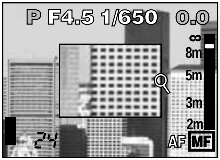
オートフォーカスでうまくピントが合わないときは、手動でピント合わせができます。



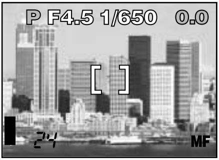
1 （OK）を1秒以上押し続けます。
液晶モニタにマニュアルフォーカスの撮影距離の選択画面が表示されたら、▷ を押してMFを選択します。



2 △▽を押して、撮影距離を選択します。
- 操作中は、ピントを合わせている範囲が拡大表示されます。液晶モニタの距離表示は、あくまで目安です。2m以下にカーソルを移動させると、自動的に10cm～2mの目盛りになります。



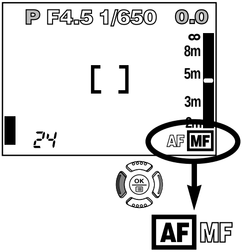
3 （OK）を1秒以上押して、設定を確定します。
- 画面に赤でMFと表示されます。



4 シャッターボタンを押して撮影します。
- ピントは設定された距離で固定されます。

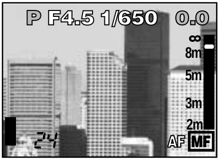
5 MFを解除するときは、再度（OK）を1秒以上押して、撮影距離の選択画面を表示させます。

6 **◁を押してAFを選択し、㊋を押します。**
- マニュアルフォーカスが解除されます。



ヒント

- **ピント位置を固定して撮影したい。**
  → フォーカスロックした距離に、MFを固定させることができます。
  ❶ 距離を合わせたいものにAFターゲットマークを合わせて、シャッターボタンを半押しします。
  ❷ シャッターボタンを半押ししたまま㊋を押すと、撮影距離の選択画面が表示されます。このときMFが選択され、カーソルはフォーカスロックをした距離に設定されています。

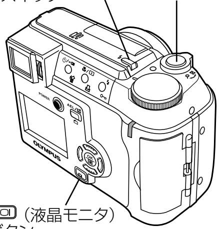


- **MFを選択して距離表示でもっとも上にカーソルを合わせても、ピントが∞（無限位置）に合わない。**
  → 液晶モニタを見ながら、△▽で少しずつ撮影距離を調整してください。
- **設定したのに、その距離が変わった。**
  → 設定した後でズーム操作をすると、設定距離が変わることがあります。再度、設定が必要です。

静止画を撮る

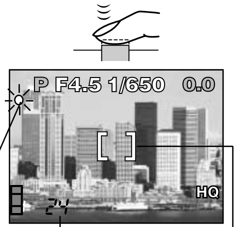
モードダイヤル設定 AUTO A/S/M P

1 カメラを被写体に向けて、AFターゲットマーク中央に被写体を合わせます。構図を決めます。



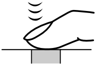
2 シャッターボタンを半押しします。

- 緑ランプが点灯します。この状態でカメラは適正な露出とピントを決定します。
- ϟ が点滅したら手ぶれ警告です。ϟ（フラッシュ）スイッチを押して、フラッシュを起こしてください。（P. 82）
- フラッシュを起こしたときにϟ が点灯したら、フラッシュ発光予告です。シャッターボタンを全押しすると、フラッシュが自動的に発光します。



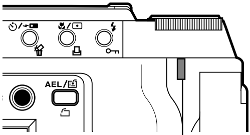
3 シャッターボタンを全押しします。

- メモリゲージの一番下が点灯し、カードアクセスランプが点滅して、カード記録が始まります。
- 16MBカード使用時の撮影可能枚数
  画質モードがHQ（2048 x 1536）のとき：約20枚
  画質モードがSQ2（640 x 480標準）のとき：約165枚





メモリゲージ



カードアクセスランプ

ヒント

- **液晶モニタを使って撮影したい。**
  → ◙ を押すと、液晶モニタが点灯します。
- **緑ランプが点滅している。**
  → 被写体の条件によって、ピントや露出（画像の明るさ）が固定されないことがあります。(P. 65)
- **ビューファインダや液晶モニタを明るく／暗くしたい。**
  →モニタ調整で設定します。(P. 165)
- **ピントの合っている範囲を確認したい。**
  → シャッターボタンを半押ししている間、◙ を押すと、ピントの合っている範囲が拡大表示されます。再度 ◙ を押すと、解除されます。ただし、デジタルズーム領域では拡大できません。



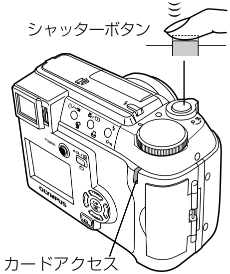
- **撮影してすぐ画像を自動的に確認したい。**
  → レックビューをオンに設定します。(P. 169)
- **ビューファインダ／液晶モニタが見にくい。**
  → 晴天下のように明るい場所でビューファインダ／液晶モニタを見たときに、画像に縦スジ（スミア）が入ることがあります。故障ではありません。

注 意

- シャッターボタンは静かに押してください。シャッターボタンを強く押すとカメラが動き、画像がぶれる原因になります。
- 電源を切ったり電池の交換や取り外しを行っても、撮影した画像はカードに保存されています。
- カードアクセスランプの点滅中には、絶対にカードカバーを開けたり、電池を取り出したり、ACアダプタを抜いたりしないでください。撮影した画像が記録されないだけでなく、記録済みの画像が破壊されるおそれがあります。
- 液晶モニタを使用すると、ビューファインダだけを使って撮影するよりも電池を消耗します。

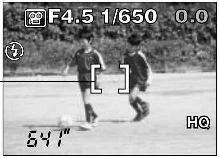
ムービー（動画）を撮る

モードダイヤル設定 ＞



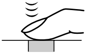
1 カメラを被写体に向けて、AFターゲットマークを被写体に合わせ構図を決め、シャッターボタンを半押しします。

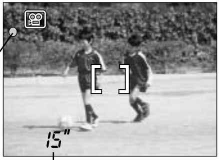
- 🎥 モードのときは、撮影可能秒数の合計が表示されます。合計秒数はカードの容量によって異なります。
- ピントと露出は、シャッターボタンを半押ししたときに決まります。



2 シャッターボタンを全押しして、撮影を始めます。

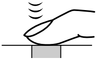
- カードアクセスランプが点滅してカードへの記録が始まります。
- ムービー撮影中は、🎥 マークが赤く点灯します。





＊ 表示される撮影可能秒数は、1回のシャッターボタンの全押しで、連続して撮影できる時間です。

3 再度シャッターボタンを全押しして撮影を終了します。



- カードに空き容量があれば、撮影可能秒数の合計が表示され、次の撮影ができます。
- 表示されている撮影可能秒数まで撮影を続けると、シャッターボタンを押さなくても自動的に撮影を終了し、カードへの記録を始めます。

注 意

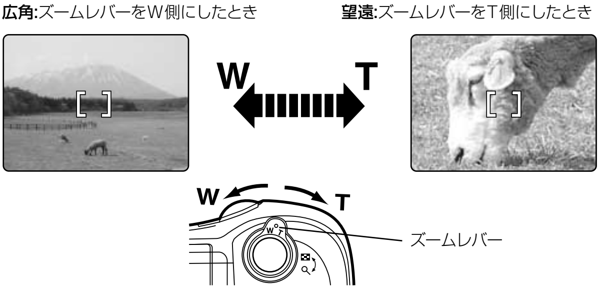
- 🎥モードでは、フラッシュは使用できません。また録音がオンのときは、撮影中に光学ズームの倍率変更はできません。ズームを使うには、デジタルズームをオンに設定します。（P. 78）
- 撮影中、カードの状態によっては、撮影可能秒数が急激に減ることがあります。この場合は、このカメラでフォーマットしてからお使いください。（P. 148）

長時間撮影する場合のご注意

このカメラでは、撮影停止のシャッターを押さないと、カードの空き容量がなくなるまで撮影し続けます。また、長時間のムービー画像は編集できません。特に1度のムービー撮影でカードの空き容量がなくなったときは、その画像を消すか、パソコンにダウンロードしないとカードに空きを作ることができません。

ズーム〜望遠や広角撮影をする

ズーム倍率10倍（光学ズーム、35mmカメラ換算：38mm〜380mm）まで、望遠や広角撮影が行えます。デジタルズームと組み合わせて使用すると最大約30倍相当の撮影が可能です。



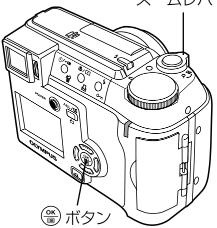
デジタルズーム

モードダイヤル設定 

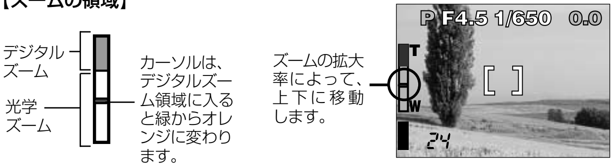
A/S/M P

1 **トップメニューから「モードメニュー」→「撮影」→「デジタルズーム」→「オン」を選択し、㊊を押します。再度、㊊を押すとメニューが消えます。**

2 **ズームレバーをT側にまわします。**
- ズームバーが表示されます。



【ズームの領域】



初期設定：オフ

注 意

- デジタルズームの領域で撮影すると、画質が粗くなる場合があります。
- 高倍率になるほど手ぶれが起こりやすくなります。手ぶれ防止のため、三脚を使うなどして、カメラを固定してください。

フラッシュ撮影

撮影状況・目的に合わせてフラッシュモードをお選びください。被写体に合わせてフラッシュの発光量を補正することもできます（P. 85）。

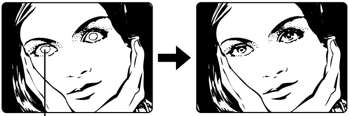
フラッシュモードには、次の種類があります。

オート発光

暗いときや逆光のときに、自動的に発光します。

赤目軽減発光 ◉

本発光の前に数回の予備発光を行い、目が赤く写ってしまう現象を起こりにくくします。予備発光をする以外はオート発光と同じです。



目が赤く写ります。

注 意

- 最初の予備発光からシャッターが切れるまで、約1秒かかります。カメラをしっかり構えて手ぶれを防いでください。
- フラッシュを正面から見ていない場合、予備発光を見ていない場合、被写体までの距離が遠い場合や、個人差により、赤目軽減の効果が現れにくくなります。

強制発光 ϟ

フラッシュを必ず発光させます。木かげなどで顔にかかった陰をやわらげるときや、逆光、蛍光灯などの人工照明下での撮影のときなどに使います。



注 意

- 非常に明るい状況下では効果があらわれにくくなることがあります。

発光禁止 ⓧ

暗いところでも発光させたくない時には、フラッシュを収納しておきます。このモードでは暗くてもフラッシュは光りません。美術館などのように、フラッシュを使えない場所や夕景・夜景などを撮影するときに使います。

注 意

●暗いところの撮影ではシャッター速度が長くなりますので、手ぶれを防ぐため三脚のご使用をおすすめします。

スローシンクロ　⚡SLOW1 ⚡SLOW2　◉⚡SLOW1

遅いシャッター速度でフラッシュを発光させます。通常のフラッシュ撮影では、手ぶれを防ぐためシャッター速度が遅くならないように設定されています。このとき夜景などをバックに撮影すると、背景はフラッシュの光が届かないため、暗くつぶれてしまいます。遅いシャッター速度で背景を写し込むことができ、被写体と背景を両方撮影することができます。シャッター速度が遅いので、背景がぶれないように三脚などでカメラを固定してください。

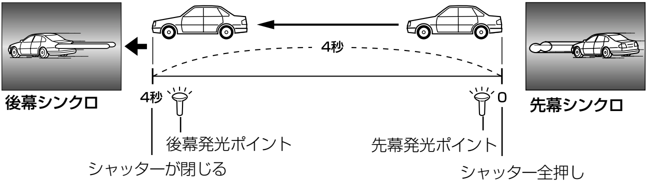




■ **先幕効果（先幕シンクロ）：** ϟ SLOW1
シャッター速度にかかわらず、シャッターが開いた瞬間（直後）にフラッシュを発光させます。一般的にフラッシュ撮影はこの方法で行なわれます。初期設定は「先幕効果」です。

■ **後幕効果（後幕シンクロ）：** ϟ SLOW2
シャッターが閉じる直前にフラッシュを光らせます。フラッシュを発光させるタイミングを変えることで、夜間走行中の車のテールライトが後方に流れる様子を表現するなど、作画に変化をつけることができます。シャッター速度がより遅いほうが効果的です。
もっとも遅いシャッター速度は、撮影モードにより異なります。
Mモード　　　　　：16秒
P、A、S、夜景モード：4秒（設定されているISO感度により変わります）

シャッター速度が4秒に設定されたとき

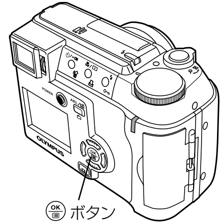


■ **赤目先幕：** 👁 ϟ SLOW1
スローシンクロを使ってフラッシュ撮影をしながら、赤目軽減発光も使いたいときに「赤目先幕」を選択します。
例えば、夜景などの暗い被写体を背景にして人物を写すと、赤目現象が出やすくなります。この機能では、後幕シンクロでは予備発光から撮影までが長くなり赤目軽減効果が得られにくいため、先幕シンクロのみの設定となります。

スローシンクロを設定する

モードダイヤル設定 A/S/M P

トップメニューから「モードメニュー」→「撮影」→「スローシンクロ」→モード（先幕効果、赤目先幕効果または後幕効果）を選択し、OK を押します。再度、OK を押すとメニューが消えます。



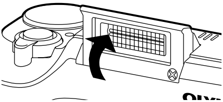
初期設定：⚡SLOW1

フラッシュを使う

モードダイヤル設定 A/S/M P

1 ⚡（フラッシュ）スイッチを押します。

- フラッシュが起き上がります。

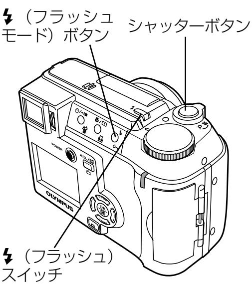


2 使いたいフラッシュモードの表示が出るまで、繰り返し⚡（フラッシュモード）ボタンを押します。

- フラッシュモードの表示は、次のように切り替わります。（全モード設定可能の場合）

モード選択表示

オート発光 → 赤目軽減発光 → ⚡強制発光 → スローシンクロ → オート発光

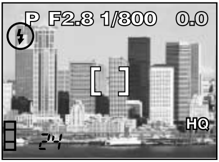




- 何も操作をしない状態が約2秒経過すると、選択表示は自動的に消えます。
- 発光禁止 ⊛ にするには、フラッシュの上部を指で押し下げて、フラッシュを収納します。

3 シャッターボタンを半押しします。

- フラッシュが発光する前には、⚡が点灯します（フラッシュ発光予告）。



4 シャッターボタンを全押しします。

- フラッシュが発光します。

フラッシュの到達距離

広角（W側）：約0.1m〜5.5m
望遠（T側）：約1.0m〜4.4m

モードによる機能制限

モード / フラッシュモード	AUTO		My*	A/S/M			P
				A	S	M	
オート発光	○	○	○	○	—		○
赤目軽減発光	○	○	○	○	—		○
⚡ 強制発光	—	○	○	○	—		○
先幕効果	—	○	○	○	○		○
後幕効果	—	○	○	○	○		○
赤目・先幕効果	—	○	○	○	—		○
発光禁止	○	○	○	○			○

○：設定可、—：設定不可、▭：初期設定

＊ 初期設定と設定できるモードは、選択した撮影モードによって変わります。

ヒント

- **フラッシュを起こしても、発光しない。**

  → 次の場合は発光しません。
  被写体が明るいとき、ムービー撮影モード、スーパーマクロ撮影（P. 94）、連写＊、高速連写、AF連写＊、オートブラケット撮影（P. 99）、ファンクション撮影の白板、黒板モード（P. 109）、パノラマ撮影（P. 105）
  ＊赤目軽減発光と赤目先幕効果発光は使えません。

- **ϟ マークが点滅した（フラッシュ充電中）。**

  → フラッシュは充電中です。いったん、シャッターボタンから指をはなし、点滅が終わってから撮影します。

- **フラッシュ自動発光時のシャッター速度について（オート発光・赤目軽減発光・強制発光）**

  ϟ が点灯する（手ぶれ警告）とフラッシュは自動発光しますが、シャッター速度はその時点の秒時（最も遅い秒時）に固定され、それより遅くはなりません。また、固定される秒時はズームの位置によって変わります。

ズーム位置	シャッター速度
W端	1/30秒
T端	1/320秒

注 意

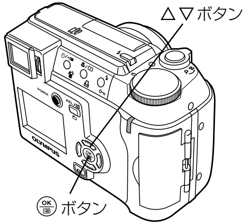
- マクロ撮影時、特にズームがW（広角）側にあるときは、画面内で光の量がムラになることがあります。撮影後、必ず再生して確認してください。
- コンバージョンレンズ使用の際には、画面にけられが出ることがあります。（P. 223）

フラッシュ補正

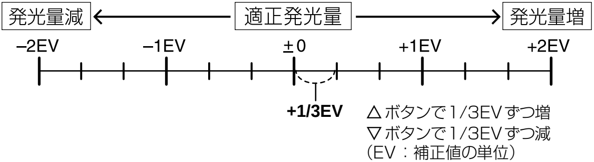
フラッシュの発光量を増減することができます。
撮影する被写体が小さい、被写体の背景が遠いなど、場合によってはフラッシュの発光量を調節した方がよいときがあります。また、明暗差（コントラスト）を意図的につけたいといった場合にも、この機能が便利です。



トップメニューから「モードメニュー」→「撮影」→「フラッシュ補正」を選択し、発光量を多くするには、△を押し、減らすには、▽を押します。設定が決まったら、㊋を押します。



フラッシュ補正の範囲



初期設定： ±0

注 意

- シャッター速度が速い場合は、フラッシュ発光量補正の効果が十分に得られないことがあります。

測光モード～被写体の明るさを測る

被写体の明るさを測る方法には、デジタルESP測光・スポット測光・マルチ測光の3種類があります。

デジタルESP測光：画面の中央部と周辺部を別々に測光し、演算して最適な露出を求めます。

スポット測光：ビューファインダの中央部のみを測光します。中央部の被写体に適正な露出にします。

マルチ測光：P. 87を参照。

スポット測光～測光の範囲を選択する

AFターゲットマークの範囲を測光し、露出を決定します。逆光などで被写体が暗くなるときに、背景の光などに影響されることなく、被写体を適正露出で撮影できます。マクロ撮影の範囲内でも、スポット測光はできます（スポット測光＋マクロモード）。

モードダイヤル設定



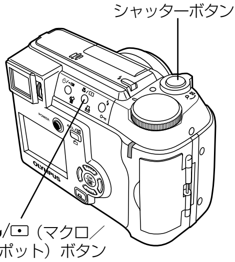
1 スポットまたはスポット・マクロが表示されるまで、 / を繰り返し押します。

- 液晶モニタが点灯します。
- 表示は次のように切り替わります。（全モード設定可能の場合）

モード選択表示

スポット・マクロオフ（デジタルESP） → **スポット** → **マクロ**（P. 93）→ **スポット・マクロ** → **スポット・マクロオフ（デジタルESP）**

- 何も操作をしないで約2秒経過すると、モード選択表示は自動的に消えます。





2 シャッターボタンを押して撮影します。

初期設定：デジタルESP

注 意

●強い逆光などで撮影すると、画像の影の部分に色がつく場合があります。

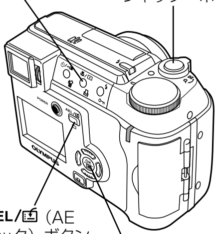
マルチ測光～画面の複数の位置の露出を測る

明暗の大きい被写体などで適正露出が出にくい場合、被写体の数箇所（最大8箇所まで）を測光し、その平均値で撮影条件を決めます。

モードダイヤル設定 A/S/M P

1 **A/S/Mモードでお使いの場合、Mモードではマルチ測光はできません。M以外の撮影モードにします。(P. 54)**

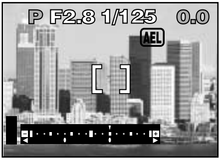
- AEL/ にAEロック以外の機能を登録しているときは、AEロックを登録し直してください。(P. 154)



2 ** / を押して、スポット測光モードにします。(P. 86)**

3 **トップメニューから「モードメニュー」→「撮影」→「マルチ測光」→「オン」を選択し、 を押します。再度、 を押すとメニューが消えます。**

4 露出を測りたいところにAFターゲットマークを向け、AEL/📝 を押します。最大8箇所まで測光することができます。

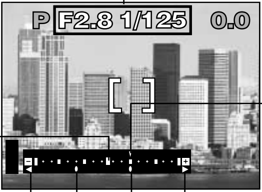


- 液晶モニタにマルチ測光を示すバーが表示されます。
- 9箇所以降の操作は、無視されます。
- マルチ測光値を取り消すには、AEL/📝 を1秒以上押して、MEMO と表示させます。再度、AEL/📝 を押して、すぐにはなします。

5 シャッターボタンを押して撮影します。

例： 2つのポイントを測光した場合（AEL/📝 を2回押した場合）

2回の測光の平均値から算出されたシャッター速度／絞り値。さらにポイントを測光して、平均値を出すたびに、ここの数値は更新されます。



2回の測光の平均値。バーの中央は、常に測光したポイントの平均値を示します。

レンズを向けている被写体を測光して、平均値との差を表示します。シャッターボタンを半押しすると、測光値は固定され、このマークは止まります。（AEL/📝 を押さないと、平均値の計算にはここの値は含まれません。）

AEL/📝 を押したポイントの測光値。◆の数は、押した回数分表示されます。測光値と平均値との差の分だけ、バーの中央から離れた位置に◆が表示されます。

平均値を示すバーの中央から、◆が±3以上離れると、◁ ▷ が赤く表示されます。

モードによる機能制限

AUTO	シーンモード	My*	A/S/M A	A/S/M S	A/S/M M	P
○	○	○	○	○	ー	○

○：設定可、ー：設定不可
＊Mモードのときは、設定できません。

ヒント

● **マルチ測光ができない。**
→デジタルESPでは、できません。（スポット）または/（スポット・マクロ）に設定してください。

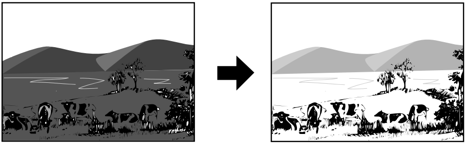
● **マルチ測光値を撮影後も記憶させたい（AEメモリ）**
→手順4で必要回数 AEL/ を押したら、再度、AEL/ を1秒以上押します。MEMO と表示されます。MEMO が表示されている間は、露出は記憶されています。

注 意

●途中で以下のボタンを操作すると、マルチ測光値は取り消されます。
モードダイヤル、（フラッシュモード）ボタン、/ボタン、ボタン

AEロック～露出を固定する

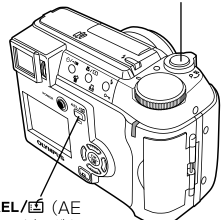
被写体のコントラストが強いときなど、適正露出が得られないときに使います。例えば、空を広く取り込んだ構図で撮影すると被写体が暗く写ってしまうことがあります。空が入っていない構図にして露出を測り AEL/⊡ を押して、測光値を一時的にロックします（露出を固定します）。その後、空を広く入れた構図に戻して撮影します。露出を合わせたい構図と撮影したい構図が、異なるときに使える機能です。





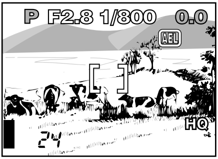
1 **■ A/S/Mモードでお使いの場合、Mモードでは AEロックはできません。M以外の撮影モードにします。(P. 54)**

- マルチ測光(P. 87)はオフにします。オンのときは、AEロックはできません。
- AEL/⊡ にAEロック以外の機能を登録しているときは、AEロックを登録し直してください。(P. 154)



2 **測光値をロックしたい（露出を固定したい）構図にして、AEL/ を押します。**

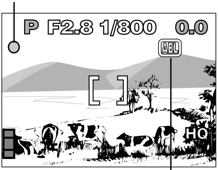
- AEロックをやめるには、再度AEL/ を押して、すぐにはなします。再度違った露出を固定したいときは、再度構図を決めてAEL/ を押します。押すたびに、ロックと解除が繰り返されます。



3 **ピントを合わせたいものにAFターゲットマークを合わせ、シャッターボタンを半押しします。**

- 緑ランプが点灯します。
- シャッターボタンの半押し中は、AEロックを解除できません。

緑ランプ



AEロック中は AEL と表示されます。

4 **シャッターボタンを全押しします。**

- 撮影後AEロックは解除され、AEL の表示は消えます。

モードによる機能制限

AUTO		My*	A/S/M			P
			A	S	M	
○	○	○	○		－	○

○：設定可、－：設定不可
＊Mモードのときは、設定できません。

ヒント

- **ロックした測光値で何枚か撮影を続けたい（AEメモリ）。**
  → 手順2か3のあとで、AEL/ を1秒以上押します。MEMO と表示されます。MEMO が表示されている間は、露出は記憶されています。AEメモリを解除するには、AEL/ を押してすぐにはなします。
- **AEロックができない。**
  → メニューが表示されています。メニューから抜けてください。(P. 45)
  → マルチ測光がオンになっています。オフに設定します。(P. 87)
- **AEロックをしていたのに、解除されてしまった。**
  → モードダイヤルをまわし、カメラのモードを変えた。
  → 電源を一度切ったり、カメラがスリープ状態から復帰したときは解除されます。
  → スポット測光／マクロモード・ドライブモード・フラッシュモードが変更されています。
  → OK を押してメニューを表示させた。

マクロ撮影～近くのものを撮る

マクロ撮影では、ズームをもっとも広角(W)側にして、被写体に10cmの距離まで近づいて、名刺サイズをほぼフレームいっぱいに撮影できます。
通常の撮影モードでは、近接した被写体にピントを合わせるのに時間がかかりますが、🌷（マクロ）モードにすることでピント合わせが早くできます。

被写体をクローズアップするときに、画面中央部（AFターゲットマークの範囲）を測光し、被写体を適正露光で撮影すると、きれいな画像が撮れます（スポット測光+マクロモード）。(P. 86)

通常撮影で撮った画像



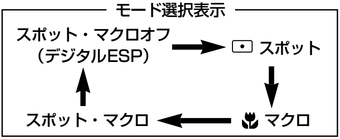
マクロで撮った画像



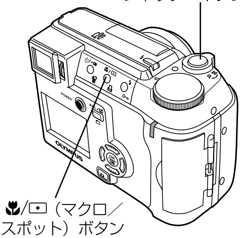
モードダイヤル設定 AUTO [ポートレート] [スポーツ] [風景&人物] [風景] [夜景] [セルフポートレート] [動画] [My]
A/S/M P

1 🌷マクロまたはスポット・マクロが表示されるまで、🌷/⊡を繰り返し押します。

- 表示は次のように切り替わります。（全モード設定可能の場合）



- 何も操作をしないで約2秒経過すると、モード選択表示は自動的に消えます。





2 シャッターボタンを押して撮影します。

マクロ撮影距離
広角（W側）：0.1～0.6m
望遠（T側）：1.2～2.0m
初期設定：デジタルESP

注 意

- マクロ撮影に設定しても、通常の撮影領域で撮影できますが、ピント合わせに時間がかかる場合があります。

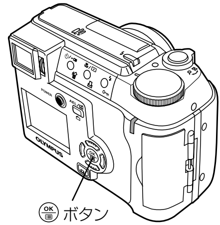
スーパーマクロ撮影～近くのものをより大きく撮る

マクロ撮影より大きく被写体を拡大するときにスーパーマクロをオンにすると、4cmまで近寄って撮影できます。最大44 mm x 33 mmの被写体を画面いっぱいに撮影することができます。

モードダイヤル設定 A/S/M P

トップメニューから「モードメニュー」→「撮影」→「スーパーマクロ」→「オン」を選択し、OKを押します。再度、OKを押すとメニューが消えます。

初期設定：オフ



注 意

- スーパーマクロに設定されていると、ズームは操作できません。
- スーパーマクロに設定しても、通常の撮影ができますが、ピントが合うまでに時間がかかる場合があります。

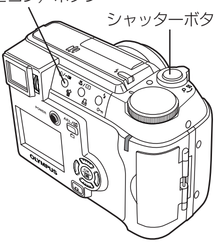
セルフタイマー撮影

セルフタイマーを使って撮影できます。三脚を使って記念写真を撮るときなどに便利です。カメラを三脚などでしっかり固定してください。

モードダイヤル設定 AUTO A/S/M P

1 **セルフタイマー（）が表示されるまで、/を繰り返し押します。**

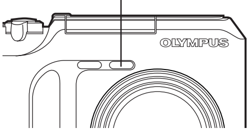
- 何も操作しないで約2秒経過すると、選択表示は自動的に消えます。





2 **シャッターボタンを全押しして、セルフタイマー撮影を開始します。**

- セルフタイマー／リモコンランプが約10秒間点灯し、さらに約2秒間点滅した後シャッターが切れます。
- ムービーの場合、約12秒後に撮影が開始されます。ムービー撮影を終えるには、再度シャッターボタンを押します。
- 作動中のセルフタイマーを止めるには、/を押します。セルフタイマーは停止し、セルフタイマー／リモコンランプが消灯します。



注 意

- セルフタイマーは、撮影が終わると自動的に解除されます。
- セルフタイマーを使ってムービー撮影をした場合、連続撮影可能時間まで撮りきると撮影は自動的に終了します。
- セルフタイマー撮影では、連写に設定されていると自動的に5コマ撮影します。

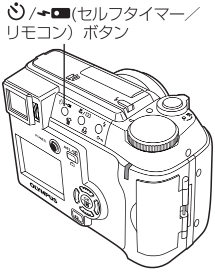
リモコン操作

別売のリモコンを使って撮影ができます。記念写真を撮るときなどに便利です。また、夜景撮影などカメラに触れないでシャッターを切りたい場合に、シャッターボタンがわりに使えます。カメラを三脚などでしっかり固定してください。

モードダイヤル設定



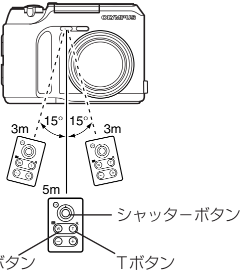
1 リモコン（）が表示されるまで/を繰り返しを押します。



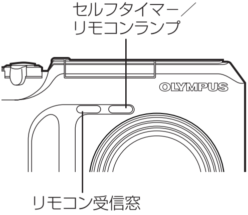
2 リモコンをカメラのリモコン受信窓に向け、リモコンの シャッターボタンを押します。

- カメラのセルフタイマー/リモコンランプが点滅し、約2秒後にシャッターが切れます。

リモコン信号の届く範囲



カメラ前面



初期設定：オフ

ヒント

● **リモコンのシャッターボタンを押してもセルフタイマー/リモコンランプが点滅しない。**
→カメラから離れすぎているためリモコン信号が届いていません。リモコン信号が届くところに移動して、再度リモコンのシャッターボタンを押してください。
→リモコン信号が混信しています。リモコンの取扱説明書に従って、チャンネルを変えてください。

● **リモコンモードを解除したい。**
→リモコンモードは撮影後も自動的には解除されません。手順2（P. 97）に従って、設定を「オフ」にしてください。

● **再生モードでリモコンを使いたい。**
→テレビにつないでプレゼンテーションツールとして活用できます。
→撮影した画像を順番に再生することができます。
→インデックス再生やクローズアップ再生ができます。

注 意

●リモコン受信窓に強い光があたると、リモコン信号の届く距離が短くなったり、操作ができなくなることがあります。
●リモコン撮影で連写をする場合は、リモコンのシャッターボタンを押し続けてください。リモコン信号の受信状態が悪くなると、連写が終了してしまうことがあります。
●リモコンを使っての再生方法については、リモコンの取扱説明書をお読みください。

連写機能

連続撮影（連写）には、連写、高速連写、AF連写、オートブラケットの4種類があります。連写は、メニューのドライブモードを切り換えることで設定できます。

ドライブモード

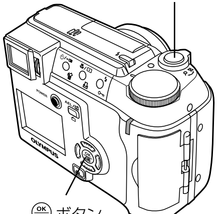
単写	：	一度のシャッターボタンの押しで、1コマだけ撮影されます。（通常の撮影モード、1コマ撮影）
連写	：	約1.2コマ／秒で最大11コマの連写ができます。ピント・明るさ（露出）・ホワイトバランスは固定されます。
高速連写	：	約2.4コマ／秒で最大3コマの高速連写ができます。ピント、明るさ、ホワイトバランスは最初の1コマで固定されます。
AF連写	：	1コマごとにピントが測定され、固定されます。連写速度は遅くなります。
BKT	：	オートブラケット撮影（P. 100）

連写・高速連写・AF連写をする

モードダイヤル設定 AUTO A/S/M P

1 **トップメニューから「モードメニュー」→「撮影」→「ドライブ」→「連写」、「高速連写」または「AF連写」を選択し、OK を押します。再度、OK を押すとメニューが消えます。**

2 **シャッターボタンを押して撮影します。**
- シャッターボタンを全押ししている間は連写が続きます。指をはなすと連写は止まります。



注 意

- P. 101の「モードによる機能制限」とP. 102の「注意」をお読みください。
- 高速連写モードでは、画像の保存に時間がかかることがあります。カードアクセスランプが点滅中は、画像を保存していますので消えるまでお待ちください。
- メモリゲージがすべて点灯している間は、次の撮影はできません。

オートブラケット撮影 ～1 コマごとに露出を自動的に変えて連写する

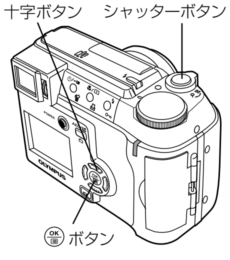
状況によっては、カメラが算出する最適な露出で撮影するより、露出を補正して撮影をするほうが、良い仕上がりになる場合があります。オートブラケット撮影が設定されると、一度のシャッターボタンの全押しで1 コマごとに自動的に露出を変えて撮影できます。変化させる露出差は、メニューで選択します。ピントとホワイトバランスは最初の1 コマで固定されます。

例：BKT設定が±1.0、x3 の場合

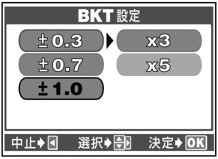




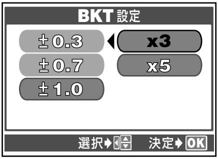
1 トップメニューから「モードメニュー」→「撮影」→「ドライブ」→「BKT」を選択します。▷ を押します。



2 △▽ を押して、コマごとの明るさ（露出）の段階（±0.3、±0.7、±1.0）を選択し、▷ を押します。



3 **△▽を押して、撮影枚数（x3、x5）を選択し、(OK)を押します。**
- 画像サイズと画質の組み合わせにより、x3しか選択できない場合があります。



4 **シャッターボタンを押して撮影します。**
- 設定枚数の撮影が終わるまで、シャッターボタンを全押しし続けます。途中でやめるときは、シャッターボタンをはなします。

モードによる機能制限

モード / ドライブモード	AUTO	シーンモード	My*	A/S/M: A	S	M	P
単写	○	○	○	○			○
高速連写	○	○	○	○			○
連写	○	○	○	○			○
AF連写	○	○	○	○			○
BKT	―	○	○	○		―	○

○：設定可、―：設定不可、▭：初期設定
＊ 設定できるモードは、選択した撮影モードによって変わります。

注 意

- 以下の設定では、連写、高速連写、AF連写、BKTはできません。
  - ー 画質モードがTIFF（P. 110）やSHQのプリント拡大（P. 114）
  - ー ノイズリダクションの設定がオン（P. 124）
- オートブラケット撮影では、カードの空きが設定枚数以上ないと、続けて次の撮影をすることはできません。
- ISO感度設定を200以上に設定して撮影すると、条件によっては画像にノイズが写ることがあります。(P. 115)
- 連写中に、電池を消耗して電池残量マークが点滅したら、撮影を中止してカードに記録を始めます。電池の状態によっては、すべての画像を記録できない場合があります。
- シャッター速度は手ぶれを抑えるため最長1/30秒に設定されています。そのため暗い被写体では露出不足の画像になります。
- 外部フラッシュ使用時は、フラッシュ側を連写速度に追従できる設定にしてください。
- フラッシュ使用時は、フラッシュ充電時間がかかるため、連写、AF連写は遅くなります。
- セルフタイマー／リモコンを使っての連写（連写、AF連写）は、内部フラッシュは使えません。
- 高速連写中は、フラッシュを起こしていても発光しません。

スチル録音

静止画撮影時に、音声を録音することができます。シャッターが切れてから約0.5秒後に音声を記録し始め、約4秒間録音されます。
この設定を「オン」にしておくと、毎回撮影後に録音を自動的に行います。

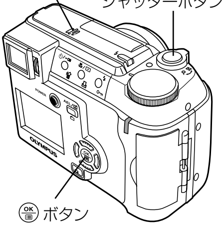
モードダイヤル設定 A/S/M P

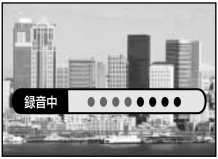
1 **トップメニューから「モードメニュー」→「撮影」→「スチル録音」→「オン」を選択し、㊋を押します。再度、㊋を押すとメニューが消えます。**

2 **シャッターボタンを押して撮影します。**

3 **録音マイクを録音したい音源に向けます。**
- 録音中を示す画面が表示されます。

初期設定：オフ





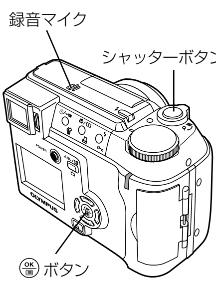
注 意

- 対象がカメラから1m以上離れると、きれいに録音されません。
- 録音中は、次の撮影はできません。
- 以下の場合は、録音はできません。
  - 画質がTIFFに設定されている。ただし、TIFFで記録された画像にはあとでアフレコができます。(P.144)
  - ドライブモードが連写（□、HI□、AF□、BKT）に設定されている。
- 録音中にボタン操作などを行うと、その音が録音されてしまうことがあります。
- 次ページの「ヒント」もお読みください。

ムービー録音

ムービーの撮影と同時に音声を録音することができます。
ムービー録音が「オン」に設定されている時は、撮影中の光学ズームはできません。

モードダイヤル設定 ［ムービー］



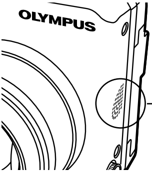
1 トップメニューから「ムービー録音」→「オン」を選択し ㊰ を押します。

2 シャッターボタンを押して撮影します。

初期設定：オフ

ヒント

- **再生時には、音声がスピーカーから出力されます。**
- **静止画再生時に、後から音声を追加（アフレコ）できます（P. 144）。また、撮影時に録音した音声を録音し直すこともできます。**



注 意

- 撮影中、カメラの動作音が録音される場合があります。
- ムービー撮影中は、デジタルズームのみが働きます。ムービー録音をオフにすると、ムービー撮影中は光学とデジタル両方のズームが働きます。(P. 77)

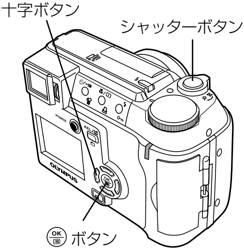
5 撮影の応用

パノラマ撮影

付属の当社標準カードを使うとパノラマ撮影が行えます。
被写体の端が重なるようにして撮影した何枚かの画像を、CAMEDIA Master（付属のCD-ROMに収録）でつなぎ合わせ、一枚のパノラマ合成画像を作成することができます。

モードダイヤル設定 

1 トップメニューから「モードメニュー」→「撮影」→「パノラマ」を選択します。



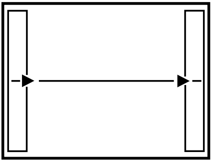
2 ▷ を押します。

- パノラマ撮影モードになります。

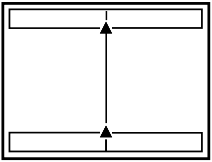
3 十字ボタンを押して、つなげる方向を上下左右より1方向選択します。

- つなげる方向が表示されます。

左から右へ画像をつなぐ撮影をする場合



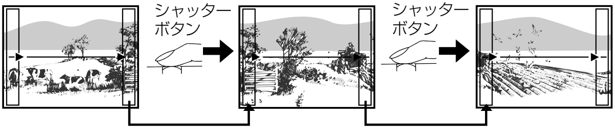
下から上へ画像をつなぐ撮影をする場合



5 撮影の応用

4 被写体の端が重なるようにして、撮影します。

- ピント・露出・ホワイトバランスは1枚目で決定されます。1枚目の撮影には、太陽を入れた被写体などを選ばないでください。
- 1枚目を撮影した後、ズーム操作はできません。
- 最大10枚までのパノラマ撮影が可能です。



端の枠には、前に撮影した画像の合わせるべき部分が残っていません。撮影時には、枠の位置の画像を覚えていて、次のコマの枠の画像と同じになるよう気を付けてください。前に撮影した画像の右端（左回りのときは左端）は、同じ画像が撮影できるように構図を設定して撮影してください。

5 パノラマ撮影を終わるときは、（OK）を押します。

- 画面内の枠が消えて、通常の撮影モードに戻ります。

モードによる機能制限

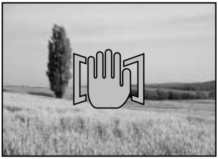
		P
○	○	○

○：設定可、―：設定不可

＊ 設定可能かどうかは、選択した撮影モードによります。

注 意

●パノラマ撮影では、フラッシュは発光しません。
●10枚撮り終えると、警告画面が出ます。
それ以上は撮影できません。



●当社製の標準カード以外のカードでは、パノラマモードは使えません。
●パノラマ合成はカメラ本体ではできません。パノラマ合成画像を作成する場合は、CAMEDIA Masterをご使用ください。
●HQ/SHQモードで多量の画像をつなぎ合わせると、パソコンがメモリ不足になることがあります。
●TIFF（非圧縮）でパノラマ撮影を行うと、同じ画像サイズのJPEG（圧縮）で記録されます。
●パノラマ撮影中にモードダイヤルを操作すると、パノラマモードは解除され通常の撮影モードに戻ります。

合成ツーショット撮影〜2コマの画像を合成する

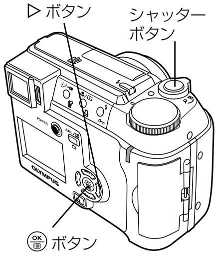
2回続けて撮影した画像を合成して、1枚の画像として保存します。別々の被写体を1枚の画像にして楽しむことができます。





1 **トップメニューから「モードメニュー」→「撮影」→「合成ツーショット」を選択します。**

2 ▷ を押します。
- 合成ツーショット撮影になります。



3 シャッターボタンを押して、1枚目を撮影します。
- 撮影した画像は、合成時には左側に配置されます。



4 続けてシャッターボタンを押して、2枚目を撮影します。
- 撮影した画像は、合成時には右側に配置されます。



ヒント

● **合成ツーショット撮影を解除したい。**

→ 1枚撮影後、合成ツーショットを中止したいときは OK を押してください。1枚目に撮影した画像は記録されません。

注 意

●画質モードがTIFFに設定されているときは、2枚目も同じ画素数の画質モードで撮影されます。

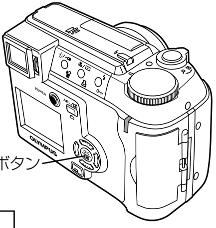
ファンクション撮影～モノクロやセピア色などで撮る

特殊効果をつけて撮影することができます。次の4種類から選択することができます。

モノクロ：白黒に撮影できます。
セピア：セピア色に撮影できます。
白板：白黒写真になり白板に書いた黒字が強調され、読みやすくなります。
黒板：白黒写真になり黒板に書いた白字が白黒反転して強調され、読みやすくなります。

モードダイヤル設定 A/S/M P

トップメニューから「モードメニュー」→「撮影」→「ファンクション撮影」→モードを選択し、㊙を押します。再度、㊙を押すとメニューが消えます。



モードによる機能制限

モード / ファンクション撮影			*	A/S/M			P
				A	S	M	
オフ	○	○	○	○			○
モノクロ	○	○	○	○			○
セピア	○	○	○	○			○
白板	○	―	○	○			○
黒板	○	―	○	○			○

○：設定可、―：設定不可、▭：初期設定
＊設定できるモードは、選択した撮影モードによって変わります。

ヒント

● **「白板」「黒板」を選択しても、文字がきれいに撮影されない。**
→露出補正をします。(P. 117)

注 意

●「白板」「黒板」を選択すると、フラッシュは発光しません。
●ホワイトバランス・WB補正・彩度の設定はできません。

画質モード

撮影する画像の画質を設定します。プリント用、パソコンでの加工用、ホームページ用など、用途に合わせて画質モードをお選びください。設定可能なモードや画像サイズ、またカードへの記録可能枚数については次頁の表をご参照ください。数値は目安です。

画質モード	特徴	画質	ファイルサイズ
TIFF	最高画質モードです。非圧縮データとして保存されるので、プリントやパソコンで画像を加工する際に最適です。また、目的に応じて画像サイズを変更できます。「3:2」は写真店でのプリントに近いサイズにするので、画像の端が切れずにプリントできます。	きれい ↑	大きい ↑
SHQ	JPEG形式の高画質モードです。圧縮率が低いため、高画質を維持することができます。「3:2」は写真店でのプリントに近いサイズにするので、画像の端が切れずにプリントできます。「プリント拡大」は、大きいサイズでプリントする際に有利です。		
HQ	標準レベルで圧縮された高画質モードです。SHQより圧縮率が高く、ファイルサイズが小さくなるので、より多くの画像を記録できます。また、SHQと同様に「3:2」や「プリント拡大」で画像サイズを変更することが可能です。		
SQ1 SQ2	SHQやHQより小さい画像サイズを選べるモードです。各画像サイズで「高画質(JPEGノイズを抑制)」または「標準(より多く撮影)」を選択できます。プリント用、ホームページ用など用途に合わせて、選んでください。	↓ 普通	↓ 小さい

静止画画質モード

カードの記録可能枚数は目安です。

画質モード	画像サイズ		圧縮	ファイル形式	カードの記録可能枚数（枚）（音声なし／音声付き）16MB	32MB
TIFF	2048x1536		非圧縮	TIFF	1/0	3/0
	3:2 2048x1360				1/0	3/0
	1600x1200				2/0	5/0
	1280x960				4/0	8/0
	1024x768				6/0	13/0
	640x480				16/0	33/0
SHQ	2048x1536		低圧縮	JPEG	8/8	17/17
	3:2 2048x1360				8/8	17/17
	プリント拡大3200x2400				2/2	5/5
HQ	2048x1536		標準		20/19	40/39
	3:2 2048x1360				22/21	45/43
	プリント拡大3200x2400				8/8	17/16
SQ1	1600x1200	高画質	＊		11/11	22/22
		標準			32/30	64/60
	1280x960	高画質			17/16	34/33
		標準			49/45	99/90
SQ2	1024x768	高画質			26/25	53/51
		標準			76/66	153/132
	640x480	高画質			66/58	132/117
		標準			165/124	331/248

＊高画質→低圧縮 / 標準→標準

ムービー画質モード

何も記録されていないカードで一度に連続して撮影できる秒数
カードの撮影秒数は目安です。

画質モード	画像サイズ	カードの撮影秒数（音声なし/音声付き）16MB	32MB
HQ	320x240 (15コマ/秒)	48/46	96/93
SQ	160x120 (15コマ/秒)	211/186	424/374

静止画の画質モードを選択する

モードダイヤル設定 AUTO

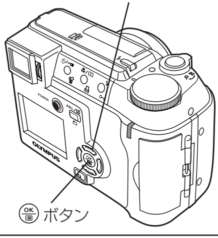
トップメニューから「画質モード」→「SHQ」、「HQ」、「SQ1」または「SQ2」を選択し、Ⓞ を押します。

- 記録サイズの変更はできません。

モードダイヤル設定 A/S/M P

1 トップメニューから「モードメニュー」→「画像」→「画質モード」の順に選択し、▷ を押します。

- 「画質モード」がトップメニューに表示されている場合、「画質モード」のそばに示されている矢印と同じ方向の十字ボタン（△、◁、▽）を押します。モードメニューにアクセスしなくても、画質モードの設定が同様にできます。



2 △▽を押して画質モードを選択して、▷ を押します（P. 111の表参照）。

3 △▽を押して、画像サイズを選択します（P. 111の表参照）。

- SQ1/SQ2を選択している場合、画像サイズを選択後 ▷ を押し、さらに△▽で「高画質」「標準」のいずれかを選択します。

4 Ⓞ を押して選択を確定します。

初期設定: HQ

ムービーの画質モードを選択する

モードダイヤル設定

トップメニューから「画質モード」→「HQ」または「SQ」を選択し、Ⓞ を押します。

初期設定: HQ

ヒント

● **画像サイズ**
画像を記録する際の大きさ（横の画素数×縦の画素数）です。画像をプリントする時は、大きなサイズで記録しておくときれいにプリントされます。ただし、画像サイズが大きくなるほどファイルサイズ（データの量）も大きくなり、カードに保存できる枚数は少なくなります。

● **画像サイズとパソコンモニタ上での画像の大きさ**
撮影した画像をパソコンで見る際に表示される画像の大きさは、パソコンのモニタ設定によって異なります。例えば、640x480の画像サイズで撮影された画像は、パソコンのモニタ設定が640x480のとき画像を等倍で表示すると、モニタ全体に表示されます。モニタ設定がそれ以上(1024x768など)になると、モニタの一部にしか表示されません。

● **圧縮率**
TIFFモード以外の画質モードでは、画像を圧縮して保存します。圧縮率が高いほど画質は粗くなります。

● **ファイル形式（P. 111）**
このカメラでは、TIFF、またはJPEGのどちらかの形式で保存されます。TIFFモード以外はすべてJPEG形式で保存され、圧縮率も異なります。（ムービーはモーションJPEG(mov)形式）

注 意

- 記録可能枚数は画質モード、カードの容量、またはプリント予約の有無によっても変わります。
- 撮影可能枚数は、撮影対象によって容量が異なるため、撮影を行っても減らなかったり、画像を削除しても増えないことがあります。
- ビデオケーブルを接続した状態で、ビデオ出力をPALに設定してムービー撮影をすると、撮影秒数が異なることがあります。（P. 178）

画像サイズ 3:2

通常、画像の縦横比は4:3の比率になっていますが、縦横それぞれの比率を3:2に設定すると、写真店でプリントする際、画像の端が切れずにプリントできます。画像サイズは2048x1360です。TIFF、SHQ、HQモードのみで設定可能です。なお、🎥（ムービー）モードでは 3:2 の設定はありません。



3:2 に設定したとき

プリント拡大

プリント拡大（SHQ、HQモードのみで設定可能）を選択すると、300万画素を800万画素相当(3200x2400) へと拡大することができ、A3用紙など大きなサイズでプリントする際に有効です。画素数を増やすほどきれいにプリントすることができますが、ファイルサイズは大きくなります。なお、🎥 (ムービー) モードではプリント拡大の設定はありません。

注 意

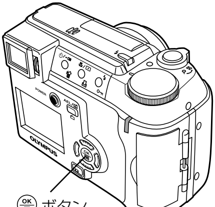
●画質モードがSHQのプリント拡大の設定では、連写、高速連写、AF連写やオートブラケットの撮影はできません。

ISO感度

ISO感度は数値が大きいほど感度が高く、より暗いところ（光量が少ないところ）での撮影が可能になりますが、感度が高くなるにつれて画像にはノイズが増えます。

モードダイヤル設定 〉 [ポートレート] [スポーツ] [風景＋人物] [風景] [夜景] [セルフポートレート] [動画] [My] A/S/M P

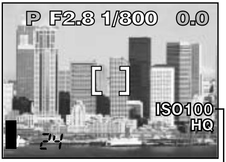
トップメニューから「モードメニュー」→「撮影」→「ISO感度」の順に選択し、「100」「200」「400」の中から撮影状況に合わせて選択し、Ⓞを押します。再度、Ⓞを押すとメニューが消えます。



Ⓞボタン

オート：
被写体の条件に合わせて自動的に感度が変わります。

100/200/400：
通常100は、日中の撮影に最適でシャープな画像を得ることができます。感度が高くなるにつれて同じ光量でもより速いシャッター速度が使えます。



ISO感度
「オート」に設定されているときは表示されません。

モードによる機能制限

モード / ISO感度	[ポートレート][スポーツ][風景＋人物][風景][夜景][セルフポートレート]	[動画]	[My]*	A/S/M (A S M)	P
オート	○	○	○	ー	○
100	○	○	○	○	○
200	○	○	○	○	○
400	○	○	○	○	○

○：設定可、ー：設定不可、▭：初期設定

＊ 初期設定と設定できるモードは、選択した撮影モードによって変わります。

注 意

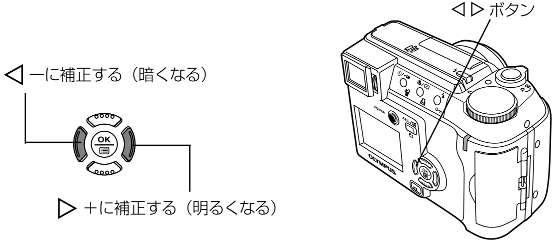
- 感度を高く設定するほど画像にノイズが増えます。
- 感度は銀塩写真のフィルム感度を基準に設定していますが、数値は目安です。
- ISOがオートに設定されているとき、暗いところでフラッシュを使わずに撮影すると、シャッター速度が遅くなり手ぶれする可能性があるため自動的に感度が上がります。
- ISO感度がオートのとき、被写体が遠くフラッシュ光が届かない場合、自動的に感度が上がります。
- P、A、Sモードでは、フラッシュをスローシンクロにしたとき、設定されたISO感度により最長シャッター秒時が変わります。

露出補正

十字ボタンを使って、露出を手動で微調整できます。 撮影する被写体によっては、カメラが自動的に設定した露出を補正したほうがよいときがあります。1/3段刻みで±2.0の範囲で設定できます。設定を変更すると、液晶モニタで確認できます。

モードダイヤル設定







−2.0　　0.0（初期設定）　　＋2.0

モードによる機能制限

<table>
<tr><th rowspan="2"></th><th rowspan="2"></th><th rowspan="2">*</th><th colspan="3">A/S/M</th><th rowspan="2">P</th></tr>
<tr><th>A</th><th>S</th><th>M</th></tr>
<tr><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td colspan="2">○</td><td>－</td><td>○</td></tr>
</table>

○：設定可、－：設定不可

＊ 初期設定と設定できるモードは、選択した撮影モードによって変わります。

ヒント

● 通常、白い被写体（雪など）を撮影すると実際より暗く写ってしまいますが、＋に補正することにより見たままの白を表現することができます。また、黒い被写体を撮影するときは、逆に－に補正すると効果的です。

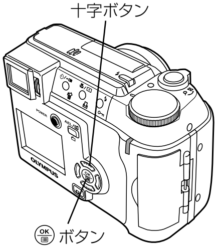
6

画像・画質・露出の調整

ホワイトバランス

被写体は光源によって色が変わります。たとえば、白い紙に晴天時の太陽があたっているとき、夕日があたっているとき、電球のひかりがあたっているときでは、それぞれの白が違います。ホワイトバランスを調整することにより、このような光源による微妙な色の違いを見たままの色に表現することができます。

モードダイヤル設定 A/S/M P



トップメニューから「モードメニュー」→「画像」→「ホワイトバランス」を選択し、「オート」、「プリセット」、「ワンタッチ」の中から撮影状況に合わせて設定します。

オートを選択：
OK を押します。再度、OK を押すとメニューが消えます。

プリセットを選択：
▷ を押します。プリセットホワイトバランス(下記参照)へ進みます。

ワンタッチを選択：
▷ を押します。ワンタッチホワイトバランス(P. 119)へ進みます。

オートホワイトバランス

光源によらず、全体の色のバランスを自動的に調整します。

プリセットホワイトバランス

撮影する光源に応じて、プリセットホワイトバランスを選択します。△▽を押して、次の中からいずれかを選択し、OKを押します。再度、OK を押すとメニューが消えます。

プリセットホワイトバランス画面



晴天　：晴天時の撮影
曇天　：曇天時の撮影
電球　：電球の光りのもとでの撮影
蛍光灯　：蛍光灯の光りのもとでの撮影
(蛍光灯の種類によって次の3種類から選択できます。1：昼光色（6700K）、2：昼白色（5000K）、3：白色（4200K））

- また、実際の光源とは異なるプリセットホワイトバランスを選択し、その設定を液晶モニタで確認すると、様々な色調を楽しめます。

ワンタッチホワイトバランス

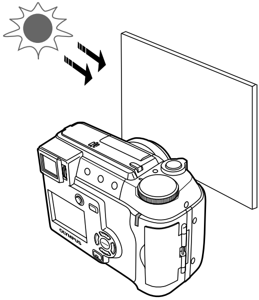
この機能を使うと、プリセットホワイトバランスでは調整しきれない微妙な色合いを設定することができます。撮影する光源で照らされた白いものに、カメラを向けて設定することで、実際の撮影状況に適切なホワイトバランスをカメラに記憶させることができます。

1 前ページの手順に従い、「ワンタッチ」を選択します。
- 「ワンタッチホワイトバランス」画面が表示されます。

ワンタッチホワイトバランス画面



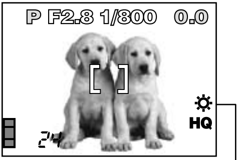
2 カメラを白い紙に向けます。
- 紙は画面一杯になるように置き、影の部分ができないようにしてください。



3 OK を押します。新しいホワイトバランスが設定されます。
- ワンタッチホワイトバランスを中止するときは ◁ を押します。

4 メニュー画面が消えるまで、繰り返し OK を押します。

初期設定：オート



ホワイトバランス
「オート」に設定されているときは、表示されません。

注 意

- 通常、ホワイトバランスは「オート」で使用することをおすすめします。
- ワンタッチホワイトバランスでは、紙に反射している光が明るすぎたり暗すぎたりする場合は、適切な設定ができません。
- 特殊な光源下ではホワイトバランスの効果が発揮できない場合があります。
- ホワイトバランスを使って撮影した場合は、必ず撮影画像を再生して色の確認を行なってください。

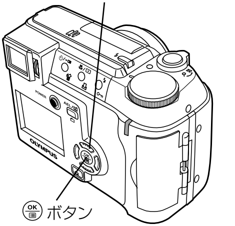
WB補正

ホワイトバランスを微調整することができます。

モードダイヤル設定 A/S/M P

1 **トップメニューから「モードメニュー」→「画像」→「WB補正」を選択します。▷を押します。**

- 画面上にWB補正バーが表示されます。



2 **現在のホワイトバランスの値に対し、△を押す度に青みがかかり、▽を押すたびに赤みがかかった画像になります。調整値を決定するには OK を押します。**

- ホワイトバランスはプラス方向、マイナス方向それぞれ7段階の調節が可能です。

初期設定： ±0

WB補正画面



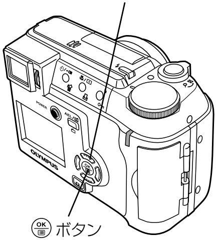
WB補正バー

シャープネス

画像の鮮鋭度を調節します。

モードダイヤル設定 〉 A/S/M P

1 **トップメニューから「モードメニュー」→「画像」→「シャープネス」を選択します。▷ を押します。**



2 **プラス方向に調節：**
△ を押すと、画像の輪郭がよりシャープになり画像が鮮やかになります。プリントなどの鑑賞用に適しています。
マイナス方向に調節：
▽ を押すと、画像の輪郭がソフトになります。パソコンで画像処理するときなどに適しています。

- プラス方向、マイナス方向それぞれ5段階の調節が可能です。
- 設定が終わったら、 を押します。再度、 を押すとメニューが消えます。

初期設定： ±0

注 意

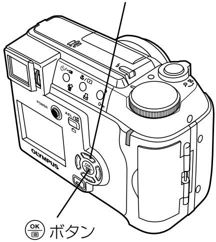
- プラス方向に調整しすぎると、画像にノイズが目立つ場合があります。

コントラスト

画像のコントラスト（明暗の差）を調節します。明暗差の小さい画像にメリハリを出したり、明暗差の大きい画像を柔らかい仕上がりにすることができます。

モードダイヤル設定 ＞ [ポートレート] [スポーツ] [夜景＆人物] [風景] [夜景] [自分撮り] [動画] [My] A/S/M P

1 **トップメニューから「モードメニュー」→「画像」→「コントラスト」を選択します。▷ を押します。**



2 **プラス方向に調節：**

△ を押すと、明暗の差がより大きくなりメリハリのある画質になります。

マイナス方向に調節：

▽ を押すと、明暗の差がより小さくなり、比較的柔らかい感じの画質になります。パソコンで画像処理するときなどに適しています。

- プラス方向、マイナス方向それぞれ5段階の調節が可能です。
- 設定が終わったら、(OK)を押します。再度、(OK)を押すとメニューが消えます。

初期設定： ±0

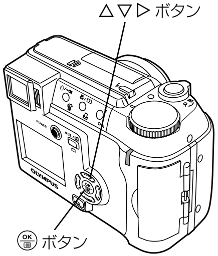
彩度

画像の色の濃さを調節します。

モードダイヤル設定 A/S/M P

1 **トップメニューから「モードメニュー」→「画像」→「彩度」を選択します。▷ を押します。**

2 **プラス方向に調節：**
△ を押すと、色が濃くなります。
マイナス方向に調節：
▽ を押すと、色が薄くなります。
- プラス方向、マイナス方向それぞれ5段階の調節が可能です。
- 設定が終わったら、OKを押します。再度、OKを押すとメニューが消えます。



初期設定： ±0

ノイズリダクション

長時間露光時に画像に発生するノイズを軽減します。夜景の撮影など、遅いシャッター速度で撮影する際、画像にはノイズが目立つようになります。この機能を「オン」に設定すると、カメラが自動的にノイズを軽減でき、きれいな画像を得ることができます。ただし、撮影時間は通常の約2倍になります。
シャッター速度の設定が、1秒より遅いときに動作します。



通常撮影

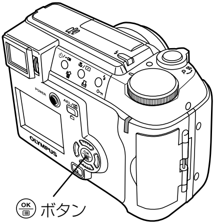


夜景モード撮影

モードダイヤル設定 My A/S/M P

トップメニューから「モードメニュー」→「撮影」→「ノイズリダクション」→「オン」を選択し、OKを押します。再度、OKを押すとメニューが消えます。

初期設定：オフ



注 意

- ●夜景モードに設定している場合、ノイズリダクションは常にオンに固定されています。
- ●ノイズリダクションをオンに設定すると、撮影後にカメラがノイズを取り除く動作をするため、撮影時間が通常の約2倍になります。その間、次の撮影はできません。
- ●ノイズリダクションの設定がオンのときは、連写、高速連写、AF連写やオートブラケット撮影はできません。
- ●撮影条件や被写体により、効果が出にくい場合があります。
- ●シャッター速度が遅いので、三脚の使用をおすすめします。

静止画の再生

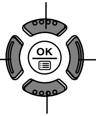
1コマ再生

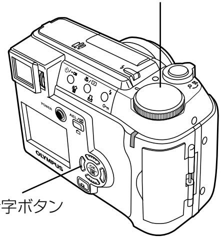
撮影した画像（1コマ）を再生します。

モードダイヤル設定 ▶

1 モードダイヤルを ▶（再生）にします。
- 液晶モニタが点灯し、撮影した画像が液晶モニタに表示されます。

2 他の画像を再生するには、十字ボタンを使います。
- ムービーには 🎥 マークがついています。（P. 128）
- 音声が録音された画像には【♪】マークがついています。





簡単再生

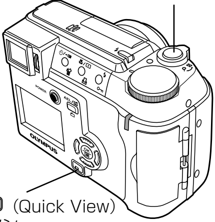
撮影モードのままで再生できます。撮影した画像をすぐに見たいときに便利です。また、簡単再生で表示された画像は、再生モードで表示された画像と同じように扱えます。

モードダイヤル設定 AUTO A/S/M P

1 撮影モードのままで、 を素早く2回続けて押します。

- 液晶モニタが点灯し、撮影した画像が液晶モニタに表示されます。
- 1コマ再生と同様に、十字ボタンを使って他の画像を再生できます。

2 撮影に戻るには、シャッターボタンを半押しします。



自動再生

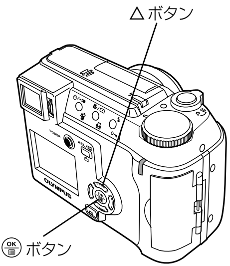
カードに記録されている静止画像を1枚ずつ自動的に再生させることができます。
ムービーコマは、最初のフレームが静止画と同じように再生されます。

モードダイヤル設定 ▶

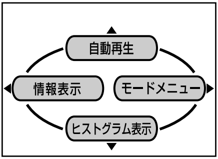
1 **静止画を表示させます。OKを押してトップメニューを表示させます。**

2 **△を押すと、自動再生が始まります。**

3 **OKを押すと、終了します。**



再生トップメニュー（静止画）



注 意

- 長時間に渡って自動再生を行う場合には、ACアダプタ（別売）のご使用をおすすめします。電池をお使いの場合、30分経過すると自動的に自動再生が終了し、スリープモード（待機状態）に入ります。
- 自動再生は、OKを押すまで繰り返されます。

7 再生

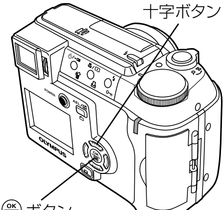
ムービーの再生〜ムービープレイ

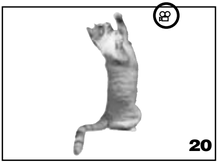
撮影したムービーを再生したり、編集したりすることができます。

モードダイヤル設定 ▶

1 十字ボタンを使って🎥 のついた画像を選択します。

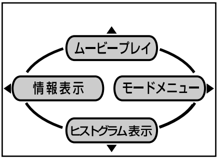
- 音声が録音された画像には【♪】マークがついています。





2 OK を押してトップメニューを表示させます。

再生トップメニュー（ムービー）



3 △ を押します。

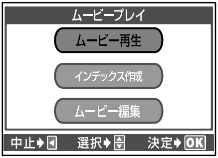
- カードアクセスランプが点滅して、カード内のデータがカメラへ送られます。
- 「ムービープレイ」画面が表示されます。

ムービー再生：ムービーを再生します。P. 129へ。

インデックス作成：ムービーを9分割して一つの画面に表示します。P. 130へ。

ムービー編集：ムービーを編集します。P. 133へ。

ムービープレイ画面



4 目的に合わせて項目を選択し、㊋を押します。
- 「ムービープレイ」画面での各項目の手順は、項目別のページをお読みください。

注 意

- ムービーを再生するためのアクセスにかかる時間は、ムービーの録画時間や画質モードによって異なります。

ムービー再生

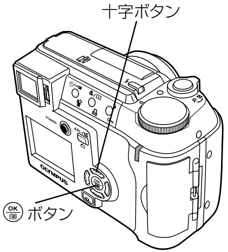
ムービーを再生します。

モードダイヤル設定 ▶

1 128ページの手順1～3を行います。

2 「ムービープレイ」画面から、△▽を押して「ムービー再生」を選択します。

3 ㊋を押すと、再生が始まります。
- 最後まで再生が終わると、ムービーの先頭に戻ります。



4 ㊋を押します。
- 「ムービー再生」画面が表示されます。

5 △▽を押して、項目を選択します。

再生　：ムービーを再生します。
コマ送り：コマ送りをします。
中止　：他のコマ（ムービー）を再生したいとき、ムービー再生をやめるとき。

ムービー再生画面



6 **OK を押して選択した項目を実行します。**

- 「コマ送り」を選択したときは下記の操作を行います。
- 「中止」を選択したときは、「ムービープレイ」画面が表示されます。「ムービープレイ」画面から抜けるには、◁を押します。

■ コマ送りの方法

△ ：ムービーの最初を表示します。
▷ ：押すたびにコマが進みます（コマ送り）。押し続けるあいだ再生します。
OK ：「ムービー再生」画面を表示します。

インデックス作成

撮影したムービーの内容が一目でわかるように、ムービーを9分割して一つの画面に表示（インデックス作成）することができます。長時間撮影されたムービー画像はインデックス作成できません。
インデックス作成された画像は、ムービー撮影時とは異なった画質モードで静止画として保存されますのでご注意ください。（保存時の画質モードについては以下の表を参照）

ムービー撮影時の画質モード	インデックス画像の画質モード
HQ	SQ2 （1024 x 768／高画質）
SQ	SQ2 （640 x 480／高画質）

モードダイヤル設定 ▶

1 128ページの手順1〜3を行います。

2「ムービープレイ」画面から、△▽を押して「インデックス作成」を選択し、OKを押します。

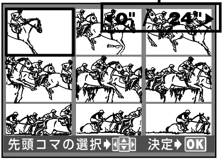
- カード内のデータがカメラへ送られます。
- 「先頭コマの選択」画面が表示されます。
- アクセス中は、カードアクセスランプが点滅します。
- カード残量がない場合、エラーコード(P. 203)が表示され、インデックス作成ができません。

十字ボタン



OK ボタン

撮影経過時間/ムービー全体の時間



先頭コマの選択画面

3 ◁▷を押しながら、選択枠内に先頭コマにしたいショットがくるまで再生し、確定したらOKを押します。

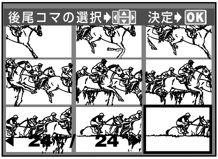
- OKを押して先頭コマを確定すると、選択枠は撮影した動画の最終コマに移動します。

■ 十字ボタンの働き

△ ：ムービーの先頭コマへジャンプします。
▽ ：ムービーの後尾コマへジャンプします。
▷ ：コマが進みます。押し続けているあいだ、再生します。
◁ ：コマが戻ります。押し続けているあいだ、逆再生します。

4 手順3にならって、インデックス画像の後尾コマを選択します。

後尾コマの選択画面



7 再生

5 後尾コマが確定したら ⓞ を押します。

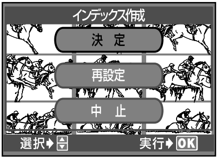
- 「インデックス作成」画面が表示されます。

決定：作成したインデックス画像がカードに記録されて、メニュー画面から抜けます。

再設定：再度インデックス作成を行うときに選択します。画面は、「先頭コマの選択」画面に戻ります。

中止：インデックス作成を中止します。画面は「ムービープレイ」画面に戻ります。

インデックス作成画面



6 △▽を押して項目を選択します。

7 ⓞ を押して選択した項目を実行します。

- 「中止」を選択したときは、「ムービープレイ」画面が表示されます。「ムービープレイ」画面から抜けるには、◁を押します。

注 意

- HQで約32秒、SQで約130秒以上のムービー画像はインデックス作成できません。
- 書き込み禁止（プロテクト）がかかっていたり、カード残量がない場合の警告画面が表示されるカードをお使いのときは、インデックス作成はできません。

ムービー編集

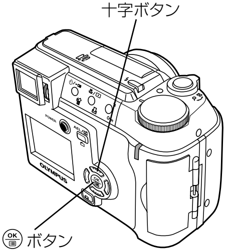
撮影したムービーから不要な部分をカットして、編集することができます。長時間撮影されたムービー画像は編集できません。

モードダイヤル設定 ▶

1 128ページの手順1〜3を行います。

2 「ムービープレイ」画面から、△▽を押して「ムービー編集」を選択し、㊫を押します。

- カード内のデータがカメラへ送られます。
- 「先頭コマの選択」画面が表示されます。
- アクセス中は、カードアクセスランプが点滅します。
- ムービーを編集するのにカード残量が少ない場合、エラーコード(P. 203)が表示されます。



先頭コマの選択画面



3 ◁▷を押しながらムービーを再生し、先頭コマにしたいショットになったら、㊫を押します。

- ㊫を押して先頭コマを確定すると、画面は撮影したムービーの最後に移動します。

■ **十字ボタンの働き**

△ ：ムービーの先頭コマへジャンプします。
▽ ：ムービーの後尾コマへジャンプします。
▷ ：コマが進みます。押し続けているあいだ再生します。
◁ ：コマが戻ります。押し続けているあいだ逆再生します。

4 手順3にならって、後尾コマを選択します。

後尾コマの選択画面



5 後尾コマが確定したら ㊫ を押します。

●「ムービー編集」画面が表示されます。

6 △▽を押して項目を選択します。

ムービー編集画面





決定：「新規作成」または「上書き保存」を選択します。

＊「新規作成」は編集した画像を、別の名前で新しい画像として保存します。

＊「上書き保存」は編集した画像を、元の名前で保存します。元の画像は失われます。

再設定：再度ムービー編集を行うときに選択します。画面は「先頭コマの選択」画面に戻ります。

中止：ムービー編集を中止します。画面は「ムービープレイ」画面に戻ります。

7 Ⓞを押して選択した項目を実行します。
- 「中止」を選択したときは、「ムービープレイ」画面が表示されます。「ムービープレイ」画面から抜けるには、◁を押します。
- 「決定」を選択したときは、△▽を押して「新規作成」か「上書き保存」かを選択し、Ⓞを押します。画像が作成されます。

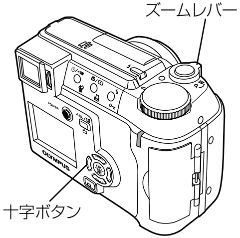
注 意

- HQで約32秒、SQで約130秒以上のムービー画像はムービー編集できません。
- ライトプロテクトシールの貼ってあるスマートメディアや、カード残量がないカードをお使いのとき、ムービー編集はできません。
- カード残量が不足している場合、「新規作成」はできません。
- 他のカメラで撮影した音声付きのムービーは編集できません。

クローズアップ再生

液晶モニタに表示される画像を拡大することができます。ズームレバーをT側に回すごとに、画像が1.5倍、2倍、3倍、3.5倍、4倍に拡大されます。

モードダイヤル設定 ▶

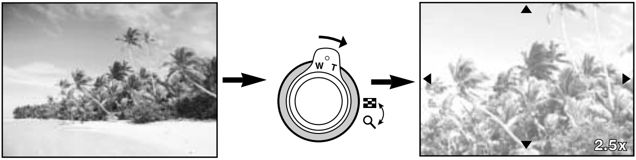


1 十字ボタンで拡大したい画像を選択します。

- 🎥 のついた画像は、拡大できません。

2 ズームレバーをT側（🔍）にまわします。

- 拡大すると、画面に◀／▶／▲／▼が表示されます。表示したい方向の矢印と同じ十字ボタンを押すと、画像をずらして表示することができます。



ヒント

- **元の大きさに戻したい。**
  → ズームレバーをW側にまわします。
- **別の画像を表示したい。**
  → ズームレバーをW側にまわして、現在表示されている画像を1倍に戻してから、十字ボタンを使って拡大したい画像を選びます。

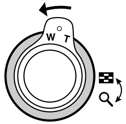
注 意

- クローズアップ再生中に回転再生を行なうと、クローズアップ再生は解除されます。
- 拡大した状態で画像を保存することはできません。

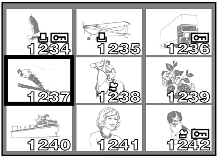
インデックス再生

液晶モニタに複数の画像を一度に表示することができます。カードに記録されている画像の中から、見たい画像を素早く探したいときに便利です。また、表示される枚数を、4、9、16枚（分割）から選ぶこともできます。（次ページ参照）

1コマ再生(P. 125)をしている状態で、ズームレバーをW側（▦）にまわします。

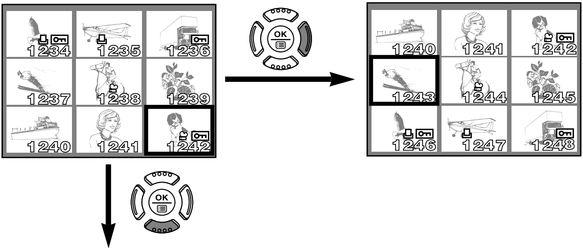


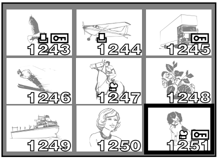
インデックス再生（9分割）



1コマ再生で表示していた画像を含む、複数の画像がインデックス再生されます。

■ インデックス再生中の十字ボタンの働き





◁ ：1つ前のコマへ移動
▷ ：1つ次のコマへ移動
△ ：左上の画像の1つ前のインデックスを表示
▽ ：右下の画像の次のインデックスを表示

ヒント

● **インデックス再生で画像を選んで、1コマ再生をしたい。**
→ 十字ボタンで画像を選択して、ズームレバーをT側にまわします。

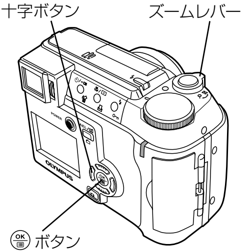
7 再生

インデックス再生の分割数を変更する

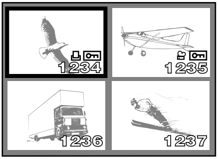
インデックス再生時に表示される分割数を変更できます。

モードダイヤル設定 ▶

1 トップメニューから、「モードメニュー」→「設定」→「インデックス表示」を選択します。



2 「4」、「9」、「16」のいずれかを選択し、(OK) を押します。再度 (OK) を押すとメニューが消えます。



4分割に設定した場合

静止画の編集

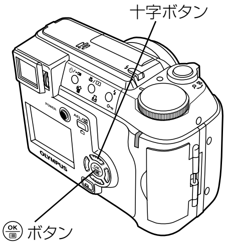
撮影した静止画を編集して、別の画像として保存します。

リサイズ　：撮影した画像のサイズを640x480、または320x240に変更して別の画像として保存します。メールに添付して送る場合など、画像のデータ容量を小さくしたいときにお使いください。

トリミング　：撮影した画像の一部を拡大して、別の画像として保存します。

モードダイヤル設定 ▶

1 **十字ボタンで編集したい静止画を表示します。**



2 **トップメニューから「モードメニュー」→「編集」→項目を選択します。**

- 「リサイズ」を選択。
- 「トリミング」を選択。P. 140へ。

リサイズ

モードダイヤル設定 ▶

1 **「静止画の編集」の手順1～2で「リサイズ」を選択します。**

2 **▷ を押します。**

- 「リサイズ」画面が表示されます。

リサイズ画面



3 **△▽を押して画像サイズを選択します。**

640 x 480/320 x 240：別の画像として保存されるときの画像サイズ。

中止：リサイズを中止します。他の画像を編集したいときは、これを選択します。再生モードに戻ります。

7 再生

4 **㊊を押して実行します。**
- 作成中を示すバーが表示された後、再生モードに戻ります。

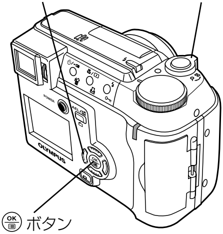
注意

- 次の場合はリサイズはできません。
  - ー ムービーやパソコンで編集した画像。
  - ー ライトプロテクトシールの貼ってあるスマートメディアや、カード残量がないカードを使用しているとき。
  - ー 撮影時の画像サイズが640 x 480の場合、「640 x 480」の設定はできません。
  - ー 3:2で記録されている画像はリサイズ後、上下に黒い領域ができます。

トリミング

モードダイヤル設定 ▶

1 **P. 139の「静止画の編集」の手順1～2で「トリミング」を選択します。**



2 **▷を押します。**
- 「トリミング」画面が表示されます。

3 △▽を押して「新規作成」を選択します。

新規作成：撮影した画像の一部を拡大して、カードに別の画像として保存します。

中止：トリミングを中止します。他の画像を編集したいときは、これを選択します。再生モードへ戻ります。

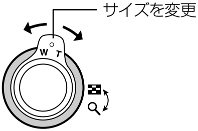
トリミング画面

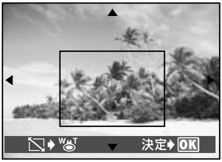


4 (OK)を押します。

- トリミングのサイズを決める画面が表示されます。
- カード残量がない場合、エラーコード(P. 203)が表示されます。

5 十字ボタンとズームレバーを使って、トリミングの位置とサイズをを決めます。





6 (OK)を押して、決定します。

7 △▽を押して項目を選択します。

決定：作成したトリミング画像がカードに記録されて、再生モードに戻ります。

再設定：再度、トリミングをするときに選択します。手順4の画面に戻ります。

中止：トリミングを中止します。再生モードに戻ります。

トリミング画面



8 (OK)を押します。

注 意

- ライトプロテクトシールの貼ってあるスマートメディアや、カード残量がないカードをお使いのときは、トリミングはできません。
- 3:2で記録されている画像は、トリミングすると通常の4:3の画像になります。
- トリミングされた画像は、元の画像より粗くなります。

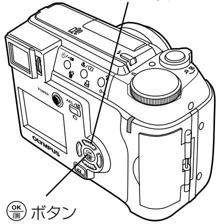
再生音量調整

再生時にスピーカーから出力される音声の音量を調整します。PW ON 設定・PW OFF 設定で選択される音声の音量も調整できます。

モードダイヤル設定 ▶

1 **トップメニューから、「モードメニュー」→「設定」→「再生音量」を選択します。▷を押します。**

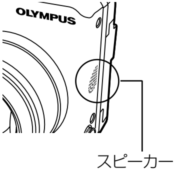
- 音量レベルが表示されます。

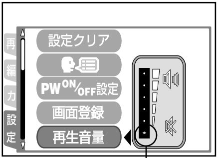


2 **△▽を押して音量を調節します。**

△：　音量が大きくなります。
▽：　音量が小さくなります。

3 **ボタンを押して、決定します。**





ここに設定すると、音声は再生されません。

録音

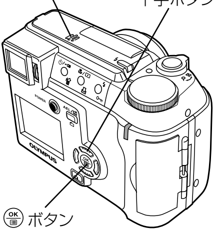
撮影済みの画像に音声メモを追加（アフレコ）することができます。また、録音済みの音声を新しく書き換えることもできます。録音できる時間は1画像につき約4秒間です。

モードダイヤル設定 ▶

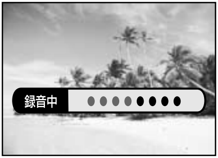
1 **十字ボタンを使って、音声をつけたい静止画像を選択します。**
- 🎥 のついた画像には、録音できません。

2 **トップメニューから「モードメニュー」→「再生」→「録音」を選択します。**

3 **▷ ボタンを押すと「スタート」が表示されます。**



4 **録音マイクを録音したい対象へ向け、OKを押すと録音が開始されます。**
- 録音中を示すバーが表示されます。



注 意

- 録音の対象がカメラから1m 以上離れると、きれいに録音されません。
- 録音済みの画像に再度録音した場合は、前の音声が消えて新しい音声のみ残ります。
- ライトプロテクトシールの貼ってあるスマートメディアや、カード残量がないカードをお使いのときは、録音できません。
- カードの残り容量が少ない場合は、録音できないことがあります。
- 録音中にボタン操作をすると操作音が入ることがあります。
- 一度音声を記録したら、音声のみを消すことはできません。音声を入れずに、無音を再録音してください。

プロテクト

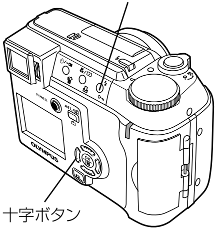
画像を誤って消さないようにするために、その画像にプロテクト（保護）をかけることができます。

モードダイヤル設定 ▶

1 **十字ボタンでプロテクトをかけたい画像を表示します。**

2 **O⊤ を押すと、その画像にプロテクトがかかります。**

- プロテクトを解除するには、再度 O⊤ を押します。



画像にプロテクトがかかると表示されます。



注 意

- プロテクトされた画像は、全コマ消去しても消されることはありませんが、フォーマットするとすべて消去されます。
- ライトプロテクトシールの貼ってあるスマートメディアには、プロテクト操作はできません。

7 再生

画像の消去

撮影した画像を消去することができます。
再生している1コマのみを消去する1コマ消去と、カード内の画像全てを消去する全コマ消去があります。

注 意

- プロテクトがかかっている画像や、スマートメディアにライトプロテクトシールが貼られているときは消去できません。
- 消去した画像は、復旧することはできません。

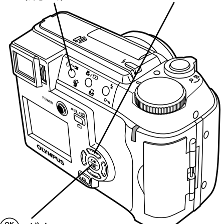
1コマ消去

🗑（消去）を押して、1コマ再生しているコマを消去します。他の画像も消去したいときには、1コマ消去を繰り返します。

モードダイヤル設定 ▶

1 十字ボタンで消去したい画像を選択します。

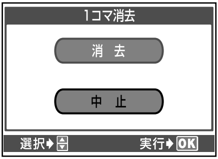
- 消去したい画像にプロテクト（P. 145）がかかっている場合は、まず解除してください。



2 🗑を押します。

- 「1コマ消去」画面が表示されます。

1コマ消去画面



3 △を押して、「消去」を選択します。

- 消去を中止するには、「中止」を選択し、OKを押すか、再度🗑を押します。

4 OKを押して、消去を実行します。

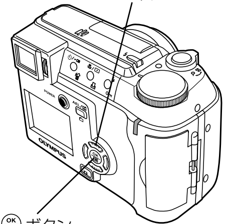
7 再生

全コマ消去

カードに記録されている静止画、ムービーを全て消去します。ただし、プロテクト（P. 145）されている画像は消去されません。

モードダイヤル設定 ▶

1 トップメニューから「モードメニュー」→「カード」→「カードセットアップ」→「全コマ消去」を選択します。



2 OK を押します。
- 「全コマ消去」画面が表示されます。

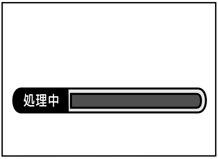
3 △ を押して、「消去」を選択します。
- 全コマ消去を中止するには、「中止」を選択し、OK を押します。

全コマ消去画面



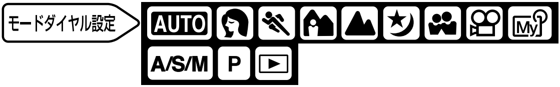
4 OK を押して、全コマ消去を実行します。
- 画面に処理中を示すバーが表示されます。

処理中画面

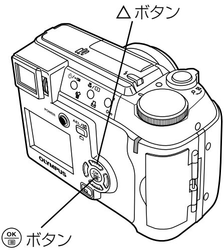


カードのフォーマット

カードをフォーマットします。フォーマットとは、カードを使用機器で書き込みできるように初期化することです。オリンパス標準カードの使用をおすすめしますが、パソコンなど他の機器でフォーマットされたカードや、当社カード以外の市販カードをお使いになる場合は、お使いになる前にあらかじめこのカメラでフォーマットしてください。

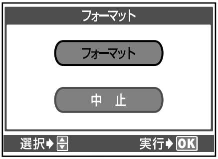


1 トップメニューから「モードメニュー」→「カード」→「カードセットアップ」→「フォーマット」を選択します。



2 Ⓞ を押します。
- 「フォーマット」画面が表示されます。

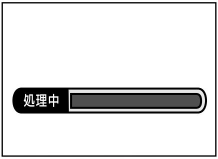
フォーマット画面



3 △ を押して、「フォーマット」を選択します。
- フォーマットを中止するには、「中止」を選択し、Ⓞ を押します。

4 Ⓞ を押して、フォーマットを実行します。
- 画面に処理中を示すバーが表示されます。

処理中画面



注 意

- フォーマットすると、プロテクトをかけた画像を含む既存のデータは消去されます。使用済みカードをフォーマットするときは、大切なデータを消さないようにご注意ください。
- オリンパス製以外のカード、およびパソコンでフォーマットあるいは使用したカードは、書き込み時間が長くなることや、ムービー撮影時間が短くなることがあります。このようなときは、このカメラで再度フォーマットすることをおすすめします。
- スマートメディアにライトプロテクトシールが貼られている場合は、フォーマットできません。

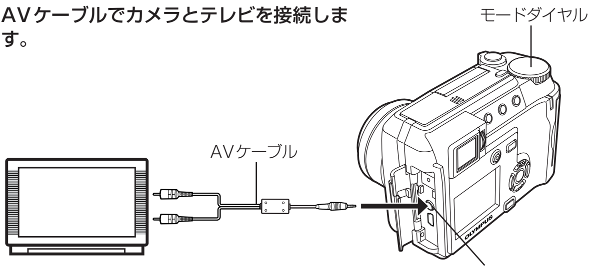
テレビ再生

AVケーブル（付属）を使って撮影した画像と音声をテレビで再生することができます。

モードダイヤル設定 ▶

1 **カメラとテレビの電源が切れていることを確認します。**

2 **AVケーブルでカメラとテレビを接続します。**



テレビの映像入力端子(黄色)と音声入力端子(白)につなぎます。

カメラのA／V出力端子につなぎます。

3 **カメラのモードダイヤルを ▶ にします。カメラとテレビの電源を入れて、テレビ側で映像入力を選択します。**
- 映像入力を選択する際は、お使いのテレビの取扱説明書をご参照ください。

4 **十字ボタンで表示したい画像を選択します。**
- テレビに選択した画像が表示されます。

ヒント

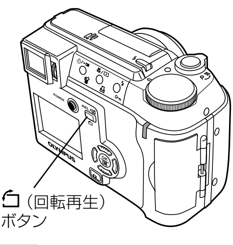
- テレビで再生する場合はACアダプタ（別売）のご使用をおすすめします。
- テレビで再生しているときも、画像を回転させて再生することができます。詳しくは次ページをご参照ください。

注 意

- カメラのビデオ出力信号が、お使いのテレビの映像信号方式に合っているかを確認してください。(P. 178)
- テレビに接続した場合はカメラのモニタ表示が自動的に切れます。
- お使いのテレビによっては画像の表示位置が中央からずれる場合があります。
- テレビには画像全体を表示するため、少し小さめに表示されます。それにより、画像の外側に黒枠が表示されます。テレビからビデオプリンタに画像を出力すると、黒枠がプリントされることがあります。

回転再生

画像を回転して表示することができます。
カメラを縦に構えて撮影した場合の画像は、横向きに表示されます。このような場合は回転再生を使って画像を縦向きにすることができます。時計方向に90度、反時計方向に90度の回転が可能です。

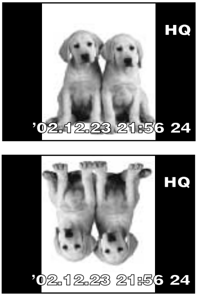


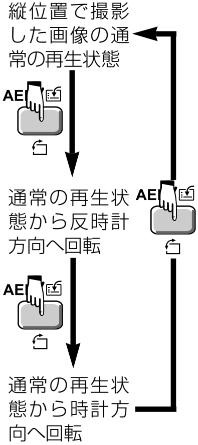
モードダイヤル設定 ▶

1 **1コマ再生(P. 125)をして、縦位置で撮影したときの画像を表示します。**



2 **を押すたびに、画像は右図のように回転します。**





注 意

- 電源を切っても、画像が回転された状態は記憶されます。
- 画像が回転した状態から拡大再生ができます。ただし、クローズアップ再生中は画像は回転しません。
- 次の画像は回転再生はできません：プロテクトのかかった画像・ライトプロテクトシールを貼ったスマートメディアに保存されている画像・ムービー画像。
- 他のカメラで撮影した画像は回転できないことがあります。

7
再生

設定クリア～設定を保持する

電源を切った後も、変更した設定値を保持するかどうか選択します。設定クリアで設定が元に戻る機能と設定については次頁の表を参照してください。

オン：電源を切ると、設定が解除されて初期設定に戻ります。
例：「画質モード」を「SQ1」に変更しても、「設定クリア」が「オン」になっていると、電源を入れなおしたときに初期設定の「HQ」に戻っています。

オフ： 電源を切る直前の設定が保存されます。

設定クリアの「オン」「オフ」の設定は、すべてのモードに共通です。いずれかのモードで設定クリアを「オフ」に設定すると、その設定は再生モードや🎥モードを含め、すべてのモードで働きます。**AUTO** モードでは、設定クリアの「オン」「オフ」の設定はできません。
設定クリアを「オフ」にしていても、動作しているモードで設定できない機能（🎥 モードでのフルタイムAFや撮影情報表示の設定など）は、この「オフ」の設定は適応されません。
設定クリアはメニューの「設定」の項目には適応されません。

モードダイヤル設定 A/S/M P

トップメニューから「モードメニュー」→「設定」→「設定クリア」→「オフ」または「オン」を選択します。OKを押します。再度、OKを押すとメニューが消えます。

初期設定：オン

設定クリアで設定が元に戻る機能とその設定

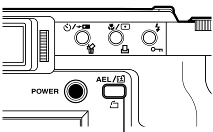
設定項目	初期設定
ズーム位置(P. 77)	38mm
AF/MF(P. 70)	AF
スポット／マクロ(P. 86、 93)	オフ
絞り値(P. 60)	F2.8
シャッタ速度(P. 61)	1/1000
露出補正(P. 117)	±0
フラッシュ(P. 82)	オート
セルフタイマー(P. 95)	オフ
LCD*	オフ
ドライブ(P. 99)	単写
ISO感度(P. 115)	オート/100
A/S/M(P. 54)	A
フラッシュ補正(P. 85)	±0
スローシンクロ(P. 82)	先幕効果
ノイズリダクション(P. 124)	オフ
マルチ測光(P. 87)	オフ

設定項目	初期設定
デジタルズーム(P. 78)	オフ
フルタイムAF(P. 68)	オフ
AF方式(P. 67)	iESP
スチル録音(P. 103)	オフ
スーパーマクロ(P. 94)	オフ
ファンクション撮影(P. 109)	オフ
撮影情報表示(P. 164)	オフ
ヒストグラム表示(P. 168)	オフ
画質モード（静止画）(P. 110)	HQ
ホワイトバランス(P. 118)	オート
WB補正(P. 120)	±0
シャープネス(P. 121)	±0
コントラスト(P. 122)	±0
彩度(P. 123)	±0

* 撮影モードで電源を入れたときの液晶モニタのオン／オフを設定します。

カスタムボタン設定

カスタムボタンにお好みで使用頻度の高いメニュー機能を登録することができます。メニュー画面を呼び出さなくても、直接このボタンを押すだけでメニュー機能の操作が可能となります。お買い上げ時はAEロックに設定されています。



カスタムボタン

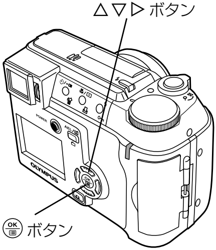
登録できる機能	設定内容
AEロック（初期設定）(P. 90)	—
ドライブ(P. 99)	単写、連写、高速連写、AF連写、BKT
ISO感度(P. 115)	オート、100、200、400
A/S/M/モード(P. 54)	A、S、M
スローシンクロ(P. 82)	先幕効果、赤目先幕、後幕効果
ノイズリダクション(P. 124)	オフ、オン
デジタルズーム(P. 78)	オフ、オン
フルタイムAF(P. 68)	オフ、オン
AF方式(P. 67)	iESP、スポット
スチル録音(P. 103)	オン、オフ
ファンクション撮影(P. 109)	オフ、モノクロ、セピア、白板、黒板
撮影情報表示(P. 164)	オフ、オン
ヒストグラム表示(P. 168)	オフ、オン
画質モード(P. 110)	TIFF、SHQ、HQ、SQ1、SQ2
ホワイトバランス(P. 118)	オート、晴天、曇天、電球、蛍光灯1、蛍光灯2、蛍光灯3
スーパーマクロ(P. 94)	オフ、オン

カスタムボタンに機能を登録する

モードダイヤル設定 〉 A/S/M P

1 **トップメニューから「モードメニュー」→「設定」→「カスタムボタン設定」を選択します。▷ を押します。**
- 「カスタムボタン設定」画面が表示されます。

2 **△▽で設定したい項目を選択し、Ⓞ を押して確定します。**



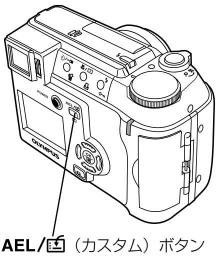
カスタムボタン設定画面



カスタムボタンを使う

モードダイヤル設定 〉 A/S/M P

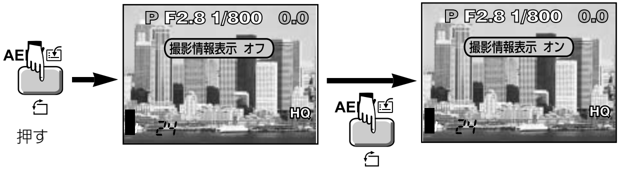
1 **AEL/ を押します。**
- 登録したメニュー機能が表示されます。



8 カメラの便利機能

2 下記にしたがって設定します。

（例）「撮影情報表示」を登録した場合



繰り返し押して「オン」
か「オフ」を選択

ヒント

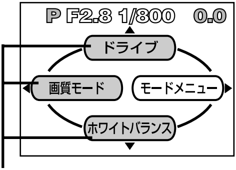
● **カスタムボタンにISOを設定したが、AEロックを使いたい。**
→ カスタムボタンにAEロック以外のメニュー機能が登録されているときは、AEロックは使用できません。AEロックを使うには、前ページの「設定のしかた」にしたがって、カスタムボタンをAEロックに設定してください。

注 意

●A/S/Mと MY のモードで独立にそれぞれ設定することはできません。

ショートカット設定

トップメニュー上の「モードメニュー」以外の項目（ショートカットメニュー）うち、3項目を以下の表の中から任意に選び、登録することができます。使用頻度の高い機能をトップメニューに登録しておけば、途中の操作なしにその機能の設定画面までジャンプできるので便利です。



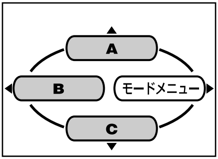
ショートカットメニュー

登録できるメニュー機能	設定内容
ドライブ(P. 99)	単写、連写、高速連写、AF連写、ＢＫＴ
ISO感度(P. 115)	オート、100、200、400
A/S/M/モード(P. 54)	A、S、M
My 1/2/3/4（P. 55）	My1 、My2 、My3 、My4
フラッシュ補正(P. 85)	＋2～±0～ー2
スローシンクロ(P. 82)	先幕効果、赤目先幕効果、後幕効果
ノイズリダクション(P. 124)	オフ、オン
マルチ測光(P. 87)	オフ、オン
デジタルズーム(P. 78)	オフ、オン
フルタイムAF(P. 68)	オフ、オン
AF方式(P. 67)	iESP、スポット
スチル録音（P. 103）	オフ、オン
スーパーマクロ（P. 94）	オフ、オン
パノラマ(P. 105)	ー
合成ツーショット(P. 107)	ー
ファンクション撮影(P. 109)	オフ、モノクロ、セピア、白板、黒板
AFターゲット選択(P. 69)	ー
撮影情報表示(P. 164)	オフ、オン
ヒストグラム表示(P. 168)	オフ、オン
画質モード(P. 110)	TIFF、SHQ、HQ、SQ1、SQ2
ホワイトバランス(P. 118)	オート、プリセット、ワンタッチ
WB補正(P. 120)	BLUE～±0～RED
シャープネス(P. 121)	＋5～±0～ー5
コントラスト(P. 122)	＋5～±0～ー5
彩度(P. 123)	＋5～±0～ー5

ショートカットメニューを登録する

トップメニューの「A」「B」「C」の位置に当てはまる項目をそれぞれ設定します。

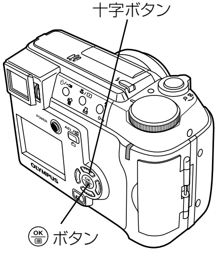
トップメニュー上の項目の配置



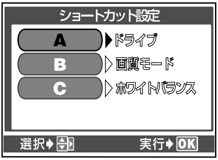


1 トップメニューから「モードメニュー」→「設定」→「ショートカット設定」を選択します。▷ を押します。

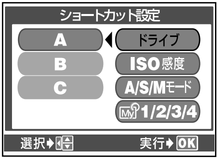
- 「ショートカット設定」画面が表示されます。
- 画面に表示される「A」「B」「C」の位置は、順にトップメニューの上、左、下に当てはまる項目です。



ショートカット設定画面



2 「A」を選択して▷ を押すと、前ページの登録できるメニュー機能項目が表示されます。



3 △▽で設定する機能を選択し、(OK) を押して確定します。

- 「B」「C」も同じ手順で設定します。

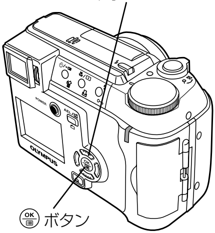
ショートカットメニューを使う

モードダイヤル設定 A/S/M P

1 ㊞ **を押して、トップメニューを表示させます。**
- 登録したショートカットメニューがトップメニュー上に表示されます。

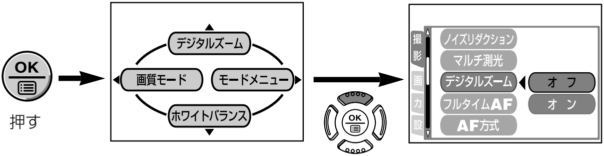
2 **各メニューのそばに表示される▲◀▼に従って、十字ボタンを押します。**
- 設定した機能の設定画面までジャンプします。

十字ボタン



㊞ ボタン

（例）ショートカットメニューAに「デジタルズーム」を登録した場合



押す

△を押すとデジタルズーム設定画面までジャンプします。

初期設定： A ドライブ
B 画像モード
C ホワイトバランス

注 意

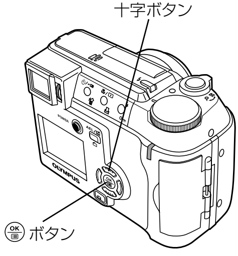
- A/S/Mのモードで独立に設定することはできません。

マイモード設定

「マイモード設定」で、機能を自由に設定して登録しておくことができます。モードダイヤルを My にすると、その設定で動作します。また、PやA/S/Mモードで使用中に、各種の設定をそのまま「マイモード設定」に登録することもできます。マイモード設定は、4つのパターンまで登録できます。なお、この「マイモード設定」が適応される項目については、P. 163の表をご参照ください。

モードダイヤル設定 ＞ A/S/M P

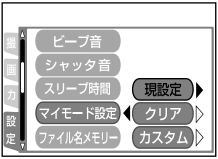
1 **トップメニューから「モードメニュー」→「設定」→「マイモード設定」を選択し▷を押します。**



2 **△▽を押して設定したい機能を選択します。**

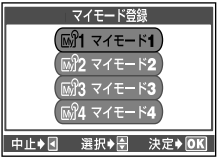
- My1 をクリアするとあらかじめ設定されている初期設定の内容（P.163）も削除されます。

現設定　：今、使用している設定をそのまま登録できます。
クリア　：現在、登録されている設定を初期設定に戻します。
カスタム：ひとつずつ機能を設定します。



3 ▷を押すと「マイモード登録」画面が表示されます。マイモード設定をMy1、My2、My3、My4のどれかに登録するか決めます。△▽を押して選択し、OKを押します。
My1、My2、My3、My4は、My 1/2/3/4画面のMy1、My2、My3、My4を指しています。
手順2で「現設定」を選択：手順4へ。
手順2で「クリア」を選択：手順4へ。
手順2で「カスタム」を選択：手順5へ。

「マイモード登録」画面



My 1/2/3/4画面



4「現設定」と「クリア」をそれぞれの「マイモード登録」画面で設定します。設定を終えたら、OKを押します。手順8へ。
- 設定をやめたい場合は、「中止」を選択します。



「現設定」を選択した場合
「登録」を選択します。



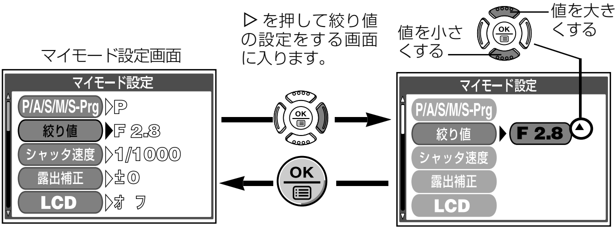


「クリア」を選択した場合
「クリア」を選択します。

5「カスタム」を「マイモード設定」画面で設定します。△▽を押して設定したい機能を選択し、▷を押します。

6 △▽を押して設定を変更し、OKを押して設定を保存します。
- 他の項目を変更するには、手順5、6を繰り返します。

（例）マイモード設定画面で「絞り値」を設定する場合



OKを押すと設定が確定され、前の画面に戻ります。

7 すべての設定が完了したらOKを押し、「マイモード設定」画面から抜けます。このとき設定の登録が完了します。
- 手順2の画面が表示されます。

8 OKを押してメニューを終了します。

注 意

- 「現設定」で設定を登録したときに、ズームの位置はずれる場合があります。ズームの位置は、「マイモード設定」内の「ズーム位置」の5つの設定値のうち、現在使用しているズームの設定値に近い値になります。

「マイモード設定」が適応される項目とその初期設定

初期設定の内容は、あらかじめMY1 に設定されています。

設定項目	初期設定
P/A/S/M/S-Prgモード (P. 56)	P
絞り値(P. 60)	F2.8
シャッタ速度(P. 61)	1/1000
露出補正(P. 117)	±0
LCD*1	オフ
ズーム位置*2(P. 77)	38mm
フラッシュ(P. 82)	オート
スポット／マクロ (P. 86、93)	オフ
セルフタイマー／リモコン (P. 95、97)	オフ
ドライブ(P. 99)	単写
AF/MF(P. 70)	AF
ISO感度(P. 115)	オート
フラッシュ補正(P. 85)	±0
スローシンクロ(P. 82)	先幕効果
ノイズリダクション (P. 124)	オフ
マルチ測光(P. 87)	オフ

設定項目	初期設定
デジタルズーム(P. 78)	オフ
フルタイムAF(P. 68)	オフ
AF方式(P. 67)	iESP
スチル録音（P. 103）	オフ
スーパーマクロ（P. 94）	オフ
パノラマ(P. 105)	オフ
合成ツーショット (P. 107)	オフ
ファンクション撮影 (P. 109)	オフ
撮影情報表示(P. 164)	オフ
ヒストグラム表示 (P. 168)	オフ
画質モード（静止画） (P. 110)	HQ
ホワイトバランス(P. 118)	オート
WB補正(P. 120)	±0
シャープネス(P. 121)	±0
コントラスト(P. 122)	±0
彩度(P. 123)	±0

*1 電源を入れたときの液晶モニタのオン／オフを設定します。
*2 MY モードでのズーム位置の設定は、38mm/50mm/100mm/200mm/380mm の中から選択できます。（表示されるズーム位置は35mmカメラの換算値です）

情報表示

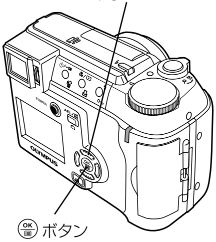
撮影・再生時に表示される情報の量を「オン」「オフ」で切り替えることができます。3秒間表示された後、通常画面に戻ります。実際に表示される内容についてはP. 18、20をご覧ください。

モードダイヤル設定 A/S/M P

、、、、、、、A/S/M、P：
トップメニューから「モードメニュー」→「設定」→「撮影情報表示」→「オン」を選択し、OKを押します。再度、OKを押すとメニューが消えます。

：
OKを押してメニューを表示します。◁を押すと、「情報表示」が「オン」になります。

- 撮影情報が表示されます。
- 再生モードでは、再度OKを押してトップメニューを表示させ◁を押すと、「オフ」に切り替わります。



例：再生モード



オフのとき



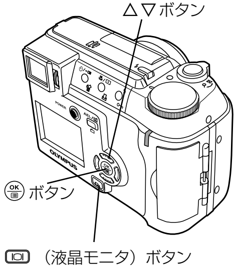
オンのとき

モニタ調整

液晶モニタとビューファインダの明るさを見やすいように調節します。

モードダイヤル設定 ＞ A/S/M P

1 **トップメニューから「モードメニュー」→「設定」→「モニタ調整」を選択し、▷ を押します。**



2 **を押すと、液晶モニタとビューファインダの表示が切り替わります。**

- 液晶モニタを調整するときは、液晶モニタを表示させておきます。
- ビューファインダを調整するときは液晶モニタを消し、ビューファインダのみを表示させておきます。

3 **明るくするには、△ を押し、暗くするには、▽ を押します。設定が決まったら、を押します。**



初期設定：±0

8

カメラの便利機能

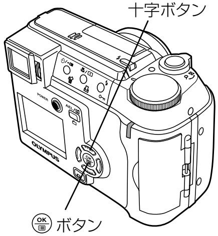
ビープ音

カメラのボタン操作音や警告音などの音色と音量を選択できます。

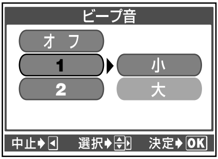
モードダイヤル設定 [ポートレート][スポーツ][風景&人物][風景][夜景][セルフポートレート][動画][My][A/S/M][P][再生]

1 トップメニューから「モードメニュー」→「設定」→「ビープ音」を選択し、▷ を押します。

2 △▽を押して設定を選択します。
「オフ」　：音を消します。→手順4へ。
「1」「2」：音色を選びます。
　　　　　終了→手順4へ
　　　　　音量を調節→手順3へ



3 ▷ を押してから△▽を押して音量を選択します。



4 (OK) を押します。再度、(OK) を押すとメニューが消えます。

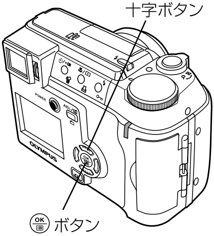
初期設定： 1／大

シャッタ音

撮影時のシャッタ音の音色と音量を選択できます。

モードダイヤル設定

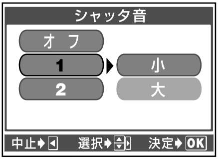




1 **トップメニューから「モードメニュー」→「設定」→「シャッタ音」を選択し、▷ を押します。**

2 **△▽を押して設定を選択します。**
「オフ」　：音を消します。→手順4へ。
「1」「2」：音色を選びます。
終了→手順4へ
音量を調節→手順3へ

3 **▷ を押してから△▽を押して音量を選択します。**



4 **OK を押します。再度、OK を押すとメニューが消えます。**

初期設定：1／大

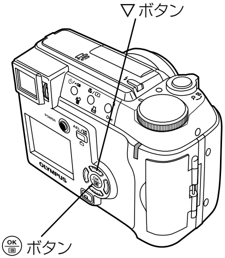
ヒストグラム表示

撮影時に、液晶モニタに写っている画像の輝度成分をグラフ化してヒストグラムを表示します。撮影する構図における明るさの分布が分かるので、より厳密な露出コントロールが可能です。再生時には、撮影した画像のヒストグラムを表示します。液晶モニタでは分かりにくい露出状態も客観的に評価できます。

モードダイヤル設定 A/S/M P

A/S/M、P：

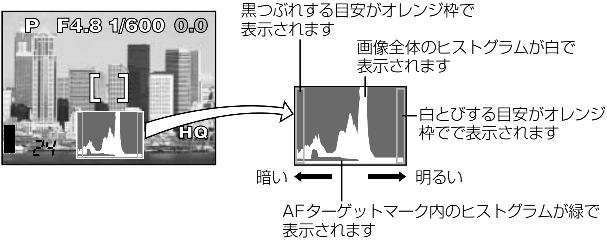
トップメニューから「モードメニュー」→「撮影」→「ヒストグラム表示」→「オン」を選択し、OKを押します。再度、OKを押すとメニューが消えます。



：

OKを押してトップメニューを表示します。▽押すと、「ヒストグラム表示」が「オン」になります。

例： 撮影モードでヒストグラムが表示されるところ（Pモード）



注 意

- 撮影時に表示されたヒストグラムは、再生時に表示されるものとは異なることがあります。
- 他のカメラで撮影した画像は、ヒストグラムが表示できないことがあります。
- Mモード撮影時、マルチ測光撮影時、シャッターボタン操作時は、ヒストグラムは表示されません。

8 カメラの便利機能

レックビュー

撮影した直後に記録中の画像を液晶モニタに表示するかどうかを「オン」、「オフ」で選択することができます。

■ オン

撮影した画像を記録中に表示します。撮影した画像の簡単なチェックに便利です。また画像を表示中でも、シャッターボタンを半押しすればすぐに次の撮影に入れます。

■ オフ

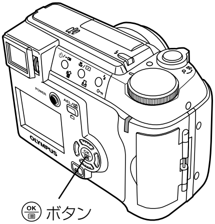
記録中の画像は表示しません。次の撮影のために被写体を追っているときなどに便利です。

モードダイヤル設定



トップメニューから「モードメニュー」→「設定」→「レックビュー」→「オン」か「オフ」かを選び、(OK) を押します。再度、(OK) を押すとメニューが消えます。

初期設定：オン



(OK) ボタン

注 意

- レックビューをオンに設定していても、電池残量が少なくなるとレックビュー表示をしないことがあります。

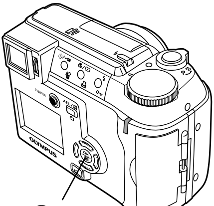
スリープ時間

カメラを何も操作しないで、設定した時間が過ぎるとカメラは待機状態（スリープ）になります。スリープを解除するには、シャッターボタン、十字ボタンなどいずれかのボタンを操作してください。

モードダイヤル設定 A/S/M P

トップメニューから「モードメニュー」→「設定」→「スリープ時間」→「30秒」、「1分」、「3分」、「5分」、「10分」のいずれかを選択し、OK を押します。再度、OK を押すとメニューが消えます。

初期設定：3分



OK ボタン

●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●● 注 意 ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●

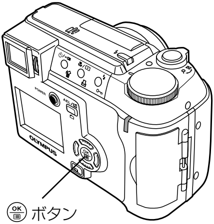
- ●ACアダプタを使用しているときは、スリープはしません。
- ● ▶ モードでは、常に3分でスリープします。
- ●自動再生をしているときは、30分経過するとスリープします。
- ●電池を節約しながらカメラを使うことのできる電池節約モード（P. 171）もあります。電池節約モードをオンにするとスリープ時間の設定にかかわらず、30秒でビューファインダが消灯します。

電池節約モード

撮影モード時、次のことをおこなって電池を節約します。
●スリープ時間の設定に関わらず、30秒でビューファインダが消灯します。
●液晶モニタは使えません。

モードダイヤル設定 A/S/M P

トップメニューから「モードメニュー」→「設定」→「電池節約モード」→「オン」を選択し、OK を押します。再度、OK を押すとメニューが消えます。



OK ボタン

初期設定：オフ

8
カメラの便利機能

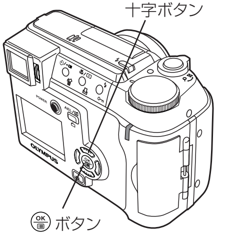
PW ON/OFF設定

電源を入れたときや切ったときに、表示される画面や流れる音声の設定ができます。自分で画像を登録することもできます（P. 174）。自分で登録した画像を設定するには、「画面」で「2」を選択します。音量は、再生音量（P. 143）で選択した設定になります。

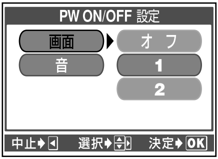
モードダイヤル設定 ＞ A/S/M P

1 **トップメニューから「モードメニュー」→「設定」→「PW ON/OFF 設定」）を選択します。▷ を押します。**

- 「PW ON/OFF 設定」画面が表示されます。



2 **△▽を押して、「画面」か「音」を選択します。▷ を押します。**



3 **△▽を押して、選択します。**

- 「画面」の設定は「オフ」「1」「2」、「音」の設定は「オフ」「オン」から選択します。

4 **を押します。**

- 「PW ON/OFF設定」画面に戻ります。
- 続けてもう一方の設定をする場合は、△▽を押して選択します。
- 設定が終わったら、を押します。再度、を押すとメニューが消えます。

画面

オフ　：画像の表示をしません。
1　：初期設定
2　：自分で登録した画像が選択できます。登録していないときは、何も表示されません。

音

オフ　：起動音／終了音は出力されません。
オン　：初期設定

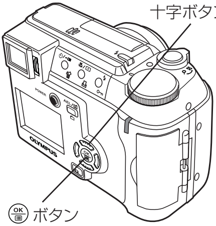
注 意

- AUTO モードでは、他のモードで設定した状態で働きます。
- 電源を切る際、電池残量警告が出ているときは設定した画面が表示されない場合があります。

画面登録

電源を入れたときや切ったときに表示される画面を自分で登録できます。登録した画面を実際に使うには、PW ON/OFF設定（P. 172）をお読みください。

モードダイヤル設定 ▶



1 **登録したい静止画を表示します。**
トップメニューから「モードメニュー」→「設定」→「画面登録」を選択します。▷ を押します。
- 「画面登録」画面が表示されます。
- ムービー画面を表示させていると次に進めません。
- すでに画面が登録されている場合は、その画面を解除して、新たに画面を登録するかどうかのメッセージが表示されます。



2 **◁ ▷ を押して登録したい画像を選択します。㊖ を押します。**
- 画像の登録を実行するかどうかを確認する画面が表示されます。



3 **△ を押して「決定」を選択します。**

4 **㊖ を押して、画面を登録します。**
- モードメニューに戻ります。

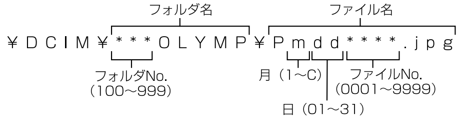
5 **再度 ㊖ を押します。**

注 意

- このカメラで正しく再生できない画像、およびムービーは登録できません。

ファイル名メモリー

記録される画像に、ファイル名とそのファイルが入るフォルダ名がカメラ内部で自動的に生成されます。ファイル名とフォルダ名はそれぞれファイルNo.(0001～9999)、フォルダNo.(100～999)を含み、次のように付けられます。



●ファイル名の「月」の表記は、1月～9月は1～9、10月はA、11月はB、12月はCとなります。

フォルダNo.とファイルNo.の付け方は「リセット」、「オート」の二通りがありますので、パソコンに画像を取り込む際に扱いやすい方をお選びください。

■ リセット

カードを入れ換えたときにフォルダNo.、ファイルNo.が両方ともリセットされます。フォルダNo.はNo.100に、ファイルNo.はNo.0001に戻ります。カード別に画像を管理するときに便利です。

■ オート

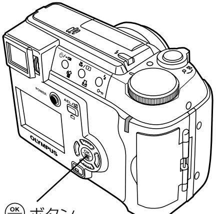
カードを入れ替えても、フォルダNo.ファイルNo.ともに前のカードから継続されます。複数のカードを管理するときでもファイル名が重複することがありません。全ての画像を通し番号で管理するのに便利です。

ファイル名メモリー（つづき）

モードダイヤル設定

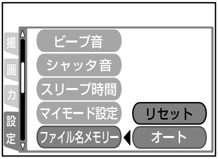


1 トップメニューから「モードメニュー」→「設定」→「ファイル名メモリー」の順に選択します。



ボタン

2 「リセット」、「オート」のいずれかを選択し、 を押します。



初期設定：リセット

ヒント

- **ファイルNo.が9999を超えたとき**
  ファイルNo.は0001に戻りますが、フォルダNo.が変わります。(No.100→No.101など)
- **最大のフォルダNo.(999)、ファイルNo.(9999)に達したとき**
  カードに残量があっても撮影可能枚数が0になり、撮影ができません。ファイル名メモリーをリセットして新しいカードに取り替えてください。

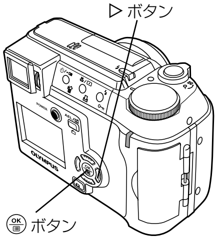
ピクセルマッピング

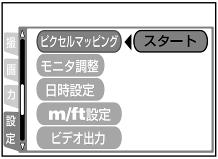
CCDと画像処理機能のチェックと調整を同時に行います。
この機能は、すでに工場出荷時に調整済みのため、お買い上げ後すぐに調整する必要はありません。
調整は、年に一度を目安とし、最適な効果を得るため、撮影・再生直後より1分ほどの時間を空けた後に実行します。



1 トップメニューから「モードメニュー」→「設定」→「ピクセルマッピング」の順に選択し、▷ を押します。

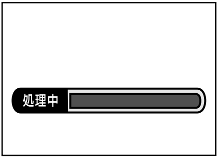
- 「スタート」と表示されます。





2 OK を押します。

- ピクセルマッピング実行中は画面に動作を示すバーが表示されます。
- 終了すると、メニュー画面に戻ります。



注 意

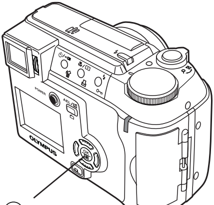
- 誤って処理中にカメラの電源を切ってしまった場合は、必ず再度このチェックを行なってください。

ビデオ出力

お使いのテレビの映像信号に合わせて、NTSCかPALを選択します。海外旅行先のテレビに接続して再生するときは、その地域の方式に設定を合わせてください。「ビデオ出力」はAVケーブルを接続する前に選択してください。間違った映像（ビデオ）信号を選択すると、テレビで画像がうまく再生できない場合があります。

モードダイヤル設定 A/S/M P

トップメニューから「モードメニュー」→「設定」→「ビデオ出力」→「NTSC」か「PAL」を選択し、OK を押します。再度、OK を押すとメニューが消えます。



OK ボタン

初期設定：NTSC

主な地域の映像（ビデオ）信号方式
NTSC：日本、台湾、韓国、アメリカ
PAL：ヨーロッパ諸国、中国
テレビに接続してお使いになる前に、あらかじめご確認ください。

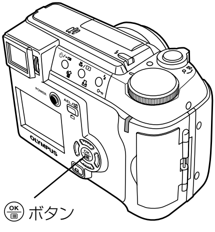
m/ft設定

マニュアルフォーカスモードでは（P. 70）、液晶モニタに表示される長さの単位を、m（メートル単位）とft（フィート単位）から選択できます。
長い距離を示す時は、メートル/フィート表示に、短い距離を示す時はセンチ/インチ表示になります。

モードダイヤル設定 A/S/M P

トップメニューから「モードメニュー」→「設定」→「m/f設定」→「m」か「ft」を選択します。OKを押します。再度、OKを押すとメニューが消えます。

初期設定：m



プリント方法

カードに保存されている画像をプリントするには、以下の方法があります。

■ **プリント予約を設定（P. 182）してDPOF対応のお店でプリント、またはDPOF対応のプリンタでプリント**

カードにプリント予約をします。プリント予約とは、カード内の画像に、プリントする枚数や日付を印刷する指定を記憶させることです。

● **DPOFとは？**

Digital Print Order Formatの略称。デジタルカメラの自動プリントアウト情報を記録する形式です。

プリント予約したカードをお店に持っていくと、その予約内容のとおりにプリントができます。家庭でもDPOF対応のプリンタがあれば、可能になります。

■ **オリンパス製デジタルプリンタCAMEDIA P-400/P-200/P-330Nでプリント**

パソコンを使わずに、専用プリンタにカードを直接差し込んでプリントできます。詳しくはお使いのプリンタの取扱説明書をご覧ください。

xDピクチャーカードを直接プリンタに差し込むことはできません。カードアダプタ（別売）が必要です。

■ **画像をパソコンに転送して、パソコンに接続しているプリンタでプリント**

パソコン上でJPEGの画像を表示するソフトウェア（インターネット閲覧ソフトやペイントソフトなど）があれば、パソコンに接続したプリンタでプリントすることができます。（CAMEDIA Masterを使ってもプリントできます。）

お使いのソフトウェアでプリントできることをあらかじめご確認ください。また、プリント予約の機能は使用できません。

詳しくはお使いのソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

ヒント

撮影時の画質モードとプリントの関係

パソコンやプリンタの解像度には一般的に1インチあたりの点(ピクセル）の数が用いられ、dpi (dot per inch)と呼ばれています。同じ画像をプリントしても、プリント時のdpiの値を大きくすることでより鮮明に印刷することができますが、撮影された画像のピクセル数は変わらないため、実際に印刷されるサイズは小さくなります。その画像を拡大してプリントすることもできますが、画質は粗くなります。

プリントすることを前提として撮影するときや、大きいサイズでプリントしたいときは、撮影時の画質モード（P. 110）をできるだけ高いものに設定することをおすすめします。

重要！

DPOFを使用せずにプリントサービスを利用される方へ

写真店などのプリントサービスをご利用になる場合は、プリントする画像は必ずファイル番号で指定してください。コマ番号で指定すると間違った画像がプリントされる場合があります。
ファイル番号は情報表示をオンにしたときに表示されます。（P. 164）
（例）

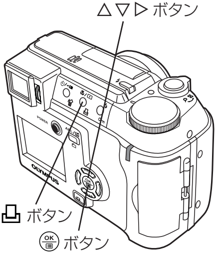
FILE: 100-0016
フォルダの通し番号（100）　画像の通し番号（0016）

注 意

- 他のDPOF機器で設定されたDPOF予約内容を、このカメラで変更することはできません。予約した機器で変更してください。
- 他の機器でDPOF予約されているファイルがある場合、このカメラで新たにDPOF予約を行なうと、以前に予約した内容は消去されます。
- 「この画像は再生できません」と表示される画像でも、プリント予約を設定できることがあります。その場合、1コマ再生だとプリント予約マーク（ 凸 ）は表示されません。複数の画像を表示しているときは（インデックス表示）、マーク（ 凸 ）が表示され、プリント予約を確認できます。
- オリンパス製デジタルプリンタP-300など、カメラに直接プリンタを接続してダイレクトプリントを行うプリンタでは、プリントできません。
- プリンタまたはラボにより、一部機能が制限されることがあります。
- P-330Nで印刷する場合、カード内に記録された999枚目以降の画像は、プリントできません。
- TIFFで記録された画像は、プリントできない場合があります。
- プリント予約には時間がかかることがあります。
- スマートメディアにライトプロテクトシールが貼られているとプリント予約はできません。

全コマ予約～カードの中の全画像をプリント予約する

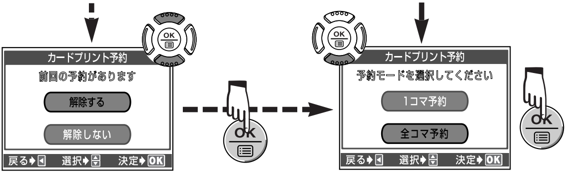
モードダイヤル設定 ▶



1 **静止画を再生します。**

- 🎥 のついた画像は、プリント予約できません。

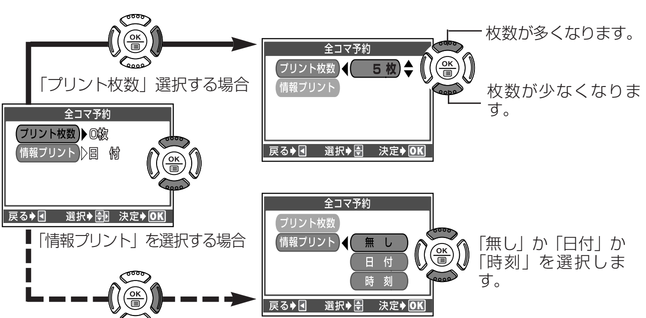
2 **凸 ボタンを押して、「カードプリント予約」画面を表示します 。**



再生しているカードに、すでにプリント予約したコマがある場合は、その予約設定を残すか解除するかの選択画面が表示されます。

「全コマ予約」を選択し, OK を押します。

3 **△▽ を押して「プリント枚数」か「情報プリント」(日付・時刻の設定)を選択します。どちらかを選択したら ▷ を押して設定を行ないます。**



4 **設定を終えたら、OK を押します。**

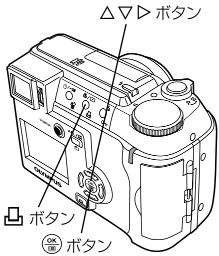
5 **再度、OK を押します。**

- 「カードプリント予約」画面から抜けます。
- 画面にプリント予約マークとプリント枚数が表示されます。



1コマ予約～選択した画像のみをプリント予約する

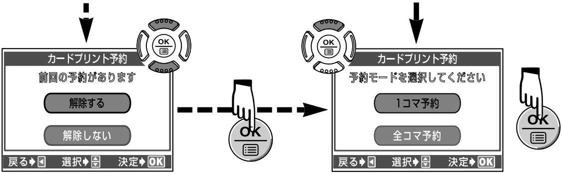
モードダイヤル設定 ▶



1 静止画を再生します。

- 🎞 のついた画像は、プリント予約できません。

2 凸 ボタンを押して、「カードプリント予約」画面を表示します。



再生しているカードに、すでにプリント予約したコマがある場合は、その予約設定を残すか解除するかの選択画面が表示されます。

「1 コマ予約」を選択します。

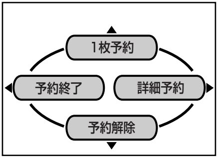
3 プリント予約したいコマを選択します。OK を押します。

- メニューが表示されます。



画像を選択しているとき

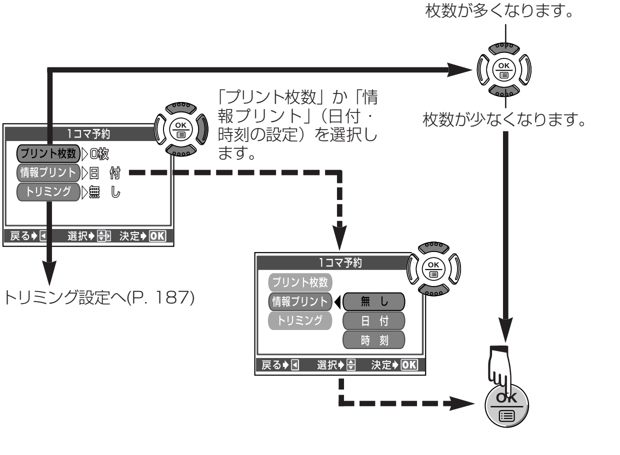
4 **プリント予約したい内容に応じて、十字ボタンで項目を選択します。**



詳細予約：プリント枚数の設定・日付けと時刻入り印刷の設定・トリミング設定→**手順5へ。**
1枚予約：プリント枚数が1枚のみ・日付け入り印刷の設定。トリミング設定なし。→**手順6へ。**
予約解除：プリント予約の解除→**手順6へ。**
予約終了：プリント予約の終了→**手順7へ。**

5 **「1コマ予約」画面で、「プリント枚数」・「情報プリント」（日付けと時刻の設定）・「トリミング」を設定します。それぞれの設定を終えたら、OKを押します。**

● 画像の選択画面に戻ります。



6 **Ⓞを押して、手順4のメニューを再度表示させます。◁を押して「予約終了」を選択します。**
- 1コマ予約または全コマ予約を選択する「カードプリント予約」画面が表示されます。
- 続けて他の画像をプリント予約するときは、手順3～6を繰り返します。

7 **「カードプリント予約」画面が消えるまで、繰り返し◁を押します。**
- トップメニューが表示されます。

8 **Ⓞを押して、トップメニューから抜けます。**
- プリント予約マーク・プリント枚数・日時が表示されていることを確認ください。プリント枚数の設定が1枚のときは、枚数は表示されず凸マークのみです。

トリミング設定

撮影した画像の一部を拡大して、プリントします。

モードダイヤル設定 ▶

1 **「1コマ予約〜選択した画像のみをプリントする」の手順1〜5をします。手順5では「トリミング」を選択します。(P. 184)**

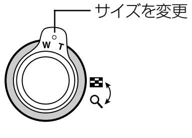
（手順2へ）

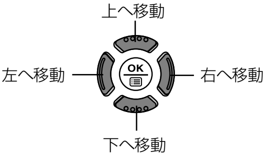
すでにトリミングが設定されている場合は、「トリミング」画面が表示されます。
「再設定」を選択し、OK を押します。

- 「決定」、「中止」を選択して OKを押すと「1コマ予約」画面に戻ります。(P.185の手順5の画面)
  設定されているトリミングを保存→**決定**
  再度トリミングをしなおす→**再設定（手順2へ）**
  トリミングを中止する→**中止**



2 **十字ボタンとズームレバーを使って、トリミングの位置とサイズを決めます。**





9
プリント設定

トリミング設定（つづき）

3 OK を押して、決定します。

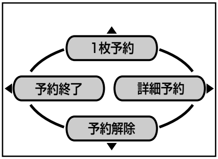


4 「トリミング」画面（手順1の画面）で、「決定」を選択します。
- 「1コマ予約」画面に戻ります。



5 設定を終えるため、OK を2回押します。

6 ◁ を押して「予約終了」を選択します。
- 1コマ予約または全コマ予約を選択する「カードプリント予約」画面が表示されます。



7 「カードプリント予約」画面が消えるまで、繰り返し ◁ を押します。

注 意

- ●プリントされる画像の大きさは、プリンタの設定によります。トリミングの大きさが小さいと、プリントするときの拡大率が大きくなるため、プリント画像は粗くなります。
- ●詳細なクローズアッププリントを行なうためには、TIFF、SHQまたはHQモードでの撮影をおすすめします。
- ●3:2で記録されている画像も、トリミングすると通常の4:3の画像になります。

プリント予約を解除する

カード内のすべての画像のプリント予約を解除します。

モードダイヤル設定 ▶

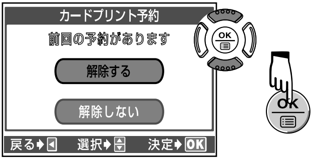
1 **静止画を再生します。**

2 **凸 ボタンを押して、「カードプリント予約」画面を表示します。**

● 再生しているカードに、すでにプリント予約したコマがない場合は、「解除する」、「解除しない」の画面は、表示されません。

3 **「解除する」を選択します。**

● 解除しないときは、▽を押して「解除しない」を選択します。



4 **◁を押して、トップメニューに戻ります。OK を押して、トップメニューから抜けます。**

外部フラッシュ

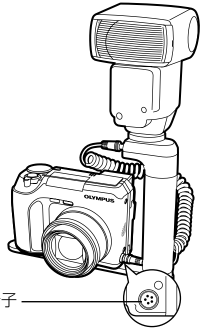
専用外部フラッシュを使って撮影する

専用外部フラッシュFL-40で、多彩なフラッシュ撮影を行うことができます。専用外部フラッシュのみでの撮影だけでなく、内蔵フラッシュと併用しての撮影も可能です。
専用外部フラッシュを使うと、カメラのフラッシュモード、露出設定を自動的に検出するなど、内蔵フラッシュと同様に扱うことができます。
さらに内蔵フラッシュと併用すると、内蔵フラッシュでキャッチライト効果を得る等、高度なフラッシュ撮影が可能になります。
専用外部フラッシュFL-40とカメラを接続するには、専用のフラッシュブラケットFL-BK01（別売）と専用ブラケットケーブルFL-CB01（別売）が必要となります。

モードダイヤル設定　AUTO　A/S/M　P

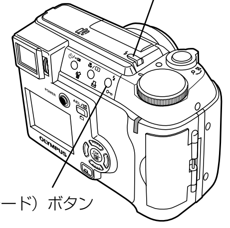
1 外部フラッシュFL-40を専用フラッシュブラケットに取り付け、カメラの三脚穴に固定させてから、専用ブラケットケーブルをフラッシュブラケットとカメラの外部フラッシュ端子に接続します。

- 専用外部フラッシュ・フラッシュブラケット・ブラケットケーブルそれぞれの取扱説明書もお読みください。
- 外部フラッシュ端子のキャップはネジ式ですので、接続の際はキャップを廻して外し、ご使用ください。



2 外部フラッシュの電源を入れます。

- 外部フラッシュのモードは、「TTL-AUTO」になります。
- シャッターボタンを半押しすると、カメラと通信をして自動的にフラッシュに「TTL-AUTO」が表示されます。
- カメラの液晶モニタが点灯しているときは、通信を続けているので、常に「TTL-AUTO」と表示されます。



3 ϟ（フラッシュ）スイッチを押して、内蔵フラッシュを起こします。

4 ϟ（フラッシュモード）ボタンでフラッシュモードを選択します。(P. 82)

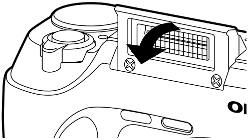
注 意

- 近距離撮影時は露出オーバー（明るすぎ）になることがありますので、その際は内蔵フラッシュのみで撮影してください。
- 内蔵フラッシュとFL-40を両方発光させる場合は、内蔵フラッシュは補助光源として発光します。FL-40の光量が不足する場合は露出が小さくなります。

専用外部フラッシュのみを使って撮影する

「専用外部フラッシュを使って撮影する」(P. 191)の手順1～2を行います。

3 カメラの内蔵フラッシュが収納されているか確認します。内蔵フラッシュが起き上がっていたら、収納します。



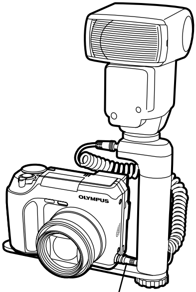
4 ϟ（フラッシュモード）ボタンでフラッシュモードを選択します。(P. 81)

市販の外部フラッシュを使って撮影する

専用フラッシュブラケットFL-BK01（別売）と専用ブラケットケーブルFL-CB01（別売）を使って、市販の外部フラッシュも使用できます。（モードダイヤルがA/S/M設定時のみ）
使用できる市販の外部フラッシュについては次頁をお読みください。

モードダイヤル設定 **A/S/M**

1 **外部フラッシュを専用フラッシュブラケットに取り付け、カメラの三脚穴に固定させてから、専用ブラケットケーブルをカメラの外部フラッシュ端子に接続します。**



外部フラッシュ端子

2 **P. 54の「A/S/Mモード設定」にしたがって、Mを選択します。シャッター速度と絞り値を設定します。(P. 62)**
- シャッター速度を遅く設定した場合、画像がぶれて撮影されますのでご注意ください。またフラッシュの効果を出すため、シャッター速度は1/200～1/300 までに設定されることをおすすめします。

3 **外部フラッシュの電源を入れます。**

4 **外部フラッシュ側で、発光量を自動（オート）に設定します。**

5 **外部フラッシュのISO・絞り値をカメラのISO・絞り値に合わせます。**
- 外部フラッシュ側のモードの選択方法は、各フラッシュの取扱説明書をご覧ください。

注 意
- カメラのフラッシュモードは、市販の外部フラッシュには適用されません。外部フラッシュは、カメラのフラッシュモードが発光禁止でも発光します。
- お使いになる外部フラッシュがカメラに同調するか、あらかじめご確認の上ご使用下さい。

使用できる市販外部フラッシュについて

市販の外部フラッシュをお使いになる前に、下記の事項を必ずご確認ください。

（1）市販のフラッシュには、シンクロ端子が高圧タイプのものがあります。このようなフラッシュを使用した場合、正常に機能しない場合があります。お使いのフラッシュのシンクロ端子の仕様については、フラッシュのメーカーにお問い合わせ下さい。

（2）市販のフラッシュには、シンクロ端子の極性が逆の機種があり、この場合接続しても発光しません。フラッシュのメーカーへご相談下さい。

（3）外部フラッシュ使用時の露出は、外部フラッシュ側で調節する必要があります。外部フラッシュをオートモードでご使用になる場合は、カメラで設定されているF値とISO感度に合わせせることのできる製品をお使い下さい。

（4）外部フラッシュのオートF値やISO感度をカメラと同条件に設定しても、撮影条件によっては適正露出にならない場合があります。このような場合は外部フラッシュ側のオートF値かISO値をシフトするか、マニュアルモードで距離を計算してご使用ください。但し、オートF値、ISO値のシフトは1段刻みが一般的でそれ以下の露出補正は出来ません。（カメラ側の露出補正は外部フラッシュ撮影においては無効となります。）

（5）照射角度は35mmフィルム換算で、35mmレンズ以上カバーする製品をご使用ください。但し、ワイド側の近距離撮影においては、画面下がけられる場合があります。フラッシュの配光を広げるワイドアダプタが付属されているものが理想的です。

（6）フル発光時の閃光時間が1/200秒以下の製品をご使用ください。
リングフラッシュ等閃光時間が長いものは、光の一部が露出に寄与しなくなる場合があります。

（7）**FL-40以外の通信機能付きフラッシュ、およびその付属品をお使いになると正常に機能しないだけでなく、故障の原因となる事がありますのでご使用にならないでください。**

修理に出す前にお確かめください

原因	こうしましょう	参照ページ
カメラが動かない、またはボタンを押しても動かない。		
①電池の残量がない。	❶新しい電池を入れてください。	P. 25
②電源が切れている。	❷パワースイッチを押して、電源を入れてください。	P. 30
③電池の向きが正しくない。	❸電池を正しく入れ直してください。	P. 25
④寒さで電池の性能が一時的に低下した。	❹電池が冷えきっています。電池を使用する前に室温になるまで温めてください。屋外では電池をポケットに入れるなどして温めてください。	P. 14
⑤パソコンに接続している。	❺パソコンとの通信時は、カメラは動作しません。	
⑥カメラがスリープモードになっています。	❻シャッターボタンやズームレバーを操作してください。	P. 170
ビューファインダが点灯しない。		
①カメラがスリープモードになっています。	❶シャッターボタンやズームレバーを操作してください。	P. 170
②カメラが再生モードになっています。	❷モードダイヤルを撮影モードに設定してください	P. 54
液晶モニタが点灯しない。		
①カメラがスリープモードになっています。	❶シャッターボタンやズームレバーを操作してください。	P. 170
②カメラが電池節約モードになっています。	❷メニューでに設定をオフにしてください。	P. 171

原因	こうしましょう	参照ページ
シャッターボタンを押しても撮影ができない。		
①モードダイヤルが、▶にセットされている。	❶モードダイヤルを▶以外にセットしてください。	P. 54
②メモリゲージがすべて点灯している。	❷メモリーゲージの一番上が消灯するまで、お待ちください。	P. 22
③フラッシュの充電が完了していない。	❸一度シャッターボタンから指を離し、オレンジランプの点滅が終わってから、撮影してください。	P. 84
④🎥（ムービー）モードで撮影中、カードアクセスランプが点滅している。	❹撮影画像をカードに記録中です。カードアクセスランプが消えてから、撮影してください。	P. 76
⑤カードに問題がある。	❺エラーコード表示一覧でご確認ください。	P. 203
⑥カードの容量がいっぱいになった。	❻カードを交換する、不要な画像を消去するなどの操作を行ってください。消去する前、大切な画像はパソコンに転送してください。	P. 29
⑦撮影中やカードの書き込み中に電池がなくなった。	❼新しい電池と交換してください。	P. 25
⑧液晶モニタの表示が消えた。または、電池残量警告マークのみが点滅している。	❽電池を交換してください。（カード記録中の場合、完了するまでお待ちください。）	P. 25
⑨スマートメディアにライトプロテクトシールが貼られている、またはカメラにカードが入っていない。	❾新しいカードを入れてください。	P. 29

原因	こうしましょう	参照ページ
画像データに記録される日付が正しくない。		
①日付が設定されていない。	❶日付設定をしてください。（お買い上げ時には日付の設定がされていないので、記録されません。）	P. 32
②電池を抜いた状態で放置したので、日時設定が解除された。	❷再度、日付設定をしてください。	P. 32
自分で設定した機能が解除された。		
①設定を保持しないで、電源を切っている。	❶設定クリアをオフにしてください。	P. 152
画面表示が日本語ではなくなった。		
①メニュー表示の言語が、他の言語に設定されている。	❶言語を日本語に設定してください。	P. 35
フラッシュが発光しない。		
①フラッシュが閉じられている。	❶フラッシュスイッチを押して、フラッシュを起こしてください。	P. 82
②明るい被写体である。	❷フラッシュを強制的に発光させたい場合は、強制発光モードにしてください。	P. 82
③連写モードが設定されている。	❸ドライブモードを単写に設定してください。	P. 99
④🎥（ムービー）モードで撮影している。	❹🎥 モード以外に設定してください。	P. 54
⑤パノラマ撮影が設定されている。	❺パノラマモードを解除してください。	P. 105
⑥ファンクション撮影が白板・黒板になっている。	❻ファンクション撮影をオフにしてください。	P. 109

原因	こうしましょう	参照ページ
液晶モニタ上で再生ができない。		
①撮影モードになっている。	❶モードダイアルを ▶ にセットしてください。	P. 125
②カードに画像が記録されていない。	❷液晶モニタに「画像が記録されていません」と表示されます。撮影してから再生してください。	P. 38、39
③カードに問題がある。	❸エラーコード表示一覧でご確認ください。	P. 203
④テレビに接続している。	❹テレビに接続しているときは、液晶モニタは点灯しません。	P. 149
⑤表示がビューファインダになっている。	❺ IOI を押して液晶モニタを点灯させてください。	P. 40
ビューファインダが見えにくい。		
①視度調節が正しくない。	❶見やすいように調整してください。	P. 37
②明るさが合っていない	❷明るさを調整してください。	P. 165
液晶モニタが見にくい。		
①液晶モニタの明るさが適切でない。 ②太陽光の下である。	❶見やすいように調整してください。 ❷太陽の光を手などでさえぎるか、移動して太陽の光をさけてください。	P. 165
画像の回転、プロテクト、1コマ消去、全コマ消去 プリント予約、フォーマットができない。		
①スマートメディアにライトプロテクトシールが貼られている。	❶シールを剥がしてからご使用ください。（シールは再使用しないでください。）	P. 28

原因	こうしましょう	参照ページ
フラッシュを使って人物撮影したら、目が赤く写ってしまった。		
①フラッシュモードがオート発光になっている。	❶赤目軽減発光モードを使い、発生頻度を大幅に軽減できます。（フラッシュを用いた人物撮影では、目が赤く写ることがあります。これは網膜がフラッシュの光を反射するために、起こる現象で完全に防ぐことはできません。発生頻度や出方も個人差が大きく、また周囲の明暗等の撮影条件によっても異なります。）	P. 82
ピントの合っていない写真ができた。		
①シャッターボタンを押すときに手ぶれが起こってしまった。	❶カメラが動かないようにカメラを正しく構え、シャッターボタンを静かに押してください。夜景の撮影では、三脚などをお使いください。	P. 37
②ピントを合わせたいものが、AFターゲットマークからはずれてしまった。	❷ピントを合わせたいものを画面中央に持ってくるか、フォーカスロック撮影を行ってください。	P. 64、66
③レンズが汚れていた。	❸レンズをきれいにしてください。	P. 202
④セルフタイマー撮影で、カメラの前に立ってシャッターボタンを押した。	❹カメラの前に立たず、ファインダをのぞきながらシャッターボタンを押してください。	P. 95
⑤マニュアルフォーカスで被写体までの距離を確認せずに撮影してしまった。	❺マニュアルフォーカスの合焦距離範囲で撮影してください。	P. 70

原因	こうしましょう	参照ページ
撮影した画像が明るすぎる。		
①フラッシュモードが強制発光になっていた。 ②被写体が明るすぎた。	❶強制発光以外のフラッシュモードを選んでください。 ❷露出補正をするか、カメラの向きを変えるなどの工夫をしてください。	P. 82 P. 117
撮影した画像が暗い。		
①フラッシュを指などで覆ってしまった。	❶カメラを正しく構え、フラッシュを覆わないように気を付けてください。	P. 37
②撮りたいものがフラッシュ撮影範囲よりも遠くにあった。	❷フラッシュ撮影可能範囲内で撮影してください。	P. 83
③フラッシュを起こしていなかった。	❸フラッシュスイッチを押して、フラッシュを起こしてください。	P. 82
④逆光状態で小さい被写体を撮影した。	❹フラッシュモードを強制発光にセットするか、スポット測光モードにして撮影してください。	P. 82、86
⑤連写モードで撮影した。	❺連写モードでは、シャッター速度の最長秒時が短くなるので、暗い場所では通常よりも暗く写ります。	P. 99
室内で写した写真の色がおかしい。		
①照明の色が影響した。	❶照明に合わせてホワイトバランスを設定してください。	P. 118
②被写体に白い部分がなかった。	❷画角に白い被写体を入れて撮影するか、フラッシュモードを強制発光にして撮影してください。	P. 82
③ホワイトバランスの設定を間違えた。	❸光源に合わせてホワイトバランスを設定してください。	P. 118

原因	こうしましょう	参照ページ
画像の一部が欠けてしまった。		
① レンズに指やストラップがかかってしまった。	❶カメラを正しく構え、レンズに指やストラップをかけないように気を付けてください。	P. 37
画像のハレーション部に不自然な色がつく。		
① 紫外線の影響で輝度差の大きい被写体（木漏れ日、夜景での明るい窓の枠、直射日光下の金属の反射など）を撮影すると、発生する場合があります。	❶UVフィルターを使用します。全体の色再現バランスを崩す場合がありますので、左記の条件下のみでのご使用をお薦めします。 ❷画像をパソコンでレタッチします。フォトレタッチソフト（Photoshop、Paint Shop Proなど）を使用して、レタッチします。不自然な色の部分をスポイトツールなどで抽出したあと、色域指定を行ない、色変換や色彩度の調整をする方法があります。レタッチの方法は、各ソフトウェアの取扱説明書をお読みください。	

カメラのお手入れと保管

使用後のカメラの取り扱い

電源を切り、レンズキャップをつけてください。

カメラのお手入れ

1 **カメラの電源を切ります。(P. 30)**

2 **電池を取り出します(P. 25)。(ACアダプタをお使いの場合は、まず接続コードプラグをカメラから抜き、その後電源プラグをコンセントから抜いてください。)**

3 **カメラの外側**... 柔らかい布でやさしく拭いてください。汚れがひどい場合は、うすめた低刺激のせっけん水に布をひたして、硬く絞ってから、汚れを拭き取ります。そのあと、乾いた布でよく拭きます。海辺でカメラを使用した場合は、真水で浸した布を硬く絞って拭き取ります。

液晶モニタとファインダ... 柔らかい布でやさしく拭きます。

レンズ... レンズブロワー（市販）でほこりを吹き払って、レンズクリーニングペーパーでやさしく拭きます。

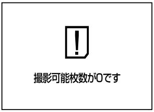
カード... 乾いた柔らかい布で拭きます。

注 意

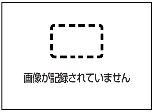
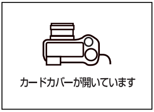
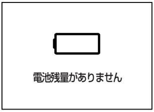
- 絶対にベンジンやアルコールなどの強い溶剤や化学雑巾を使わないでください。
- お手入れをする前に、必ず電池やACアダプタをカメラから取り外してください。
- レンズを汚れたままにしておくと、かびが生えることがあります。

エラーコード表示一覧

このカメラでは各種の警告をエラーコードで表示します。エラー表示は点滅します。

液晶モニタ表示	原因	こうしましょう
	カードが入っていません、または認識できません。	正しくカードを入れるか、別のカードを入れてください。
	撮影可能枚数が0のため撮影できません。	カードを交換するか、不要なコマを消去してください。
	カードが書込み禁止になっています。	スマートメディアに貼られたライトプロテクトシールを剥がしてください。
	このカードで撮影、再生、消去をすることができません。	カードが汚れている場合は、クリーニングペーパーで拭いてから再度カードを入れてください。それでもこの表示が消えないときは、このカードは使用できません。
	記録されている画像がこのカメラでは再生することができません。	パソコンなどの画像ソフトで再生して下さい。それも出来ない場合は、画像ファイルの一部が壊れています。

エラーコード表示一覧（つづき）

液晶モニタ表示	原因	こうしましょう
	カードがフォーマットされていません。	カードをフォーマットしてください。
	記録画像がないため、画像が再生できません。	撮影画像の入ったカードを入れてください。
	カードに空き容量がなく、プリント予約データを含む新たな記録をすることができません。	カードを交換するか、不要なコマを消去してください。
	カードカバーが開いています。	カードカバーを閉めてください。
	電池残量がないため、カメラは動作しません。	新しい電池、または充電された電池と交換してください。
表示なし	カメラ内部の温度が高くなっています。	電池を抜いてカメラが冷えるまで待ってください。

メニュー・マップ

● Pモード

トップメニュー	タブ	項目	選択肢
モードメニュー	撮影	ドライブ	単写、連写、高速連写、AF連写、BKT (±0.3、±0.7、±1.0/x3、x5)
		ISO感度	オート、100、200、400
		フラッシュ補正	−2.0〜+2.0
		スローシンクロ	先幕効果、赤目先幕、後幕効果
		ノイズリダクション	オフ、オン
		マルチ測光	オフ、オン
		デジタルズーム	オフ、オン
		フルタイムAF	オフ、オン
		AF方式	iESP、スポット
		スチル録音	オフ、オン
		スーパーマクロ	オフ、オン
		パノラマ	
		合成ツーショット	
		ファンクション撮影	オフ、モノクロ、セピア、白板、黒板
		AFターゲット選択	
		撮影情報表示	オフ、オン
		ヒストグラム表示	オフ、オン
	画像	画質モード	TIFF (2048x1536、3:2 2048x1360、1600x1200、1280x960、1024x768、640x480) SHQ (2048x1536、3:2 2048x1360、プリント拡大3200x2400) HQ (2048x1536、3:2 2048x1360、プリント拡大3200x2400) SQ1 (1600x1200、1280x960/高画質、標準) SQ2 (1024x768、640x480/高画質、標準)
		ホワイトバランス	オート、プリセット（晴天、曇天、電球、蛍光灯）、ワンタッチ
		WB補正	−7〜+7
		シャープネス	−5〜+5
		コントラスト	−5〜+5
		彩度	−5〜+5
	カード	カードセットアップ	フォーマット、中止

次のページにつづく

● Pモード（つづき）

トップメニュー	タブ	項目	選択肢
モードメニュー	設定	設定クリア	オフ、オン
			日本語、ENGLISH、FRANCAIS、DEUTSCH
		PW ON／OFF設定	画面/オフ、1、2 音/オフ、オン
		レックビュー	オフ、オン
		ビープ音	オフ、1、2/小、大
		シャッタ音	オフ、1、2/小、大
		スリープ時間	30秒、1、3、5、10分
		マイモード設定	現設定（登録、中止）、 クリア（クリア、中止）、 カスタム＊／My1、My2、My3、 My4
		ファイル名メモリ	リセット、オート
		ピクセルマッピング	
		モニタ調整	－‥‥‥◆‥‥‥＋
		日時設定	
		m/ft設定	m、ft
		ビデオ出力	NTSC、PAL
		電池節約モード	オフ、オン
		ショートカット設定	A、B、C／撮影タブの項目すべてと 画像タブに含まれる項目すべて
		カスタムボタン設定	AEロック、ドライブ、ISO感度、 A/S/Mモード、スローシンクロ、 ノイズリダクション、デジタルズーム、 フルタイムAF、AF方式、スチル録音 ファンクション撮影、撮影情報表示、 ヒストグラム表示、画質モード、 ホワイトバランス、スーパーマクロ
ドライブ			前ページドライブの選択肢と同様
画質モード			前ページ画質モードの選択肢と同様
ホワイトバランス			前ページホワイトバランスの選択肢と同様

＊「カスタム」の選択肢は、P. 163の「マイモード設定」が適応される項目をお読みください。

● A/S/Mモード

トップメニュー	タブ	項目	選択肢
モードメニュー	撮影	ドライブ	単写、連写、高速連写、AF連写、BKT (±0.3、±0.7、±1.0/x3、x5)＊
		ISO感度	100、200、400
		A/S/Mモード	A、S、M
		フラッシュ補正	−2.0〜+2.0
		スローシンクロ	先幕効果、赤目先幕、後幕効果
		ノイズリダクション	オフ、オン
		マルチ測光	オフ、オン
		デジタルズーム	オフ、オン
		フルタイムAF	オフ、オン
		AF方式	iESP、スポット
		スチル録音	オフ、オン
		スーパーマクロ	オフ、オン
		合成ツーショット	
		ファンクション撮影	オフ、モノクロ、セピア、白板、黒板
		AFターゲット選択	
		撮影情報表示	オフ、オン
		ヒストグラム表示	オフ、オン
	画像	画質モード	TIFF (2048x1536、3:2 2048x1360、1600x1200、1280x960、1024x768、640x480) SHQ (2048x1536、3:2 2048x1360、プリント拡大3200x2400) HQ (2048x1536、3:2 2048x1360、プリント拡大3200x2400) SQ1 (1600x1200、1280x960/高画質、標準) SQ2 (1024x768、640x480/高画質、標準)
		ホワイトバランス	オート、プリセット（晴天、曇天、電球、蛍光灯1 蛍光灯2 蛍光灯3 蛍光灯）、ワンタッチ
		WB補正	−7〜+7
		シャープネス	−5〜+5
		コントラスト	−5〜+5
		彩度	−5〜+5
	カード	カードセットアップ	フォーマット、中止

次のページにつづく

＊ Mモードでは選択できません。

● A/S/M/モード（つづき）

トップメニュー	タブ	項目	選択肢
モードメニュー	設定	設定クリア	オフ、オン
			日本語、ENGLISH、FRANCAIS、DEUTSCH
		PW ON／OFF設定	画面/オフ、1、2 音/オフ、オン
		レックビュー	オフ、オン
		ビープ音	オフ、1、2/小、大
		シャッタ音	オフ、1、2/小、大
		スリープ時間	30秒、1、3、5、10分
		マイモード設定	現設定（登録、中止）、 クリア（クリア、中止）、 カスタム＊／My1、My2、My3、 My4
		ファイル名メモリ	リセット、オート
		ピクセルマッピング	
		モニタ調整	－‥‥‥◆‥‥‥＋
		日時設定	
		m/ft設定	m、ft
		ビデオ出力	NTSC、PAL
		電池節約モード	オフ、オン
		ショートカット設定	A、B、C／撮影タブの項目すべてと 画像タブに含まれる項目すべて
		カスタムボタン設定	AEロック、ドライブ、ISO感度、 A/S/Mモード、スローシンクロ、 ノイズリダクション、デジタルズーム、 フルタイムAF、AF方式、スチル録音 ファンクション撮影、撮影情報表示、 ヒストグラム表示、画質モード、 ホワイトバランス、スーパーマクロ
ドライブ			前ページドライブの選択肢と同様
画質モード			前ページ画質モードの選択肢と同様
ホワイトバランス			前ページホワイトバランスの選択肢と同様

＊「カスタム」の選択肢は、P. 163の「マイモード設定」が適応される項目をお読みください。

● My モード

トップメニュー	タブ	項目	選択肢
モードメニュー	撮影	ドライブ	単写、連写、高速連写、AF連写、BKT (±0.3、±0.7、±1.0/x3、x5) *
		ISO感度	オート*、100、200、400
		My1/2/3/4	My1、My2、My3、My4
		フラッシュ補正	−2.0〜+2.0
		スローシンクロ	先幕効果、赤目先幕、後幕効果
		ノイズリダクション*	オフ、オン
		マルチ測光	オフ、オン
		デジタルズーム*	オフ、オン
		フルタイムAF	オフ、オン
		AF方式	iESP、スポット
		スチル録音	オフ、オン
		スーパーマクロ	オフ、オン
		パノラマ*	
		合成ツーショット	
		ファンクション撮影	オフ、モノクロ、セピア、白板、黒板
		AFターゲット選択	
		撮影情報表示	オフ、オン
		ヒストグラム表示	オフ、オン
	画像	画質モード	TIFF (2048x1536、3:2 2048x1360、1600x1200、1280x960、1024x768、640x480) SHQ (2048x1536、3:2 2048x1360、プリント拡大3200x2400) HQ (2048x1536、3:2 2048x1360、プリント拡大3200x2400) SQ1 (1600x1200、1280x960/高画質、標準) SQ2 (1024x768、640x480/高画質、標準)
		ホワイトバランス	オート、プリセット（晴天、曇天、電球、蛍光灯）、ワンタッチ
		WB補正	−7〜+7
		シャープネス	−5〜+5
		コントラスト	−5〜+5
		彩度	−5〜+5
	カード	カードセットアップ	フォーマット、中止

次のページにつづく

* My モード設定のもとになったモードによっては選択できません。各々のメニューマップをご覧ください。

注意：

- P、A/S/M/、、、、、、で設定したMy モードでカメラを使用している場合、モードメニューは、それぞれもとなったモードメニューと同じになります。各々のメニュー・マップをご覧ください。

● My モード（つづき）

トップメニュー	タブ	項目	選択肢
モードメニュー	設定	（言語設定）	日本語、ENGLISH、FRANCAIS、DEUTSCH
		PW ON／OFF設定	画面/オフ、1、2 音/オフ、オン
		レックビュー	オフ、オン
		ビープ音	オフ、1、2/小、大
		シャッタ音	オフ、1、2/小、大
		スリープ時間	30秒、1、3、5、10分
		マイモード設定	現設定（登録、中止）、 クリア（クリア、中止）、 カスタム*／My1、My2、My3、My4
		ファイル名メモリ	リセット、オート
		ピクセルマッピング	
		モニタ調整	－……♦……＋
		日時設定	
		m/ft設定	m、ft
		ビデオ出力	NTSC、PAL
		電池節約モード	オフ、オン
		ショートカット設定	A、B、C／撮影タブの項目すべてと 画像タブに含まれる項目すべて
		カスタムボタン設定	AEロック、ドライブ、ISO感度、A/S/Mモード、スローシンクロ、ノイズリダクション、デジタルズーム、フルタイムAF、AF方式、スチル録音 ファンクション撮影、撮影情報表示、ヒストグラム表示、画質モード、ホワイトバランス、スーパーマクロ
ドライブ			前ページドライブの選択肢と同様
画質モード			前ページ画質モードの選択肢と同様
ホワイトバランス			前ページホワイトバランスの選択肢と同様

*「カスタム」の選択肢は、P. 163の「マイモード設定」が適応される項目をお読みください。

注意：

P、A/S/M/、、、、、、で設定したMyモードでカメラを使用している場合、モードメニューは、それぞれもととなったモードメニューと同じになります。各々のメニュー・マップをご覧ください。

● / / / / / モード

トップメニュー	タブ	項目	選択肢
モードメニュー	撮影	ドライブ	単写、連写、高速連写、AF連写、BKT (±0.3、±0.7、±1.0/x3、x5)
		ISO感度	オート、100、200、400
		フラッシュ補正	−2.0～+2.0
		スローシンクロ	先幕効果、赤目先幕、後幕効果
		マルチ測光	オフ、オン
		デジタルズーム＊	オフ、オン
		フルタイムAF	オフ、オン
		AF方式	iESP、スポット
		スチル録音	オフ、オン
		スーパーマクロ＊	オフ、オン
		パノラマ＊	
		合成ツーショット	
		ファンクション撮影	オフ、モノクロ、セピア、白板、黒板
		AFターゲット選択	
		撮影情報表示	オフ、オン
		ヒストグラム表示	オフ、オン
	画像	画質モード	TIFF (2048x1536、3:2 2048x1360、1600x1200、1280x960、1024x768、640x480) SHQ (2048x1536、3:2 2048x1360、プリント拡大3200x2400) HQ (2048x1536、3:2 2048x1360、プリント拡大3200x2400) SQ1 (1600x1200、1280x960/高画質、標準) SQ2 (1024x768、640x480/高画質、標準)
		ホワイトバランス	オート、プリセット（ 晴天、 曇天、 電球、 蛍光灯）、ワンタッチ
		WB補正	−7～+7
		シャープネス	−5～+5
		コントラスト	−5～+5
		彩度	−5～+5
	カード	カードセットアップ	フォーマット、中止

次のページにつづく

＊ モードでは選択できません。

11 その他

● / / / / / モード（つづき）

トップメニュー	タブ	項目	選択肢
モードメニュー	設定	設定クリア	オフ、オン
			日本語、ENGLISH、FRANCAIS、DEUTSCH
		PW ON／OFF設定	画面/オフ、1、2 音/オフ、オン
		レックビュー	オフ、オン
		ビープ音	オフ、1、2/小、大
		シャッタ音	オフ、1、2/小、大
		スリープ時間	30秒、1、3、5、10分
		マイモード設定	現設定（登録、中止）、 クリア（クリア、中止）、 カスタム＊／1、2、3、4
		ファイル名メモリ	リセット、オート
		ピクセルマッピング	
		モニタ調整	－……◆……＋
		日時設定	
		m/ft設定	m、ft
		ビデオ出力	NTSC、PAL
		電池節約モード	オフ、オン
		ショートカット設定	A、B、C／撮影タブの項目すべてと 画像タブに含まれる項目すべて
		カスタムボタン設定	AEロック、ドライブ、ISO感度、A/S/Mモード、スローシンクロ、ノイズリダクション、デジタルズーム、フルタイムAF、AF方式、スチル録音 ファンクション撮影、撮影情報表示、ヒストグラム表示、画質モード、ホワイトバランス、スーパーマクロ
ドライブ			前ページドライブの選択肢と同様
画質モード			前ページ画質モードの選択肢と同様
ホワイトバランス			前ページホワイトバランスの選択肢と同様

＊「カスタム」の選択肢は、P. 163の「マイモード設定」が適応される項目をお読みください。

● モード

トップメニュー	タブ	項目	選択肢
ムービー録音			オフ、オン
モードメニュー	撮影	ISO感度	オート、100、200、400
		デジタルズーム	オフ、オン
		フルタイムAF	オフ、オン
		スーパーマクロ	オフ、オン
		ファンクション撮影	オフ、モノクロ、セピア
	画像	WB補正	−7〜+7
		シャープネス	−5〜+5
		コントラスト	−5〜+5
		彩度	−5〜+5
	カード	カードセットアップ	フォーマット、中止
	設定	設定クリア	オフ、オン
		（言語）	日本語、ENGLISH、FRANCAIS、DEUTSCH
		PW ON／OFF設定	画面/オフ、1、2 音/オフ、オン
		ビープ音	オフ、1、2/小、大
		ファイル名メモリ	リセット、オート
		ピクセルマッピング	
		モニタ調整	− ･････◆･････ ＋
		日時設定	
		ビデオ出力	NTSC、PAL
		電池節約モード	オフ、オン
画質モード			HQ、SQ
ホワイトバランス			オート、プリセット（晴天、曇天、電球、蛍光灯1 2 3 蛍光灯）、ワンタッチ

● AUTO モード

トップメニュー	選択肢
ドライブ	単写、連写、高速連写、AF連写
画質モード	SHQ (2048x1536) HQ (2048x1536) SQ1 (1280x960) SQ2 (640x480)
日時設定	
カードセットアップ	フォーマット、中止

メニュー・マップ（つづき）

● ▶ モード

トップメニュー	タブ	項目	選択肢
モードメニュー	再生	録音	
	編集＊1	リサイズ	640 x 480、320 x 240、中止
		トリミング	新規作成、中止
	カード	カードセットアップ	全コマ消去、フォーマット
	設定	設定クリア	オフ、オン
			日本語、ENGLISH、FRANCAIS、DEUTSCH
		PW ON／OFF設定	画面/オフ、1、2
			音/オフ、オン
		画面登録	決定、中止
		再生音量	オフ、+1～+5
		ビープ音	オフ、1、2/小、大
		モニタ調整	－ ‥‥‥♦‥‥‥ ＋
		日時設定	
		ビデオ出力	NTSC、PAL
		インデックス表示	4、9、16
自動再生＊1			
ムービープレイ＊2		ムービー再生	再生、コマ送り、中止
		インデックス作成	決定、再設定、中止
		ムービー編集	決定、再設定、中止
情報表示			
ヒストグラム表示			

＊1 ムービー再生時は表示されません。
＊2 静止画再生時は表示されません。

メニュー機能初期設定

<table>
<tr><th>モード
メニュー機能</th><th>AUTO</th><th></th><th></th><th>A S M</th><th>P</th><th>▶</th></tr>
<tr><td>ドライブ</td><td colspan="2">単写</td><td>—</td><td colspan="2">単写</td><td>—</td></tr>
<tr><td>ISO感度</td><td colspan="3">オート</td><td>100</td><td>オート</td><td>—</td></tr>
<tr><td>A/S/M</td><td colspan="3">—</td><td>A</td><td colspan="2">—</td></tr>
<tr><td>フラッシュ補正</td><td colspan="2">±0</td><td>—</td><td colspan="2">±0</td><td>—</td></tr>
<tr><td>スローシンクロ</td><td>—</td><td>先幕効果</td><td>—</td><td colspan="2">先幕効果</td><td>—</td></tr>
<tr><td>ノイズリダクション</td><td colspan="3">—</td><td colspan="2">オフ</td><td>—</td></tr>
<tr><td>マルチ測光</td><td>—</td><td>オフ</td><td>—</td><td>オフ（M:機能選択不可）</td><td>オフ</td><td>—</td></tr>
<tr><td>デジタルズーム</td><td>—</td><td>オフ（ :機能選択不可）</td><td colspan="3">オフ</td><td>—</td></tr>
<tr><td>フルタイムAF</td><td>—</td><td>オフ</td><td>オン</td><td colspan="2">オフ</td><td>—</td></tr>
<tr><td>AF方式</td><td colspan="2">iESP</td><td>—</td><td colspan="2">iESP</td><td>—</td></tr>
<tr><td>スチル録音</td><td colspan="2">オフ</td><td>—</td><td colspan="2">オフ</td><td>—</td></tr>
<tr><td>スーパーマクロ</td><td>—</td><td>オフ（ :機能選択不可）</td><td colspan="3">オフ</td><td>—</td></tr>
<tr><td>ファンクション撮影</td><td>—</td><td colspan="4">オフ</td><td>—</td></tr>
<tr><td>撮影情報表示</td><td>—</td><td>オフ</td><td>—</td><td colspan="3">オフ</td></tr>
<tr><td>ヒストグラム表示</td><td>—</td><td>オフ</td><td>—</td><td colspan="3">オフ</td></tr>
<tr><td>画質モード</td><td colspan="2">HQ (2048 x 1536)</td><td>HQ (320 x 240)</td><td colspan="2">HQ (2048 x 1536)</td><td>—</td></tr>
<tr><td>ホワイトバランス</td><td colspan="5">オート（プリセット選択時：晴天）</td><td>—</td></tr>
<tr><td>WB補正</td><td>—</td><td colspan="4">±0</td><td>—</td></tr>
<tr><td>シャープネス</td><td>—</td><td colspan="4">±0</td><td>—</td></tr>
<tr><td>コントラスト</td><td>—</td><td colspan="4">±0</td><td>—</td></tr>
<tr><td>彩度</td><td>—</td><td colspan="4">±0</td><td>—</td></tr>
</table>

- 「—」の設定は、そのモードでは設定できませんが、他のモードで設定した状態で働くものがあります。

＊ My モードの初期設定は、選択した撮影モードによって変わります。

メニュー機能初期設定（つづき）

モード／メニュー機能	AUTO	シーンモード	動画	A S M	P	▶
設定クリア	—	オン				
言語	—	日本語				
PW ON／OFF設定	—	画面／1、音／オン				
レックビュー	オン		—	オン		—
再生音量	—					オフ
ビープ音	—	1／大				
シャッタ音	—	1／大	—	1／大		—
スリープ時間	—	3分				—
画面登録	—					PWON
マイモード設定	—	現設定	—	現設定		—
ファイル名メモリ	—	リセット				—
モニタ調整	—	±0				
日時設定	年月日/2002/1/1					
m/ft設定	—	m	—	m		—
ビデオ出力	—	NTSC				
電池節約モード	—	オフ				—
ショートカット設定	—	A:ドライブ B:画質モード C:ホワイトバランス	—	A:ドライブ B:画質モード C:ホワイトバランス		—
カスタムボタン設定	AEL		—	AEL		—
インデックス表示	—					9

- 「—」の設定は、そのモードでは設定できませんが、他のモードで設定した状態で働くものがあります。

＊MYモードの初期設定は、選択した撮影モードによって変わります。

モード別撮影機能一覧

機能 ＼ モード		AUTO			A S M	P
静止画撮影		○	○	－	○	○
ムービー撮影		－	－	○	－	－
A/S/M/ モード切替え		－	－	－	○	－
絞り値設定		－	－	－	○	－
絞り優先撮影		－	－	－	○	－
シャッター速度設定		－	－	－	○	－
シャッター優先撮影		－	－	－	○	－
マニュアル撮影		－	－	－	○	－
マイモード設定		－	○	－	○	○
マイモード撮影		－	－	－	－	－
ズーム		○	○（ では設定不可）	○	○	○
デジタルズーム		－	○（ では設定不可）	○	○	○
オートフォーカス		○	○	○	○	○
フォーカスロック		－	○	○	○	○
AF方式		－	○	－	○	○
フルタイムAF		－	○	○	○	○
AFターゲット選択		－	○	－	○	○
マニュアルフォーカス		－	○	－	○	○
フラッシュ	オート発光	○	○	－	○	○
	赤目軽減発光	○	○	－	○	○
	強制発光	－	○	－	○	○
	先幕効果	－	○	－	○	○
	赤目先幕効果	－	○	－	○	○
	後幕効果	－	○	－	○	○
フラッシュ補正		－	○	－	○	○

○：設定可　　－：設定不可

＊ My モードで選択した撮影モードによっては、使えない機能もあります。各機能のページをお読みください。

モード別撮影機能一覧（つづき）

機能＼モード	AUTO	（シーンモード）	（動画）	A S M	P
スポット測光	—	○	○	○	○
マルチ測光	—	○	—	○	○
AEロック	—	○	—	○	○
マクロ撮影	○	○	○	○	○
セルフタイマー撮影	○	○	○	○	○
リモコン操作	○	○	○	○	○
連写	○	○	—	○	○
高速連写	○	○	—	○	○
AF連写	○	○	—	○	○
オートブラケット撮影	—	○	—	○	○
パノラマ撮影	—	○（セルフポートレート では設定不可）	—	—	○
合成ツーショット	—	○	—	○	○
ファンクション撮影	—	○	○	○	○
画質モード設定	○	○	○	○	○
ISO感度設定	—	○	○	○	○
露出補正	—	○	○	○	○
オートホワイトバランス	—	○	○	○	○
ホワイトバランス設定 ☀, ☁, ☼, ≡, ワンタッチ	—	○	○	○	○
WB補正	—	○	○	○	○
シャープネス設定	—	○	○	○	○
コントラスト設定	—	○	○	○	○
彩度設定	—	○	○	○	○
ノイズリダクション	—	夜景 のみオン固定	—	○	○
カスタムボタン設定	—	○	—	○	○

○：設定可　　—：設定不可

＊ My モードで選択した撮影モードによっては、使えない機能もあります。各機能のページをお読みください。

モード／機能	AUTO			A S M	P
ショートカット設定	―	○	―	○	○
マイモード設定	―	○	―	○	○
設定クリア	―	○	○	○	○
ビープ音	―	○	○	○	○
シャッタ音	―	○	―	○	○
レックビュー	―	○	―	○	○
スリープ	―	○	○	○	○
電池節約	―	○	○	○	○
情報表示	―	○	―	○	○
ヒストグラム表示	―	○	―	○	○
PW ON/OFF設定	―	○	○	○	○
モニタ調整	―	○	○	○	○
ファイル名メモリ設定	―	○	○	○	○
ピクセルマッピング	―	○	○	○	○
m/ft設定	―	○	―	○	○
ビデオ出力設定	―	○	○	○	○
言語設定	―	―	―	―	○

○：設定可　―：設定不可

＊ モードで選択した撮影モードによっては、使えない機能もあります。各機能のページをお読みください。

11 その他

アフターサービス

- 保証書はお買い上げの販売店からお渡しいたしますので「販売店名・お買い上げ日」等の記入されたものをお受け取りください。もし記入もれがあった場合は、ただちにお買い上げの販売店へお申し出ください。また保証内容をよくお読みの上大切に保管してください。
- 本製品のアフターサービスに関するお問い合わせや、万一故障の場合はお買い上げの販売店、または当社サービスステーションにご相談ください。使用説明書等にしたがったお取扱いにより、本製品が万一故障した場合は、お買い上げ日より満一ヶ年間「保証書」記載内容に基づいて無料修理いたします。
- 保証期間経過後の修理等については原則として有料となります。
- 当カメラの補修用性能部品は、製造打ち切り後5年間を目安に当社で有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、期間後であっても修理可能な場合もありますので、お買い上げの販売店または当社サービスステーションにお問い合わせください。
- 本製品の保証、修理、サービスは日本国内でのみ有効です。本製品は日本国内専用のため、海外での修理はできません。万一、海外で故障・不具合が生じた場合は、持ち帰って日本国内の当社サービスステーションまでご依頼ください。
- 本製品の故障に起因する付随的損害(撮影に要した諸費用、および撮影により得られる利益の喪失等)については補償しかねます。また、運賃諸掛かりはお客様においてご負担願います。
- 修理品をご送付の場合は、修理箇所を指示した書面を同封し、十分な梱包でお送りください。また送付の控えが残るよう、宅配便か書留小包のご利用をお願いします。

仕様

形式	デジタルカメラ(記録・再生型)
記録方式 静止画 静止画音声 ムービー	 デジタル記録、JPEG（DCF準拠)、TIFF非圧縮、DPOF対応 Waveフォーマット準拠 QuickTime Motion JPEG に準拠
記録媒体	3V（3.3V） スマートメディア、4MB～128MB（2MBは使えません） xDピクチャーカード（16～128MB）
記録コマ数 （16MBカード使用時）	音声記録なしのとき 1枚(TIFF: 2048 x 1536) 約2枚(SHQ: 3200 x 2400) 約8枚(HQ: 3200 x 2400) 約11枚(SQ1: 1600 x 1200) 約26枚(SQ2: 1024 x 768)
カメラ部有効画素数	320万画素
記録画素数	3200x2400ピクセル(SHQ/HQ) 2048x1536ピクセル(TIFF/SHQ/HQ) 2048x1360ピクセル(TIFF/SHQ/HQ) 1600x1200ピクセル(TIFF/SQ1) 1280x960ピクセル(TIFF/SQ1) 1024x768ピクセル(TIFF/SQ2) 640x480ピクセル(TIFF/SQ2)
レンズ	オリンパスレンズ：5.9～59mm、F2.8～F3.5、7群10枚(35mmフィルム換算38～380mm相当)
測光方式	撮像素子によるデジタルESP測光およびスポット測光
絞り	W：F2.8～F8 T ：F3.5～F8
シャッター 静止画 ムービー	メカニカルシャッター併用 1～1/1000秒（Mモード：16～1/1000秒） （スローシンクロ時：4～1/1000秒） 1/30 ～ 1/10000秒

ビューファインダ	0.44型（インチ）TFTカラー液晶（低温ポリシリコン）、約180000画素
液晶モニタ	1.5型(インチ)TFTカラー液晶(低温ポリシリコン)、約114000画素
フラッシュ充電時間	約6秒(常温時、新品電池使用)
オートフォーカス	TTL方式AF、コントラスト検出方式／ 焦点調節範囲：0.1m〜∞(W) 1.2m〜∞(T)
コネクタ	DC入力端子・USB端子・A／V出力端子・外部フラッシュ端子
自動カレンダー機能	2099年まで自動修正
使用環境	
温度	0〜40℃(動作時)／−20〜60℃(保存時)
湿度	30〜90%(動作時)／10〜90%(保存時)
電源	電池はCR-V3（当社製LB-01）リチウム電池パック2個、あるいは単3ニッケル水素電池、ニッカド電池、アルカリ電池、リチウム電池4本、または専用ACアダプタを使用。 ※マンガン電池は使用できません。
大きさ	幅107.5mm x 高さ76mm x 厚さ77.5mm（突起部除く）
質量	310g(電池／カード別)

外観・仕様は改善のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

用語解説

画素数••••••••••••••••••••
画像を形成する最小単位の点を指す。画素数が多いほど、サイズの大きな画像を作るのに適しています。

画像サイズ •••••••••••••••••
画像を構成する点（ピクセル）の数で表した画像の大きさのこと。例えば、640 x 480で撮影した画像は、パソコンのモニタの設定が640 x 480のときではモニタ全体に表示されますが、1024 x768ではモニタの一部分にだけ表示されます。

銀塩写真•••••••••••••••••••
ハロゲン化銀を使った、従来からあるフィルムを用いた写真のことをいいます。

けられ•••••••••••••••••••••
撮影画面内に邪魔なものが入り、被写体が完全に写らないとき、またファインダで覗いたときに、撮影レンズの鏡胴で視野の一部が見えないことも、けられといいます。撮影レンズに不適切なフードを使った場合など、視野の四隅が暗くなることもいいます。

コントラスト検出方式 •••••••••
被写体までの距離を測るのに、使用している方法。被写体のコントラストの大小を検出することで、ピントがあったかどうかを検出します。

絞り •••••••••••••••••••••
レンズを通して入ってくる光量を調節する機構。値が小さいほど光が多く入り、値が大きいほど入る光が少なくなります。そのレンズで使える最小の絞り値にすることを、開放するといい、絞り値を大きくするのを絞り込むといいます。

シンクロ端子 ••••••••••••••••
外部フラッシュとカメラとの接続のための端子。

デジタルESP測光 •••••••••••
(electro selective pattern)
CCD出力を分割測光によって、周辺と中心部を個別に測光し、演算して露出を決める測光方法。

バックライト •••••••••••••••
液晶モニタを背面から照らすための光源。

フラッシュブラケット •••••••••
フラッシュとカメラを連結させる器具。

リングフラッシュ •••••••••••
フラッシュの発光体であるクセノン管を、ちょうど蛍光灯のサークラインのように、リング状にしたフラッシュ。

露出•••••••••••••••••••••••
画像が写るために得る光の量。シャッター速度で時間、絞りでレンズを通して入ってくる光の量を、調節して露出を決めます。

アルファベット順

Aモード••••••••••••••••••••• (aperture priority mode)

絞り優先AEモード。絞り値は自分で決め、カメラが絞り値にしたがってシャッター速度を変化させ、適正な露出で撮影するモード。

AE••••••••••••••••••••••••• (automatic exposure)

自動露出。カメラに内蔵された露出計で自動的に決める方式。このカメラには、絞りとシャッタースピードをカメラに任せるPモード、絞り値を決めてシャッタースピードをカメラに任せるAモード、シャッタースピードを決めて絞り値をカメラに任せるSモードの3種類のAEがあります。Mモードでは、絞り値とシャッタースピードの両方を決める必要があります。

CCD••••••••••••••••••••••• (charge coupled device)

レンズを通して入ってきた光りを受けて、電気信号に変換する素子。CCDで受けた光をRGBの信号に変換して一つの画像を作り出します。

DCF••••••••••••••••••••••• (design rule for camera file system)

電子情報技術産業協会(JEITA)で制定された、画像ファイルに関する規格。

DPOF••••••••••••••••••••• (digital print order format)

デジタルカメラの自動プリントアウト情報を記録するフォーマット。撮影したい画像を保存したカードにプリントしたい画像の指定や、枚数の指定情報を記録することで、DPOF対応のプリントアウトサービスや、家庭でのプリントアウトを自動で行うことができます。

EV•••••••••••••••••••••••••• (exposure value)

露出値。絞り値がF1、シャッター速度が1秒のときの光量をEV0と規定し、それより絞りを一段絞ったり、シャッター速度を一段早くするごとに、数値は1ずつ多くなります。EVは明るさとISO感度でも表せます。

ISO••••••••••••••••••••••••

国際標準化機構(ISO)の規格で決められた、フィルム感度の表示法。「ISO 100」と表記します。数値が大きくなるほど、光に対する感度が強くなり、少ない光でも感光します。

JPEG・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
（joint photographic experts group）
カラー静止画の圧縮方式。このカメラで撮影した写真（画像）は、画質をＳＨＱ/ＨＱ/ＳＱに設定すると、JPEG形式でカードに記録されます。パソコンに読み込めば、グラフィックス用のアプリケーションソフトで加工したり、インターネット閲覧ソフト（ブラウザ）で見れます。

Mモード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
(manual mode)
シャッター速度と絞り値を、自分で設定して撮影するモード。

NTSC/PAL・・・・・・・・・・・・・・・・・
(National Television Systems Committee/Phase Alternating Line)
テレビの放送方式。NTSCは主に、日本、北米、韓国で使用され、PALは主にヨーロッパ諸国や中国で使用されています。

Pモード ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
(program mode)
プログラムAEモード。カメラが自動的に、適正な絞り値とシャッター速度を設定して撮影するモード。

Sモード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
(shutter speed priority mode)
シャッタースピード優先AEモード。シャッタースピードを自分で決め、カメラがシャッタースピードにしたがって絞り値を変化させ、適正な露出で撮影するモード。

TFT (thin-film transistor) カラー液晶モニタ ・・・・・・・・・・・・
薄膜技術によるカラー液晶モニタ。

TIFF ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
（tagged image file format）
モノクロやカラーの画像データを圧縮しないで保存するためのフォーマット。スキャナ用やグラフィックス用のアプリケーションで扱えます。

TTL (through-the-lens) 方式 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
カメラ内部に受光体を置き、レンズを通ってきた光を直接測光する露出調節機構。

TTL-AUTO・・・・・・・・・・・・・・・・・
外部フラッシュの機能。ストロボから発光された光を、撮影レンズを通してカメラの受光体で受け、この光量調節信号をストロボ本体に発信して、発光量をコントロールする方式。

索引

さ行

た行

や行

ら行

わ行

お問い合わせ窓口

商品に関する技術的なお問い合わせ窓口

オリンパス光学工業株式会社カスタマーサポートセンター

- ホームページによる情報提供
  製品仕様、パソコン接続、OS対応、Q&Aなど各種情報を、当社ホームページでご提供しております。
  　　オリンパスホームページ
  http://www.olympus.co.jp/
  より「サポート」→「デジタルカメラ／プリンタ関連」へ進み、ご利用ください。
- 電話・FAXによるお問い合わせ
  TEL　フリーダイヤル 0120-084215
  　　携帯電話・PHSからは 0426-42-7499
  FAX　0426-42-7486
  営業時間　平日　9:30～21:00
  　　土・日・祝日　10:00～18:00
  　　（年末年始、システムメンテナンス日を除く）

お問い合わせいただく前に（お願い）

より迅速、正確にお答えするために、お手数ですが別冊のデジタルカメラ／パソコン接続操作説明書の巻末のサポート用カルテの内容を、あらかじめご確認ください。

MEMO

OLYMPUS

オリンパス光学工業株式会社

〒163-8610　東京都新宿区西新宿１の22の2　新宿サンエービル

●ホームページによる情報提供について

製品仕様、パソコンとの接続、OS対応の状況、Q&Aなどの各種情報を、当社のホームページでご提供しております。

オリンパスホームページ　http://www.olympus.co.jp/

より「サポート」→「デジタルカメラ／プリンタ関連」へ進み、ご利用ください。

●電話等でのご相談窓口

カスタマーサポートセンター

フリーダイヤル **0120-084215**

携帯電話・PHSからは **0426-42-7499**

FAX **0426-42-7486**

※調査等の都合上、回答までにお時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。

営業時間　平日　9：30～21：00

土・日・祝日　10：00～18：00

（年末年始、システムメンテナンス日を除く）

国内サービスステーション（修理受付窓口）

※土・日曜、祝日および年末年始は原則として休業させていただきます。オリンパスプラザ内の東京サービスステーションは土曜も営業しております。

東　京	〒101-0052	千代田区神田小川町1の3の1　小川町三井ビル(オリンパスプラザ内)	Tel.03(3292)1931
札　幌	〒060-0034	札幌市中央区北4条東1の2の3　札幌フコク生命ビル	Tel.011(231)2320
仙　台	〒981-3133	仙台市泉区泉中央1の13の4 泉エクセルビル	Tel.022(218)8421
名古屋	〒460-0003	名古屋市中区錦2の19の25　日本生命広小路ビル	Tel.052(201)9571
大　阪	〒542-0081	大阪市中央区南船場2の12の26　オリンパス大阪センター	Tel.06(6252)6991
広　島	〒730-0013	広島市中区八丁堀16の11　日本生命広島第2ビル	Tel.082(228)3821
福　岡	〒810-0004	福岡市中央区渡辺通3の6の11　福岡フコク生命ビル	Tel.092(761)4466

1AG6P1P1411　　VT393804